

NEC プロジェクター

**ViewLight**<sup>®</sup>  
ビューライト

**NP-PX1005QL-BJD**

**取扱説明書** [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために  
ご使用の前に必ずお読みください

## はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピューターやブルーレイプレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

### ● 機種名について

本機に貼付している銘版では、機種名を「NP-PX1005QL-B」と表記しています。取扱説明書では、機種名の末尾に「JD」を付けて表記しています。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

**VCCI - A**

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

## ご注意



- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# 本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください




## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

## 絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

## 警告

### レーザー光線の安全に関する警告

本製品は、IEC 60825-1:2014 規格と JIS C 6802:2014 規格でクラス 1 に分類されています。

また IEC 62471-5:2015 規格ではリスクグループ 2 に分類されています。



● 本書に掲載した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。



- 本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。廃棄の際に、お客様自身で本機を分解しないでください。
- お子様に一人で本機を操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。

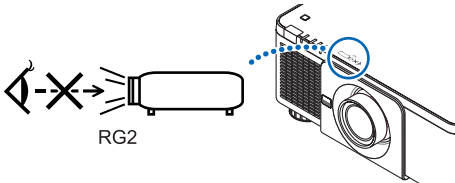
# 警告

## プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないください。  
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないください。  
視力障害の原因となります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- レンズ取り付け部の上のプロジェクター天面に、次の図記号を表示しています。  
この図記号は、本機が IEC 62471-5:2015 規格でリスクグループ 2 に分類されていることを示しています。



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。RG2 IEC 62471-5:2015.

## 本機は日本国内専用です



決められた電源電圧以外での使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ~ 240 ボルトで使用してください。  
添付の電源コードは国内使用専用です。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

## 電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取り扱いってください。  
コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
    - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
    - ・ コードの上に重い物をのせない
    - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしない
    - ・ コードの上を敷物などで覆わない
    - ・ コードを傷つけない、加工しない
    - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
    - ・ コードを加熱しない
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

## 故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なおいや音がある場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットが破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけでなく、視力障害の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。  
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

## 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。  
感電の原因となります。



# 警告

## キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電およびレーザー光がもれる原因となります。内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

## 水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
  - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
  - ・ プロジェクターの上に花瓶、植木鉢を置かない
  - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
 万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## 次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - ・ 暖房の近くや振動の多い所
  - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
  - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
  - ・ 調理台や加湿器のそば

## 動作中にレンズをふさがない



- 動作中にレンズにレンズキャップをししないでください。レンズキャップが高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## 天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

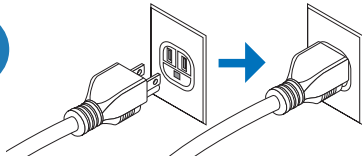
## 注意

### 清掃に可燃性ガスのスプレーを使用しない



- レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

### アース端子を接続する



- 本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されている3芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。また、接続の際に、2芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。詳細は [33 ページ](#) をご覧ください。

### ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

### 電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

### 電源コードのコネクターは電源コードストッパーで固定する



- 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり挿し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

### 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 通風口をふさがない



- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適切な空間をあけてください。([▶13 ページ](#))

### 投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。

## 注意

### お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

### 持ち運びは2人以上で行う



- 本機を持ち運ぶ場合は、底面の取っ手に手をかけて、2人以上で行ってください。  
1人で持ち運んだ場合、けがや腰痛の原因となることがあります。

### 取っ手以外の部分を持たない



- 本機を持ち運ぶ場合に、取っ手以外の部分を持たないでください。  
落下してけがの原因となることがあります。

### 過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機の Ethernet/HDBaseT ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。Ethernet/HDBaseT ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

### 点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

### レンズシフト動作中は指の挟み込みに注意



- レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

### レンズシフト調整は後方または横から行う



- レンズシフトの調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、目を痛める原因となります。

## 注意

### 持ち運びのときレンズ部分に手をかけない



- 本機を持ち運ぶときに、レンズ部分に手をかけないでください。フォーカシングが回転し、プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。  
また、レンズユニットを外した状態で本機を持ち運ぶときに、レンズの取り付け部に手をかけないでください。本機が破損して落下し、けがの原因となることがあります。

### 冷却液には触れない



- 本体が破損した場合、内部から冷却液がもれ出る場合があります。冷却液がもれた場合はすぐに AC 電源を切り、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。  
もれ出た冷却液は飲んだり触れたりしないでください。万一口や目に冷却液が入ってしまった場合は、すみやかに医師に相談してください。手に触れた場合は水でよく洗い流してください。

### ケーブルについて



- HDMI、DisplayPort、BNC、LAN、RS232C ケーブルは、シールドタイプを使用してください。  
これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

### 電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・ 指定以外の電池は使用しない
  - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・ 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

# ⚠ 注意

## 光源のレーザーモジュールについて

- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。
- 本製品は、IEC 60825-1:2014 規格と JIS C 6802:2014 規格でクラス 1 に分類されています。また IEC 62471-5:2015 規格ではリスクグループ 2 に分類されています。

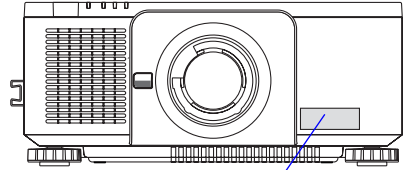
### 【内蔵されたレーザーの概要】

- ・ 波長：450-460nm
- ・ 最大出力：380W

### 【保護筐体から放出される放射パターン】

- ・ 波長：450-460nm
- ・ 最大レーザー放射出力：0.253mJ
- ・ パルス幅：0.5ms
- ・ パルス周期：240Hz

レーザー製品の説明ラベルは、プロジェクター本体の前面に貼付されています。



クラス1レーザー製品  
IEC 60825-1: 2014  
JIS C 6802: 2014

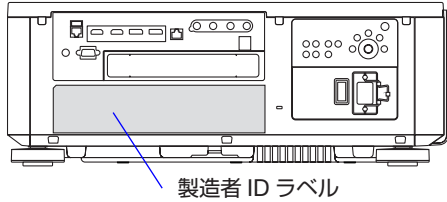


3202168801

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

# ⚠ 注意

製造者 ID ラベルは、プロジェクター本体の下図の場所に貼付されています。



## NEC MODEL No.NP-PX1005QL-B

イ、通風孔をふさがないでください。 内部温度の上昇を招き故障の原因になります。	
ロ、温度の高い場所や温気の多い場所での使用はさけてください。	
定格電圧 100-240V~	⚠ 警告 高圧注意 サービスマン以外の方はトップカバーを触らないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり、万ざさわると危険です。
定格入力電流 12.8A - 5.5A	
定格周波数 50/60Hz	
FE	⚡

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A



表示者  
NECディスプレイソリューションズ株式会社  
東京都港区三田一丁目4番28号

MADE IN CHINA

## レーザー光の放射範囲

下図の範囲は、レーザー光の最大の放射範囲を表しています。

- 適応レンズユニット：NP16FL-4K/  
NP17ZL-4K/NP18ZL-4K/  
NP19ZL-4K/NP20ZL-4K/  
NP21ZL-4K/NP31ZL-4K

水平放射角：H（単位：度）

レンズユニット	ズーム	
	テレ	ワイド
NP16FL-4K	—	32.6
NP17ZL-4K	15.5	21.6
NP18ZL-4K	12.3	16.0
NP19ZL-4K	7.7	12.6
NP20ZL-4K	5.3	7.9
NP21ZL-4K	3.4	5.4
NP31ZL-4K	27.6	33.2

垂直放射角：V（単位：度）

レンズユニット	ズーム	
	テレ	ワイド
NP16FL-4K	—	19.7
NP17ZL-4K	8.9	12.5
NP18ZL-4K	7.0	9.1
NP19ZL-4K	4.3	7.1
NP20ZL-4K	3.0	4.5
NP21ZL-4K	1.9	3.0
NP31ZL-4K	16.4	20.2

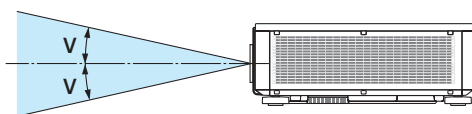
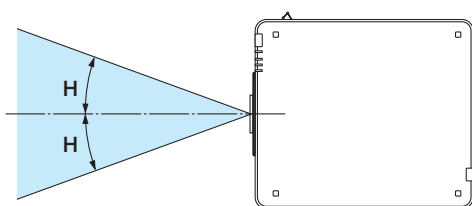
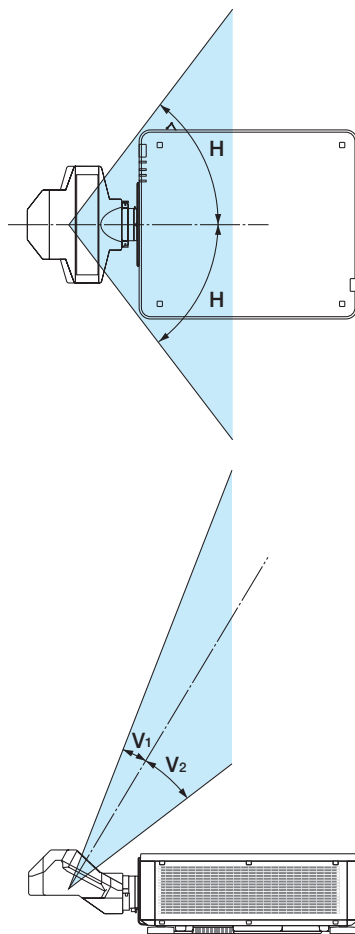
- 適応レンズユニット：NP39ML-4K

水平放射角：H（単位：度）

レンズユニット	ズーム	
	テレ	ワイド
NP39ML-4K	—	53.0

垂直放射角：V（単位：度）

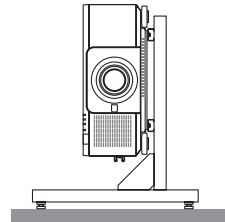
レンズユニット	テレ	ズーム	
		ワイド	
		V <sub>1</sub>	V <sub>2</sub>
NP39ML-4K	—	9.5	18.8



# お願い

## 性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。  
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。  
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。  
高圧電線や動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。  
故障の原因となります。
  - ・ 強い磁界が発生する場所
  - ・ 腐食性のガスが発生する場所
- 本機の設置角度に制限はありません。  
ただし、次のような姿勢で設置すると、光学部品の寿命が短くなります。
  - ・ レンズが下向きになる設置
  - ・ ポートレート投写で、吸気口が下向きになる設置また、ポートレート投写を行う場合は、専用のスタンドを製作してください。(🔗151 ページ)



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - ・ たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(12 時間/日または 260 日/年を超えて) 使用する場合は、あらかじめ NEC プロジェクターカスタマサポートセンターにご相談ください。
  - ・ 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。(🔗123 ページ)
- 本機を高所(気圧の低い所)で使用すると、光学部品(光源など)の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。  
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。  
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて  
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。  
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
  - ・ 本機を移動する際は、いったんレンズユニットを取り外し、レンズに傷が付かないように必ずレンズユニットに添付のレンズキャップを取り付けてください。また、プロジェクターには防塵キャップを取り付けてください。
  - ・ プロジェクター本体に強い衝撃や振動をあたえないように注意して運んでください。



- ・宅配便や貨物輸送はレンズユニットを外し、ご購入の際の梱包箱をご使用ください。プロジェクターの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
- 廃棄について  
本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## 設置する際の周囲との距離についての注意

本機を設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。

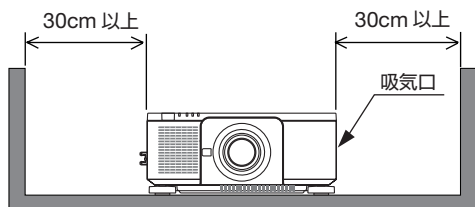
本機から出た高温の排気が再び本機に吸気される場合があります。

また、エアコンから吹き出された風が本機に当たらないようにしてください。

本機の温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。

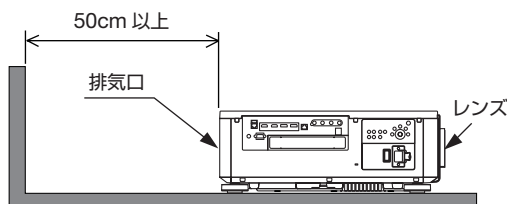
- ・ポートレート設置の場合は [151 ページ](#)「ポートレート（縦向き）投写をする」をご覧ください。

### 例 1：本機の左右に壁がある場合



(注) 左の図において、プロジェクター本体の前後および上方は十分な空間があるものとしてします。

### 例 2：本機の後方に壁がある場合



(注) 左の図において、プロジェクター本体の両横および上方は十分な空間があるものとしてします。

## 別売のレンズユニット取り扱い上の注意

本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃をあたえると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。また、添付の防塵キャップは必ず取り付けてください。

取り付けないと、光学ユニット内部にほこりなどが入り、光学部品の損傷や画質劣化の原因となります。

## 別売のレンズユニット取り付け時、または交換時の注意 (レンズキャリブレーション)

レンズユニットを本機に取り付けたとき、またはレンズユニットを交換したときは、本体の (CALIBRATION) ボタンを押すか、リモコンの (CTL) ボタンを押したまま (INFO/L-CALIB.) ボタンを押して、「レンズキャリブレーション」を実行してください。

(▶ 37, 125 ページ)

レンズキャリブレーションを行うことにより、レンズメモリーのズーム、フォーカス、レンズシフトの調整範囲を校正します。

## 電源プラグを抜く際の注意

- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本体の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカーなどを利用してください。
- 本機の電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜くことができます。映像投写中に AC 電源を切断した直後や、本機の電源を切った直後は、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

## 投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。アスペクト、台形補正、部分拡大、マルチスクリーンなどの機能を使用する場合はご注意ください。





# 目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	3
お願い	12
目次	15
本書の表記について	17
<b>1. 添付品や名称を確認する</b>	<b>18</b>
1-1. 特長	18
1-2. 添付品の確認	20
1-3. 本体各部の名称	22
1-4. リモコン各部の名称	27
<b>2. 映像を投写する（基本操作）</b>	<b>32</b>
2-1. 映像を投写する流れ	32
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する	33
2-3. 本機の電源を入れる	36
2-4. 入力信号を選択する	39
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	42
2-6. 本機の電源を切る	52
2-7. あとかたづけ	53
<b>3. 便利な機能</b>	<b>54</b>
3-1. 投写光を消去する（レンズシャッター）	54
3-2. 映像を消去する（AV ミュート）	54
3-3. オンスクリーン表示を消去する（オンスクリーンミュート）	55
3-4. オンスクリーン表示の位置を変更する	56
3-5. 動画を静止画にする（静止）	57
3-6. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	57
3-7. 輝度（明るさ）の調整と省エネ効果	58
3-8. 台形歪みを調整する（4点補正）	61
3-9. セキュリティを設定して無断使用を防止する	64
3-10. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作	67
3-11. レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存する（レンズメモリー）	69
<b>4. マルチスクリーン投写</b>	<b>73</b>
4-1. マルチスクリーン投写のできること	73
4-2. 1台のプロジェクターを使って2種類または4種類の映像を同時に投写する 【PICTURE BY PICTURE】	74
4-3. 複数のプロジェクターを並べて、解像度の高い映像をさらに大画面で投写する 【タイリング】	77
4-4. 投写画面の境界を調整する【エッジブレンディング】	80

<b>5. オンスクリーンメニュー</b> .....	<b>85</b>
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作 .....	85
5-2. オンスクリーンメニュー一覧 .....	89
5-3. 入力端子 .....	95
5-4. 調整 .....	99
5-5. 表示 .....	111
5-6. セットアップ .....	120
5-7. 情報 .....	145
<b>6. 機器と接続する</b> .....	<b>146</b>
6-1. レンズユニット（別売）を取り付ける .....	146
6-2. 外部機器と接続する .....	149
6-3. ポートレート（縦向き）投写をする .....	151
6-4. プロジェクターをスタック設置して投写する .....	153
<b>7. 本体のお手入れ</b> .....	<b>155</b>
7-1. レンズの清掃 .....	155
7-2. キャビネットの清掃 .....	156
<b>8. 付 録</b> .....	<b>157</b>
投写距離とスクリーンサイズ .....	157
オプションボードの取り付け方法（別売） .....	161
対応解像度一覧 .....	163
仕様 .....	165
外観図 .....	167
主な端子のピン配列と信号名 .....	169
ASCII コントロールコマンドについて .....	171
バックグラウンドロゴを変更する（Virtual Remote Tool） .....	173
故障かな？と思ったら .....	174
インジケーター表示一覧 .....	178
トラブルチェックシート .....	183
別売品／商標について .....	185
<b>保証と修理サービス（必ずお読みください）</b> .....	<b>187</b>
<b>NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターのご案内</b> .....	<b>裏表紙</b>




# 本書の表記について

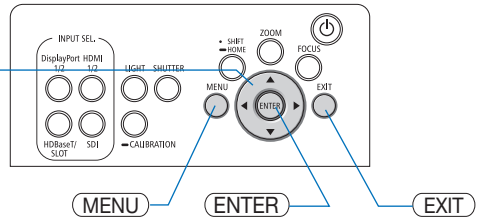
## マークの意味

 <b>重要</b>	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
 <b>注意</b>	注意や制限事項を表しています。
 <b>参考</b>	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

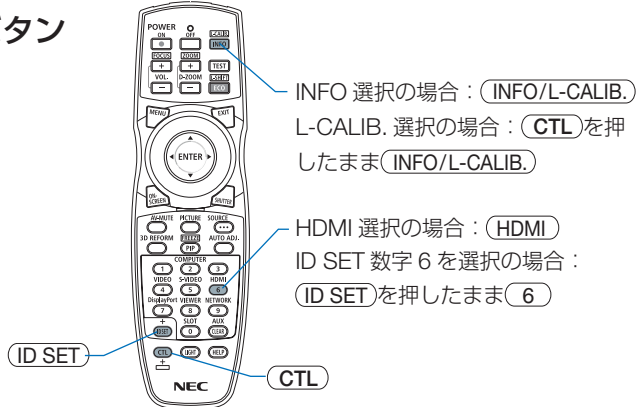
## 操作ボタンの表記例

### ●本体の操作ボタン

上下左右の場合：  
 左右の場合：  
 下の場合：

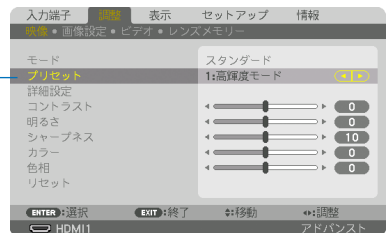


### ●リモコンの操作ボタン



## メニュー項目の表記例

「プリセット」



### 参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

# 1. 添付品や名称を確認する

## 1-1. 特長

### ■ 全般

#### ● 1 チップ DLP 方式の高輝度・高解像度プロジェクター

本機は、表示解像度 3840ドット×2160 ライン (4K UHD)、アスペクト比 16:9、明るさ 10,000lm\*1 を実現したプロジェクターです。

\*1 AC100V 時は 9,000lm です。

#### ● 優れた防塵性能

光学エンジンおよび光源ユニットを密閉。ほこりや塵などによる光学部品の汚れを防いで\*2、明るさを維持します。

\*2 ただし、完全に遮断することはできません。

### ■ 光源・輝度

#### ● 長寿命レーザー光源を採用

レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

#### ● 幅広い輝度調整が可能

ランプとは異なり、出力を 20% から 100% まで 1% 刻みで調整することができます。

#### ● 輝度一定モード

通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、本体内部のセンサーで輝度を検出して出力を自動調整し、輝度を維持できます。

ただし、出力が最大になったあとは、使用時間に応じて輝度が下がります。

### ■ 設置

#### ● 設置場所に応じて選べるオプションレンズ

本機は 8 種類のオプションレンズに対応しています。様々な設置場所、投写方法に合わせたレンズが選択できます。

また、レンズユニットの取り外し／取り付けが簡単に行えます。

なお、工場出荷時はレンズが装着されていませんので、別途オプションレンズをお買い求めください。

#### ● 360° の設置、ポートレート投写が可能

本機は、垂直方向と水平方向 360° の、どの角度でも設置が可能です。

また、投写画面を 90° 傾けたポートレート投写が行えます。

ただし、次のような姿勢で設置すると、光学部品の寿命が短くなります。

- ・レンズが下向きになる設置
- ・ポートレート投写で、吸気口が下向きになる設置

#### ● 2 台のスタック設置により、さらに高輝度投写が可能

本機を 2 台スタックして設置することにより、大画面でさらなる高輝度を実現できます。

#### ● 電動レンズコントロールで容易な画面調整

本体側面の操作ボタンやリモコンの操作で、投写画面のズーム、フォーカス、位置調整（レンズシフト）ができます。

## 映像

### ● Cinema Quality Picture テクノロジーによる高画質な映像

デジタルシネマプロジェクターの開発技術と、画像処理を応用した NEC 独自のビデオプロセッサにより、豊かな階調表現や、映像境界部分のコントラストを高めることで、高画質な映像を表示します。



### ● HDMI、DisplayPort、HDBaseT、SDI などの豊富な入力端子

HDMI (1/2)、DisplayPort (1/2)、HDBaseT、SDI (1/2/3/4) の入力端子を装備しています。本機の HDMI 入力端子、DisplayPort 入力端子は、HDCP に対応しています。HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。

### ● 2 つまたは 4 つの映像を同時表示 (PICTURE BY PICTURE)

本機 1 台で 2 つまたは 4 つの映像を同時に投写することができます。2 画面表示の場合は、画面の位置を調整することができます。また、ポートレート投写にも対応しています。

### ● 複数台のプロジェクターを用いたマルチスクリーン投写

複数台のプロジェクターを並べて、解像度の高い映像をさらに大画面で投写することができます。さらに、エッジブレンディング機能により、画面の境界を滑らかにします。

### ● オプションスロットを装備

本機にはオプションスロットがあり、別売のオプションボードが装着できます。

## ネットワーク

### ● 有線 LAN 対応

LAN ポートと HDBaseT ポート (RJ-45) を装備しており、有線 LAN に接続してコンピューターから本機を制御することができます。

### ● 便利なアプリケーションソフトに対応

当社のアプリケーションソフト (NaViSet Administrator 2、Virtual Remote Tool など) に対応しています。NaViSet Administrator 2 は、コンピューターとプロジェクターを有線 LAN で接続して、コンピューター側からプロジェクターの様々な機能を制御するソフトウェアです。Virtual Remote Tool は、コンピューターの画面上に仮想のリモコンを表示し、有線 LAN で接続したプロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの簡単な制御を行うソフトウェアです。また、本機のバックグラウンドロゴを変更する機能があります。(🔗 173 ページ) 各ソフトウェアは、当社のホームページからダウンロードしてください。

<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

### ● CRESTRON ROOMVIEW、Extron XTP に対応

本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピューターから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

また、本機を Extron 社の XTP トランスミッターに接続して、映像出力や制御を行うことができます。

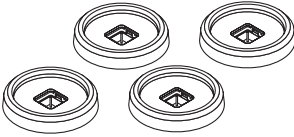

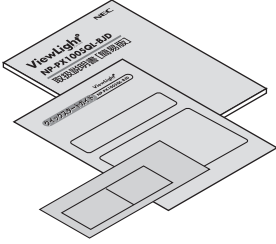
## 1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	<p><b>プロジェクター (本機)</b>          コンピューターやブルーレイプレーヤーなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p> <p><b>防塵キャップ (79TQ1051)</b>          本体からレンズユニットを外したときの防塵用キャップです。大切に保管してください。          (注) レンズユニットは添付していません。ご利用目的に合ったレンズユニットをお買い求めください。          レンズユニットの種類と投写距離は <a href="#">157 ページ</a>をご覧ください。</p>
	<p><b>リモコン (7N901041)</b>          本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。          ご購入後はじめて使用するときは、添付の単 3 アルカリ乾電池 2 本をセットしてください。 (<a href="#">29 ページ</a>)</p> <p><b>単 3 アルカリ乾電池 (リモコン用) 2 本</b>          添付のリモコンにセットします。</p>
	<p><b>AC100V 用 電源コード (アース付き) (79TM1031)</b>          AC100V のコンセントに本機を接続します。          日本国内用です。 (<a href="#">33 ページ</a>)</p> <p><b>AC200V 用 電源コード (アース付き) (79TQ1021)</b>          AC200V のコンセントに本機を接続します。          日本国内用です。 (<a href="#">33 ページ</a>)</p>
	<p><b>レンズユニット盗難防止用ネジ (79TM1071)</b>          本機に装着しているレンズユニットを簡単に取り外されないようにします。 (<a href="#">148 ページ</a>)</p>
	<p><b>ネジ (M4) : 6 本 (79TQ1061)</b>          別売の天井用取付けユニット NP15CM を使って本機を天井設置する場合に使用します。          NP15CM に添付されているプロジェクター取り付けネジは、長さが足りないため本機では使用できません。          必ずこのネジを使って、プロジェクター取り付けアダプターを本機に取り付けてください。</p>

次ページに続く



	<p><b>スタッキングホルダー：4個 (79TM1101)</b>          本機を積み重ねて投写する場合(スタック設置)、プロジェクターのチルトフットをのせるためのホルダーです。          (153 ページ)</p>
	<p><b>NEC Projector CD-ROM (7N952732)</b>          PDF (Portable Document Format) 形式の取扱説明書(本書)を収録しています。</p>
	<p><b>取扱説明書(簡易版) (7N8N9071)</b>          安全のため守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p><b>クイックスタートガイド (7N8N9082)</b>          機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p><b>保証書</b>          プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p> <p><b>セキュリティラベル</b>          本機にパスワードを設定したときに、必要に応じて本体に貼ってください。</p>

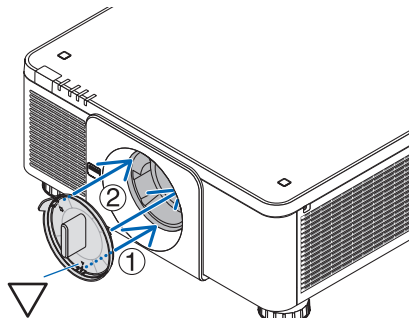
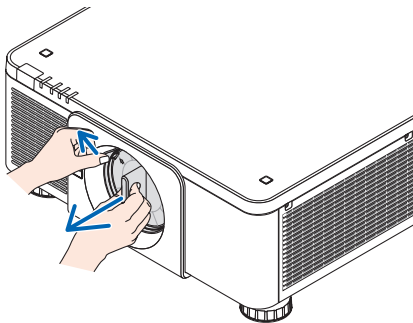
**参考**

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

**防塵キャップの取り外し／取り付け**

防塵キャップを取り外す際は、左上のツマミを外側に向けて押しながら、中央のツマミを引いて外してください。

防塵キャップを本機に取り付ける際は、▽印を下向きにして下部のツメを開口部に引っ掛けて(下図①)から、上部のツメを押し込んでください(下図②)。



# 1-3. 本体各部の名称

## 本体前面

レンズは別売です。レンズユニット NP18ZL-4K を装着している状態で説明しています。

### インジケータ表示部

電源入／スタンバイなど本機の状態をランプの点灯／点滅で知らせます。

(▶ 24, 178 ページ)

### リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。

(▶ 30 ページ)

本体の前面と背面の2箇所にあります。

### 吸気口

外気を取り込み、内部を冷却します。

(▶ 13, 156 ページ)

### レンズリリース (LENS) ボタン

レンズユニットの取り外しの際に使用します。(▶ 148 ページ)

### レンズ

ここから映像が投写されます。

・レンズユニットは別売です。

(▶ 146, 157 ページ)



### レンズキャップ (レンズユニットに装着)

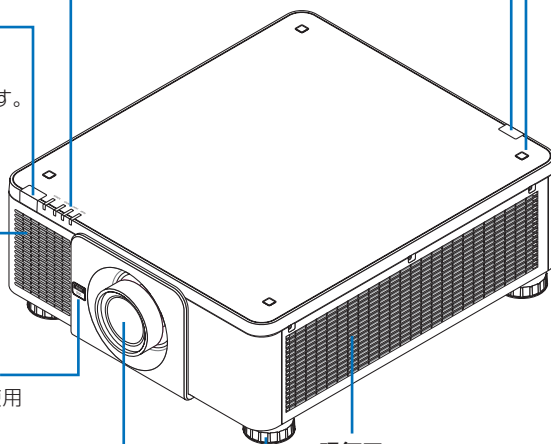
レンズを保護します。

### スタッキングホルダー取付部 (4箇所)

スタック設置のとき添付のスタッキングホルダーをネジ止めします。

(▶ 153 ページ)

### リモコン受光部




### 吸気口

外気を取り込み、内部を冷却します。(▶ 13, 156 ページ)

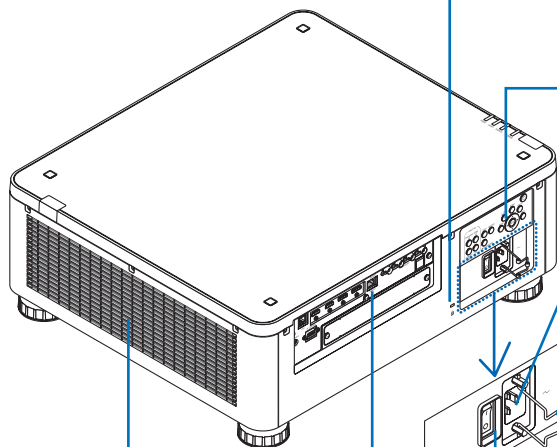
### チルトフット (4箇所)

チルトフットを回して投写角度や左右の傾きを微調整します。(▶ 51 ページ)

## 参考

- セキュリティスロットについて   
セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

## 本体背面



**排気口**  
内部の熱を排気します。  
(▶ 13, 156 ページ)

**セキュリティスロット**  
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。  
詳しくは前ページの **【参考】** をご覧ください。

**本体操作部**  
本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。  
(▶ 24 ページ)

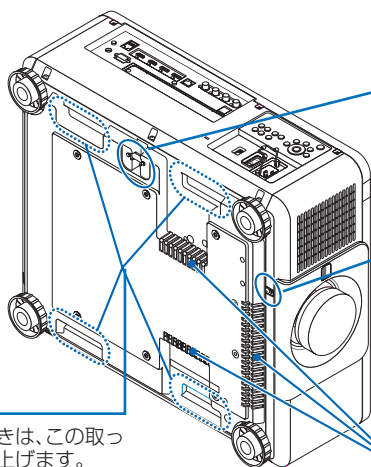
**AC IN 端子**  
添付の電源コードを接続します。  
(▶ 34 ページ)

**電源コードストッパー**  
電源プラグが抜け落ちないように固定します。  
(▶ 35 ページ)

**主電源スイッチ**  
主電源スイッチを「I(入)」にすると、スタンバイ状態になります。  
(▶ 36 ページ)

**接続端子部**  
各種映像信号などのケーブルを接続します。  
(▶ 26 ページ)

## 本体底面



**取っ手 (4箇所)**  
本機を移動させるときは、この取っ手に手をかけて持ち上げます。

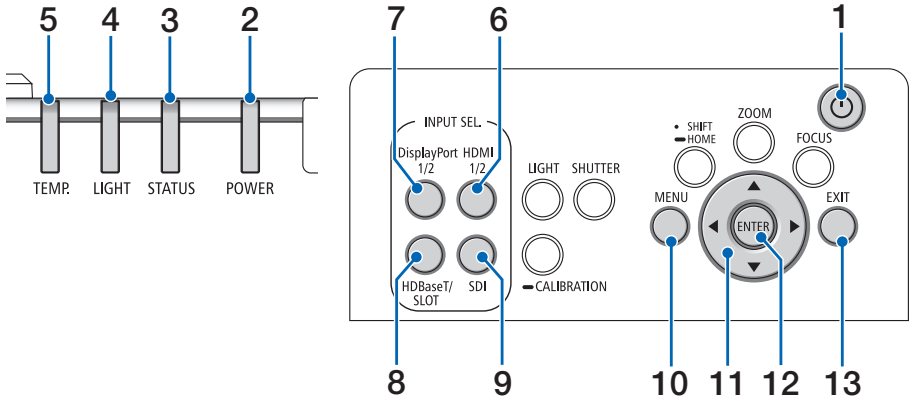
- 【注意】**
- 本機を持ち運ぶ場合は、2人以上で行ってください。1人で持ち運んだ場合、けがや腰痛の原因となることがあります。
  - 本機を持ち運ぶ場合に、取っ手以外の部分を持たないでください。落下してけがの原因となることがあります。

**セキュリティバー**  
盗難防止用チェーン (またはワイヤー) を取り付けます。  
本機のセキュリティバーは、直径4.6mmの太さのものまで対応しています。

**レンズユニット盗難防止用ネジ穴**  
レンズユニットを簡単に取り外されないように固定するためのネジ穴です。  
(▶ 148 ページ)

**吸気口 (3箇所)**  
外気を取り込み、内部を冷却します。  
(▶ 156 ページ)

## 本体操作部／インジケータ表示部



### 1 電源ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/スタンバイ (待機状態) します。  
電源を切る (スタンバイ状態) とときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度電源ボタンを押します。

### 2 POWER インジケータ

本機の電源の状態を表すインジケータです。  
電源が入っているときは青色に点灯します。電源が切れているときは、状態によって緑色またはオレンジ色で点灯/点滅します。詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(▶178 ページ)

### 3 STATUS インジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、レンズのキャリブレーション中などに、点灯/点滅します。詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(▶178 ページ)

### 4 LIGHT インジケータ

光源の状態をお知らせします。(▶178 ページ)

### 5 TEMP. インジケータ

プロジェクター内部の温度が高くなっていることなどをお知らせします。(▶178 ページ)

### 6 (HDMI 1/2) ボタン

HDMI 入力端子を選択します。押すごとに HDMI1 と HDMI2 を切り替えます。

### 7 (DisplayPort 1/2) ボタン

DisplayPort 入力端子を選択します。押すごとに DisplayPort1 と DisplayPort2 を切り替えます。

### 8 (HDBaseT/SLOT) ボタン

HDBaseT または SLOT を選択します。押すごとに HDBaseT と SLOT を切り替えます。

### 9 (SDI) ボタン

SDI 入力端子を選択します。押すごとに SDI1、SDI2、SDI3、SDI4 を切り替えます。

### 10 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(▶85 ページ)

### 11 (方向キー) ボタン

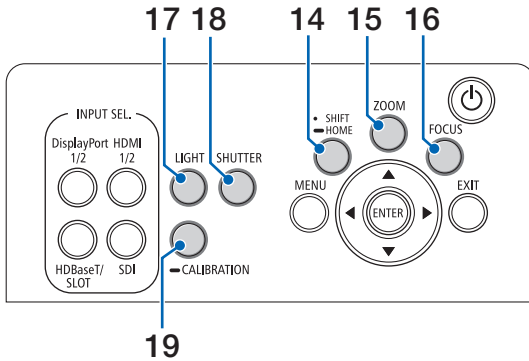
- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに (方向キー) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。(▶85 ページ)
- ・レンズシフト画面表示中はレンズシフトの調整ができます。(▶43 ページ)
- ・テストパターン表示中は、パターンを変更します。(▶95 ページ)

### 12 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

### 13 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



## 14 (SHIFT/HOME) ボタン

- 短く押すとレンズシフト画面を表示します。**(▼▲▶▶)**ボタンで調整します。
- 長く (2 秒以上) 押すとレンズシフト調整がホームポジションに戻ります。

(▶ 43 ページ)



- レンズシフト位置の「ホームポジション」は、レンズ交換のための位置であり、レンズシフト調整可能範囲の中心位置ではありません。

## 15 (ZOOM) ボタン

ズーム調整画面を表示します。  
投写画面の大きさの微調整を行います。

(▶ 50 ページ)

## 16 (FOCUS) ボタン

フォーカス調整画面を表示します。  
投写画面のピントを合わせます。

(▶ 45 ページ)

## 17 (LIGHT) ボタン

オンスクリーンメニューのライトモード画面を表示します。(▶ 58 ページ)



- [調整] → [映像] → [モード] の設定により、表示される画面が異なります。(▶ 99 ページ)

## 18 (SHUTTER) ボタン

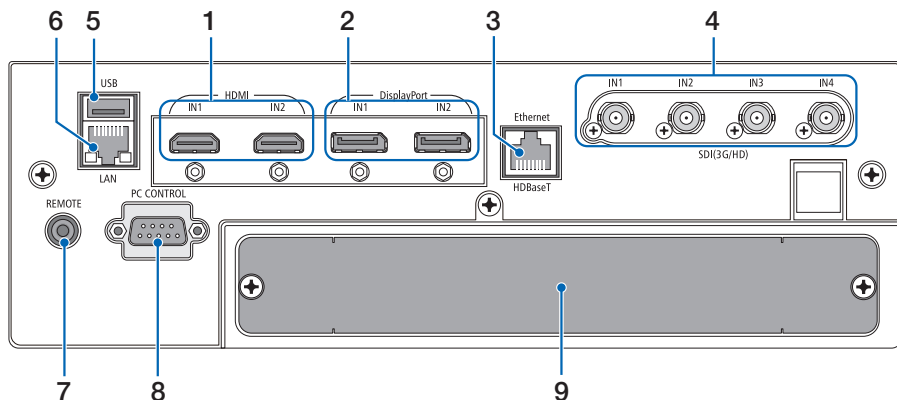
光源を消灯して投写光を一時的に消します。  
もう一度押すと戻ります。(▶ 54 ページ)

## 19 (CALIBRATION) ボタン

長く (2 秒以上) 押すと、取り付けしたレンズユニットのズーム、フォーカス、レンズシフトの調整範囲を校正します。

(▶ 37, 125 ページ)

## 接続端子部



**1 HDMI1/HDMI2 入力端子 [HDMI IN1/IN2] (タイプ A)**  
コンピューターやブルーレイプレーヤーなどの HDMI 出力端子と接続します。  
(▶ 149 ページ)

**2 DisplayPort1/DisplayPort2 入力端子 [DisplayPort IN1/IN2] (DisplayPort 20ピン)**  
コンピューターなどの DisplayPort 出力端子と接続します。  
(▶ 149 ページ)

**3 HDBaseT ポート [Ethernet/HDBaseT] (RJ-45)**  
本機を有線 LAN に接続します。接続すると本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。(▶ 67 ページ)  
また、本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。(▶ 149 ページ)

**4 SDI1/SDI2/SDI3/SDI4 入力端子 [SDI (3G/HD) IN1/IN2/IN3/IN4] (BNC)**  
SDI 出力機器と接続します。(▶ 149 ページ)

**5 USB ポート (タイプ A)**  
将来の拡張機能用です。電源供給が可能です。

**6 LAN ポート (RJ-45)**  
本機を有線 LAN に接続します。接続すると本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。  
(▶ 67 ページ)  
市販のカテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア (STP) ケーブルを使用してください。

**7 REMOTE 端子 (ステレオ・ミニ)**  
市販の φ3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル (抵抗無し) を使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します。(▶ 31 ページ)

**注意**

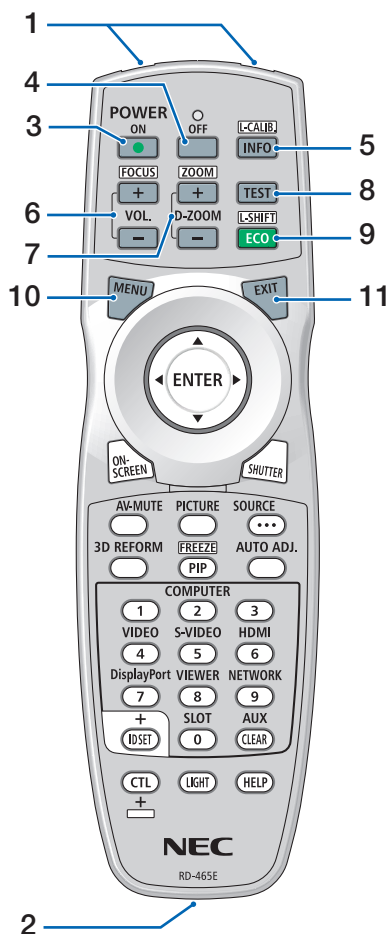
- REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。
- リモコン受光部設定で HDBaseT を選択しており、かつ市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定している場合は赤外線でのリモコン操作が行えません。ただし、伝送機器の電源を切っているときは赤外線でのリモコン操作が行えます。

**8 PC CONTROL 端子 (D-Sub 9ピン)**  
コンピューターで本機を操作するときに使用します。  
市販のシールドタイプの RS232C ケーブルを使用してください。

**9 SLOT**  
別売のオプションボードを取り付けるための拡張用スロットです。  
工場出荷時は開口部をふさぐためのプレートを取り付けています。  
(▶ 161 ページ)

# 1-4. リモコン各部の名称

添付品名や名称を確認する



## 1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

## 2 リモコンケーブル接続端子

リモコンを有線で使用するときに、市販のφ3.5ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗無し）を接続します。（▶31ページ）

## 3 POWER (ON) ボタン

スタンバイ時（POWERインジケータが赤色\*に点灯）に本機の電源を入れます。（\*スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

## 4 POWER (OFF) ボタン

一度押しして電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(OFF)（または(ENTER)）ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

## 5 (INFO/L-CALIB.) ボタン

オンスクリーンメニューの情報の「信号(1)」を表示します。（▶145ページ）  
(CTL)ボタンと同時に押しすると、レンズキャリブレーションを行います。（▶37, 125ページ）

## 6 (VOL./FOCUS +/-) ボタン

(CTL)ボタンと同時に押しすると、フォーカス調整画面を表示します。レンズのフォーカスを調整します。（▶45ページ）  
(VOL.ボタンの機能は、本機では使用できません。)

## 7 (D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタン

画面の拡大・縮小（もとに戻す）をデジタルで行います。（▶57ページ）  
(CTL)ボタンと同時に押しすると、ズーム調整画面を表示します。レンズのズームを調整します。（▶50ページ）

## 8 (TEST) ボタン

テストパターンを表示します。（◀▶)ボタンでテストパターンを切り替えます。  
テストパターンを消す場合は、他の入力信号に切り替えます。

## 9 (ECO/L-SHIFT) ボタン

ライトモード画面を表示します。（▶58ページ）

**注意** ● [調整] → [映像] → [モード] の設定により、表示される画面が異なります。（▶99ページ）

(CTL)ボタンと同時に押しすると、レンズシフト調整画面を表示します。

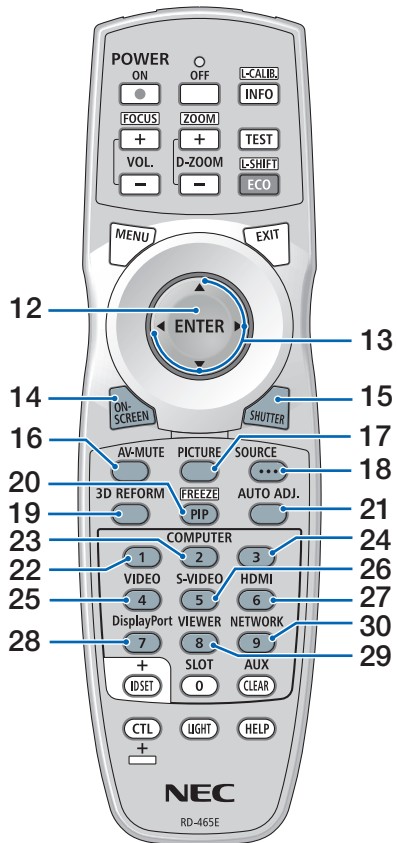
(◀▶)ボタンでレンズ位置を調整します。（▶44ページ）

## 10 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

## 11 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



### 17 (PICTURE)ボタン

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(🔗99, 103 ページ)

### 18 (SOURCE)ボタン

入力信号を検出します。  
HDMI1 → HDMI2 → DisplayPort1 → DisplayPort2 → HDBaseT → SDI1 → SDI2 → SDI3 → SDI4 → SLOT… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

### 19 (3D REFORM)ボタン

投写画面の台形歪みを調整します。  
(🔗61, 112 ページ)

### 20 (PIP/FREEZE)ボタン

(CTL)ボタンと同時に押しと、表示されている画像が静止画となります。もう一度押しと戻ります。(🔗57 ページ)

### 21 (AUTO ADJ.)ボタン

HDMI、DisplayPort、HDBaseT、SDI、SLOT の画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。

### 22 (COMPUTER 1)ボタン

(本機では使用できません。)

### 23 (COMPUTER 2)ボタン

(本機では使用できません。)

### 24 (COMPUTER 3)ボタン

(本機では使用できません。)

### 25 (VIDEO)ボタン

(本機では使用できません。)

### 26 (S-VIDEO)ボタン

(本機では使用できません。)

### 27 (HDMI)ボタン

HDMI 入力端子を選択します。押すごとに HDMI1 と HDMI2 を切り替えます。

### 28 (DisplayPort)ボタン

DisplayPort 入力端子を選択します。押すごとに DisplayPort1 と DisplayPort2 を切り替えます。

### 29 (VIEWER)ボタン

(本機では使用できません。)

### 30 (NETWORK)ボタン

HDBaseT ポートを選択します。

### 12 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。  
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

### 13 (方向キー)ボタン

オンスクリーンメニュー操作や (D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタン、(ECO/L-SHIFT) ボタンと組み合わせて使用します。(🔗85, 57, 44 ページ)

### 14 (ON-SCREEN)ボタン

オンスクリーン表示を消します。  
(🔗55 ページ)  
もう一度押しと戻ります。

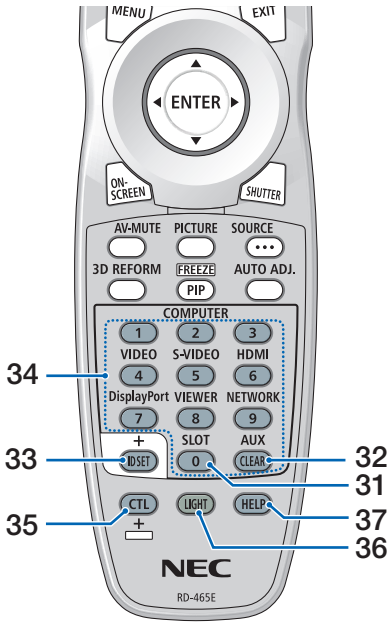
### 15 (SHUTTER)ボタン

光源を消灯して、投写光を一時的に消します。  
もう一度押しと戻ります。(🔗54 ページ)

### 16 (AV-MUTE)ボタン

映像を一時的に消します。もう一度押しと戻ります。(🔗54 ページ)





**31 (SLOT)ボタン**  
SLOTを選択します。

**32 (AUX)ボタン**  
SDI入力端子を選択します。押すごとにSDI1、SDI2、SDI3、SDI4を切り替えます。

**33 (ID SET) ボタン**  
複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロールID設定に使用します。(▶ 131 ページ)

**34 数字 (0～9) 入力ボタン**  
複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合のID入力に使用します(コントロールID設定)。  
(CLEAR)ボタンは、コントロールID設定を解除する場合に使用します。(▶ 132 ページ)

**35 (CTL) ボタン**  
他のボタンと併用するための複合機能ボタンです。

**36 (LIGHT)ボタン**  
ボタンのバックライトが点灯します。10秒間ボタン操作をしないと消灯します。

**37 (HELP)ボタン**  
情報画面を表示します。(▶ 145 ページ)

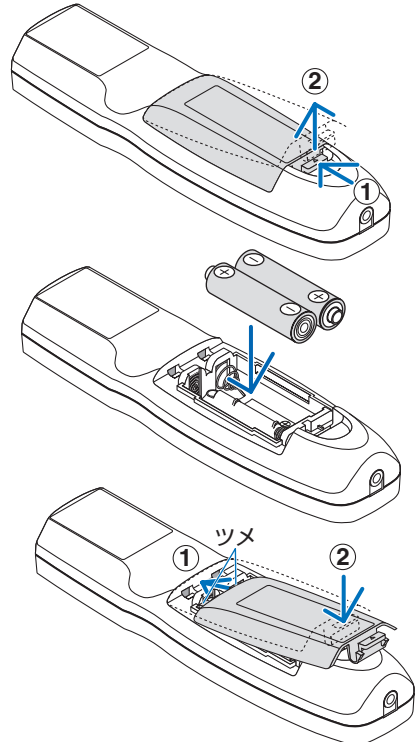
## ●電池の入れかた

**1** リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。

**2** ケース内部に表示している+、-の向きに合わせて単3アルカリ乾電池をセットする。

**3** もとどおりにふたをする。  
ふたのツメをケースのミゾに入れてからふたをしめます。

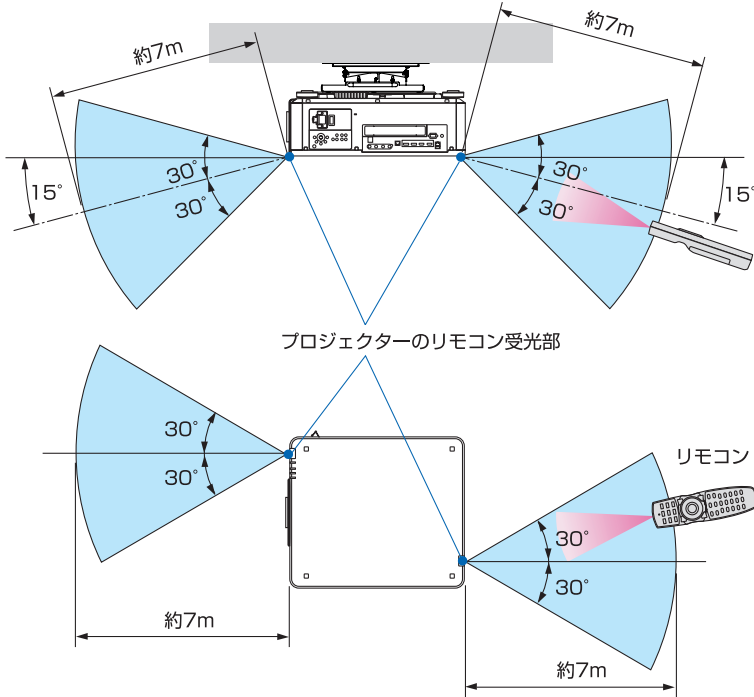
**注意** ● 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単3アルカリ乾電池をお買い求めください。



## ●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

### 【受光範囲】



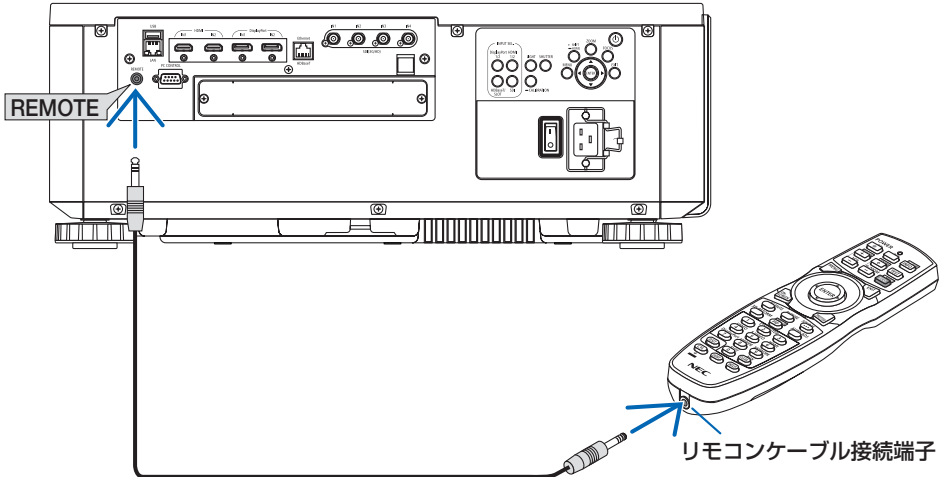
(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

## ●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- 上記の範囲内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。

## ●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、受光範囲外でリモコン操作するときは、リモコンケーブルを使用して、本体とリモコンを接続してください。



- リモコンケーブルは、市販の  $\phi 3.5$  ステレオミニプラグ付き（抵抗なし）を使用してください。
- REMOTE 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE 端子からリモコンへ電源は供給されません。有線で使用する場合でも、リモコンに乾電池を入れてください。

## 2. 映像を投写する（基本操作）

### 2-1. 映像を投写する流れ

#### ステップ 1

コンピューターと接続する／電源コードを接続する (▶ 次ページ)



#### ステップ 2

本機の電源を入れる (▶ 36 ページ)



#### ステップ 3

入力信号を選択する (▶ 39 ページ)



#### ステップ 4

投写画面の位置と大きさを調整する (▶ 42 ページ)  
台形歪みを調整する (▶ 61, 113 ページ)



#### ステップ 5

映像を調整する



#### ステップ 6

プレゼンテーションを行う



#### ステップ 7

本機の電源を切る (▶ 52 ページ)



#### ステップ 8

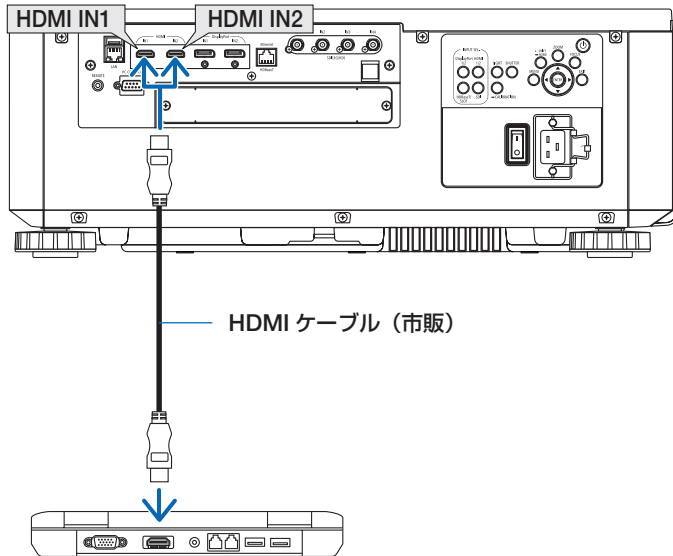
あとかたづけ (▶ 53 ページ)

## 2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する

### 1. コンピューターと接続する

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6-2. 外部機器と接続する」149, 150 ページをご覧ください。

コンピューターの HDMI 出力端子と本機の HDMI1 入力端子または HDMI2 入力端子を接続します。



### 2. 電源コードを接続する

#### ⚠️ 注意

- 本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されている 3 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。また、接続の際に、2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。
- 感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。
- 電源コードのプラグを AC IN 端子および 3 芯コンセントに接続するときは、コネクタやプラグを奥までしっかり差し込んでください。電源コードのプラグとコンセントの接続がゆるいと、プラグ部分が発熱しやけどや事故の原因となることがあります。

#### 重要

- 本機の電源コードの取り付けは、主電源スイッチが「○(切)」の状態で行ってください。主電源スイッチが「I(入)」の状態で行うと、故障の原因となります。
- 三相 200V の電源には接続しないでください。故障の原因となります。

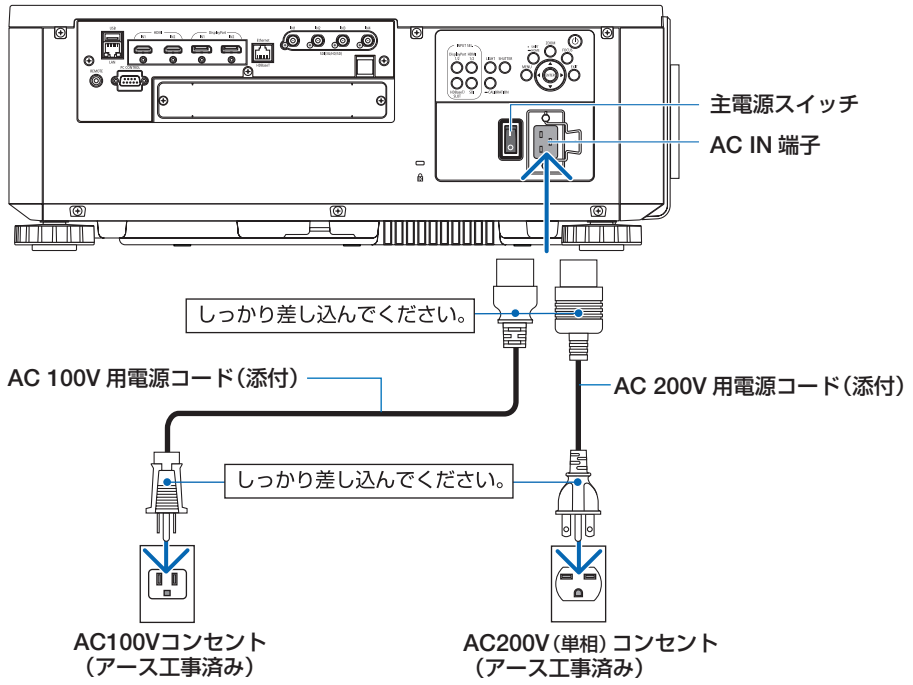
本機の電源はAC100VとAC200V(単相)用コンセント(アース付き3芯コンセント)に対応しています。添付の電源コードを使って、本機をコンセントに接続してください。

### AC100Vの場合

- ① AC100V用電源コードのコネクターを本機のAC IN端子に差し込む。
- ② AC100V用電源コードのプラグをAC100Vの3芯コンセント(アース工事済み)に差し込む。

### AC200Vの場合

- ① AC200V用電源コードのコネクターを本機のAC IN端子に差し込む。
- ② AC200V用電源コードのプラグをAC200V(単相)の3芯コンセント(アース工事済み)に差し込む。



<b>注意</b>	電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。
-----------	---

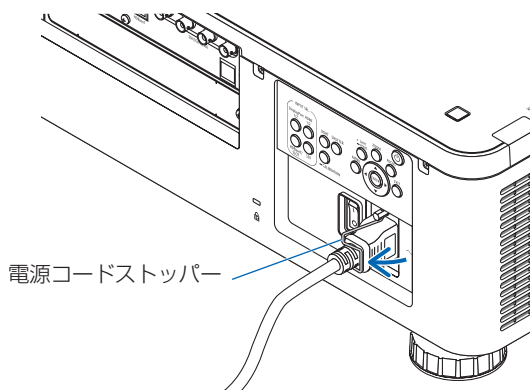
## ●電源コードストッパーの使いかた

本体の AC IN 端子に接続した電源コードのコネクターが抜け落ちないように、電源コードストッパーを使って固定します。

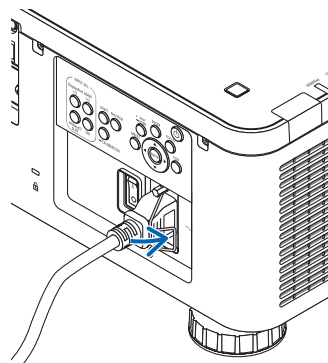
### 注意

- 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際はコネクターを奥までしっかり挿し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

- ① 電源コードストッパーを引き起こして、電源コードにかぶせます。





- 解除するときは、電源コードから電源コードストッパーを外して本体側へ倒します。





## 2-3. 本機の電源を入れる







本機の電源の入/切は、主電源スイッチと  ボタン（リモコンは POWER  (OFF) ボタン）の 2 段階の操作で行います。

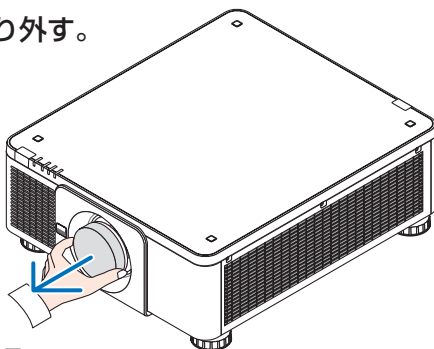
### ● 電源を入れる このページ

- 1 主電源スイッチを「I (入)」にする。  
本機がスタンバイ状態になります。
- 2  ボタン（リモコンは POWER  ボタン）」を押す。  
本機の電源が入ります。


### ● 電源を切る 52 ページ

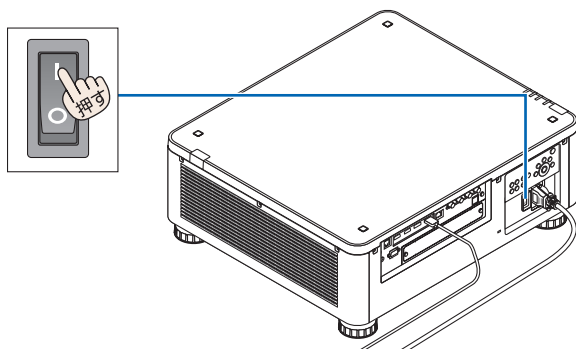
- 1  ボタン（リモコンは POWER  ボタン）」を押す。  
画面に確認メッセージが表示されます。
- 2 もう一度「 ボタン（リモコンは POWER  ボタン）」を押す。  
本機がスタンバイ状態になります。
- 3 ファンの回転が終わったら、主電源スイッチを「O (切)」にする。  
本機の電源が切れます。

### 1 レンズからレンズキャップを取り外す。



### 2 主電源スイッチを「I (入)」にする。


POWER インジケーターが緑色に点灯します。本機の操作や接続機器からの通信がないと、しばらくしてスタンバイ状態に移行します。（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）  141 ページ

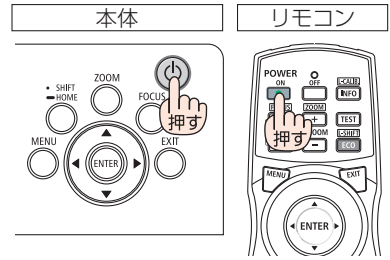




### 3 電源 ボタンを押す。

POWER インジケーターが緑色の点灯から青色点滅に変わり、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック）が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- 映像がぼやけている場合は、画面のフォーカスを合わせてください。（ 45 ページ）



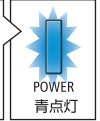
#### スリープ状態



#### 準備中




#### オン状態



## 警告

プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

### 参考


- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。（ 65 ページ）

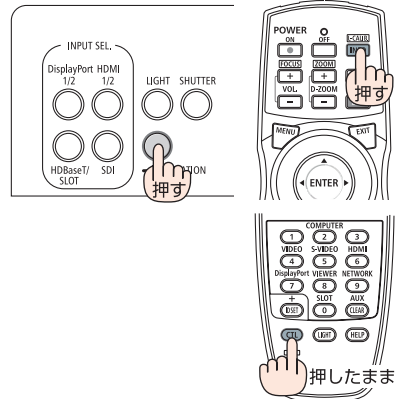
- 別売のレンズユニット（下記\*）を本機に取り付けたとき、またはレンズユニットを交換したときは、本体の(CALIBRATION) ボタンを長く（2 秒以上）押すか、リモコンの(CTL) ボタンを押したまま (INFO/L-CALIB.) ボタンを押して、「キャリブレーション」を実行してください。

キャリブレーションを行うことにより、レンズのズーム、フォーカス、レンズシフトの調整範囲を校正します。

\* キャリブレーションが必要なレンズユニットの型名

NP16FL-4K/NP17ZL-4K/NP18ZL-4K/NP19ZL-4K/NP20ZL-4K/NP21ZL-4K/NP31ZL-4K

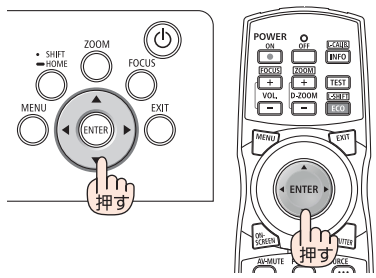
また、レンズシフトの動作に異常が発生したときも、「キャリブレーション」を実行してください。（ 178 ページ）



- ご購入後はじめて電源を入れたときはLANGUAGE画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。
- 誤って「日本語」以外を選択した場合は、オンスクリーンメニューを表示して「言語」を変更することができます。(▶120ページ)

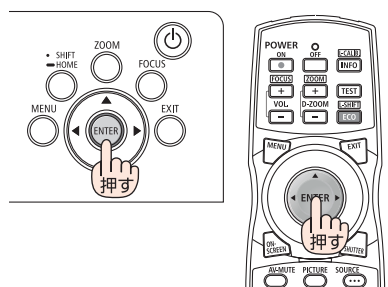


① ◀▶▶▶▶ ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。



② (ENTER) ボタンを押す。  
オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。

- 「日付と時刻を設定してください。」のメッセージが表示されたときは、必ずタイムゾーンの設定および日付と時刻の設定を行ってください。(▶130ページ)
- また、メッセージが表示されない場合でも、上記の設定を行うことをおすすめします。



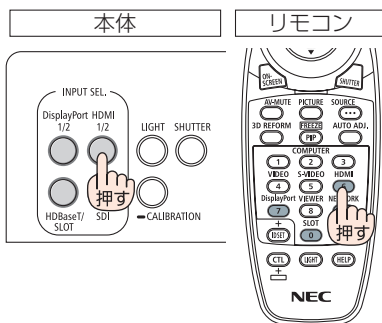
**注意**

- 次のような場合は、(POWER) ボタンを押しても電源が入りません。
  - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って(内部の温度が下がって)から電源を入れてください。
  - (POWER) ボタンを押している間に STATUS インジケーターがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。(▶130ページ)
- POWER インジケーターが青色で短い点滅をしているときは(POWER) ボタンを押しても電源は切れません(青色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れません)。

## 2-4. 入力信号を選択する

### ダイレクトボタンを押して選択する

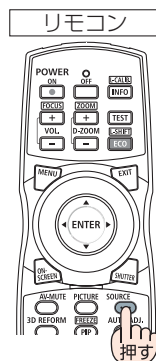
- 1 本機に接続している機器の電源を入れる。  
ブルーレイプレーヤーなどの映像を投写するとき  
は、再生 (PLAY) 操作をしてください。
- 2 本体またはリモコンのダイレクトボタンを押す。



接続端子	本体操作部のボタン	リモコンのボタン	備考
HDMI 1/2 入力端子	(HDMI 1/2)	(HDMI)	押すごとに HDMI1 と HDMI2 を切り替えます。
DisplayPort 1/2 入力端子	(DisplayPort 1/2)	(DisplayPort)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 押すごとに DisplayPort1 と DisplayPort2 を切り替えます。</li> <li>• デュアルリンクの場合は DisplayPort1 を選択します。</li> </ul>
SDI 1/2/3/4 入力端子	(SDI)	(AUX)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 押すごとに SDI1、SDI2、SDI3、SDI4 を切り替えます。</li> <li>• クアッドリンクまたはデュアルリンクの場合は SDI1 を選択します。</li> </ul>
HDBaseT ポート	(HDBaseT/SLOT)	(NETWORK)	本体操作部のボタンは、押すごとに HDBaseT と SLOT を切り替えます。
SLOT	(HDBaseT/SLOT)	(SLOT)	

### 投写する信号を自動検出する

- 1 本機に接続している機器の電源を入れる。  
ブルーレイプレーヤーなどの映像を投写するとき  
は、再生 (PLAY) 操作をしてください。
- 2 リモコンの (SOURCE) ボタンを 1 秒以上押す。  
HDMI1 → HDMI2 → DisplayPort1 →  
DisplayPort2 → HDBaseT → SDI1 → SDI2 →  
SDI3 → SDI4 → SLOT の順に自動でチェックし、  
入力信号を検出すると、その信号を投写します。



次ページに続く

- 短く押すと、入力端子画面が表示されます。  
 (▼/▲)ボタンを押して目的の入力端子に合わせて、(ENTER)ボタンを押すと入力が切り替わります。  
 入力端子画面のメニュー表示を消すには(MENU)ボタンまたは(EXIT)ボタンを押します。

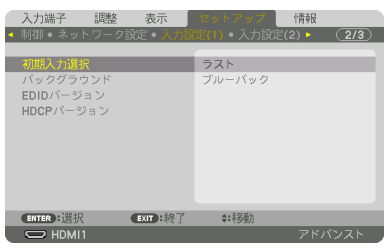


## 自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

- 1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「入力設定 (1)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。  
 ・ オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。(85 ページ)



- 2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



- 3 (EXIT) ボタンを 3 回押す。  
 オンスクリーンメニューが消えます。

- 4 本機の電源を入れなおす。  
 手順 2 で設定した信号が自動的に投写されます。

参考

- 本機とコンピューターを接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピューターから出されたコンピューターの同期信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピューター画面を投写することができます（オートパワーオン選択）。  
[\(▶ 142 ページ\)](#)
- 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック）が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。  
 ブルーレイプレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合  
 ノートブックコンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。
- Windows のノートブックコンピューターの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

<b>[Fn]</b> + <b>[F3]</b>	NEC
<b>[Fn]</b> + <b>[F8]</b>	DELL

※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

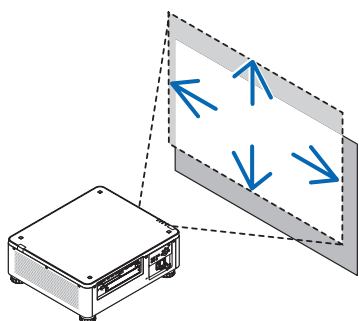
- Apple MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。

[\(▶ 39 ページ\)](#)

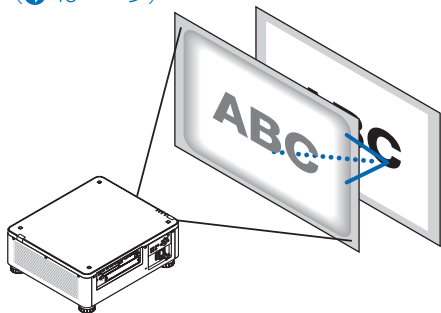
## 2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

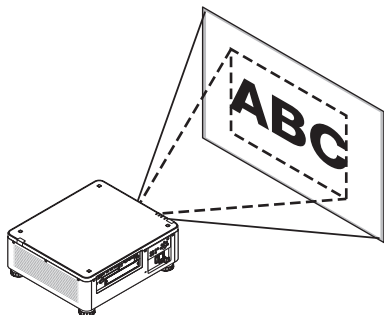
投写画面の上下・左右位置の調整  
【レンズシフト】 (▶ 次ページ)



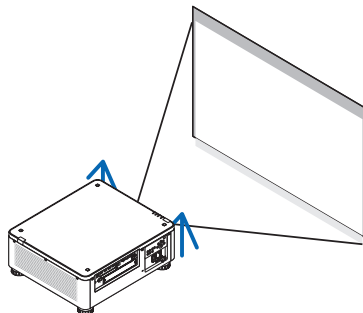
投写画面のフォーカス調整【フォーカス】  
(▶ 45 ページ)



投写画面の大きさの調整【ズーム】  
(▶ 50 ページ)



投写画面の高低と左右の傾き調整 (注 1)  
【チルトフット】 (▶ 51 ページ)



(注 1) チルトフットによる投写画面の高低の調整は、レンズシフトの範囲よりも高い位置に投写する場合に行ってください。

※ ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

### 参考

- テストパターンを表示させて調整をすると合わせやすくなります。リモコンの **TEST** ボタンを押すと、テストパターンを表示します。  
◀▶ ボタンでテストパターンを切り替えます。  
テストパターンを消す場合は、他の入力信号に切り替えます。

## 投写画面の位置の調整（レンズシフト）



**注意**

- 調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、目を痛める原因となります。
- レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

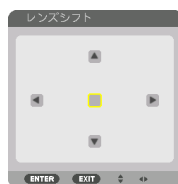
**注意**

- レンズユニット NP16FL-4K または NP39ML-4K をご使用の場合、レンズシフト調整はできません。  
NP16FL-4K の場合は、レンズ位置をホームポジションから動かさずに使用してください。  
NP39ML-4K の場合は、オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [設置 (2)] → [レンズポジション] → [種類] を実行して、レンズを最適な位置に移動して使用してください。 (125 ページ)
- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。

### ● 本体で調整する

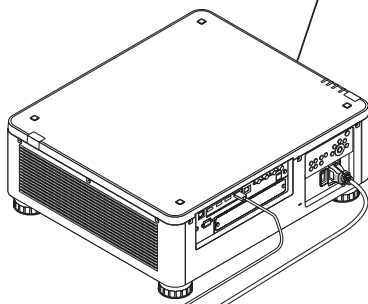
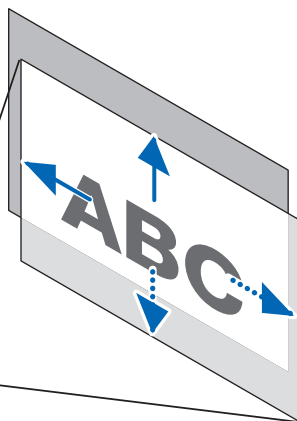
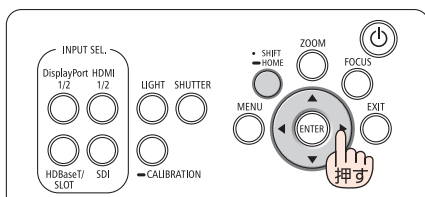
#### 1 (SHIFT/HOME) ボタンを押す。

レンズシフト調整画面が表示されます。



#### 2 (方向キー) ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。



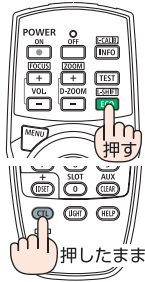
#### レンズシフトをホームポジションに戻す場合

(SHIFT/HOME) ボタンを長押し (約 2 秒以上) すると本機のレンズ位置がホームポジション (ほぼ中心位置) に戻ります。

## ● リモコンで調整する

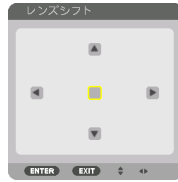
### 1 (CTL) ボタンを押したまま (ECO/L-SHIFT) を押す。

レンズシフト調整画面が表示されます。



### 2 (方向キー) ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。



### 注意

#### レンズキャリブレーションについて

誤ってレンズシフト動作中に本機の電源を遮断すると、レンズのホームポジションがずれレンズシフトの動作が異常になる場合があります。

その場合は、レンズキャリブレーションを実行してください。

操作手順

1 本機の電源を入れる。

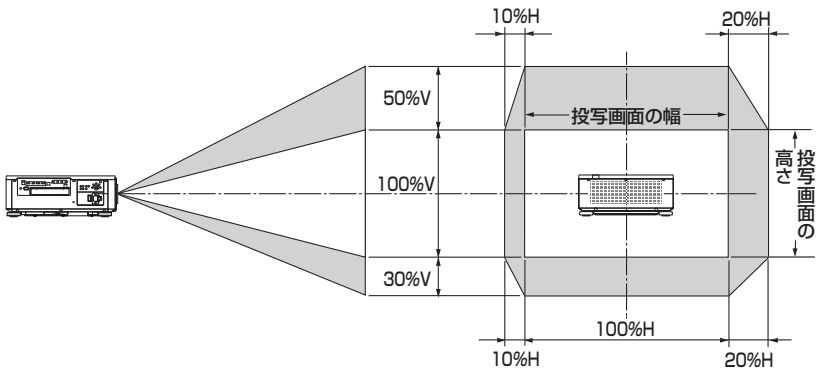
2 (CALIBRATION) ボタンを長く（2 秒以上）押す。

- ・ リモコンで操作する場合は (CTL) ボタンを押したまま (INFO/L-CALIB.) ボタンを押します。

レンズキャリブレーションが実行されます。

### 参考

- 下図はレンズシフト調整範囲（投写方式：デスク／フロント）を示しています。これ以上投写位置を上げたいときはチルトフットを使います。（51 ページ）



記号の意味：V は垂直（投写画面の高さ）、H は水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。



## 投写画面のフォーカス合わせ(フォーカス)

フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをおすすめします。

テストパターンの表示については [95 ページ](#) をご覧ください。

### ● 適応レンズユニット

NP16FL-4K/NP17ZL-4K/NP18ZL-4K/NP19ZL-4K/NP20ZL-4K/  
NP21ZL-4K

#### 1 (FOCUS) ボタンを押す。

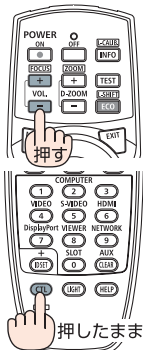
フォーカス調整バーが表示されます。



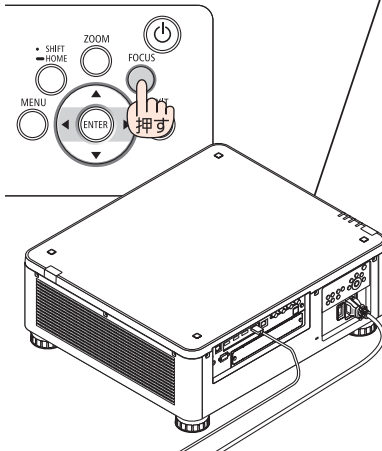
#### 2 ◀▶ ボタンを押してフォーカス(画面のピント)を調整する。

- ・リモコンで操作する場合は (CTL) を押したまま、(VOL./FOCUS +/-) ボタンを押します。
- ・フォーカス調整バーを表示中に、リモコンの (◀▶) ボタンを押しても調整できません。

リモコン



本体



### 参考

- 最適なフォーカス調整を行うには、次のように操作します(常駐設置する場合)。  
準備: 投写状態にして約 1 時間ウォームアップします。
- ① (FOCUS)、(◀▶) ボタンを押してフォーカスの調整範囲を確認します。フォーカス範囲にない場合は、本体の設置位置を前後に移動してください。
- ② オンスクリーンメニューのテストパターンを表示させます。(▶ [95 ページ](#))  
・リモコンで操作する場合は、(TEST) ボタンを押します。
- ③ (FOCUS) ボタンを押してフォーカス調整バーを表示し、テストパターンのピクセルの格子が確認できなくなるまで、(◀) ボタンを押す。  
・リモコンで操作する場合は (CTL) ボタンを押したまま (VOL./FOCUS-) ボタンを押します。  
・フォーカス調整画面を移動したり、一時的に消去することができます。  
(▶ [56, 55 ページ](#))

次ページに続く

④ 最適なフォーカスになるまで、**(▶)** ボタンを押す。

- ・ リモコンで操作する場合は**(CTL)**ボタンを押したまま**(VOL./FOCUS +)**ボタンを押します。

最適なフォーカスになる点を超えてしまった場合は、手順**③④**を繰り返します。



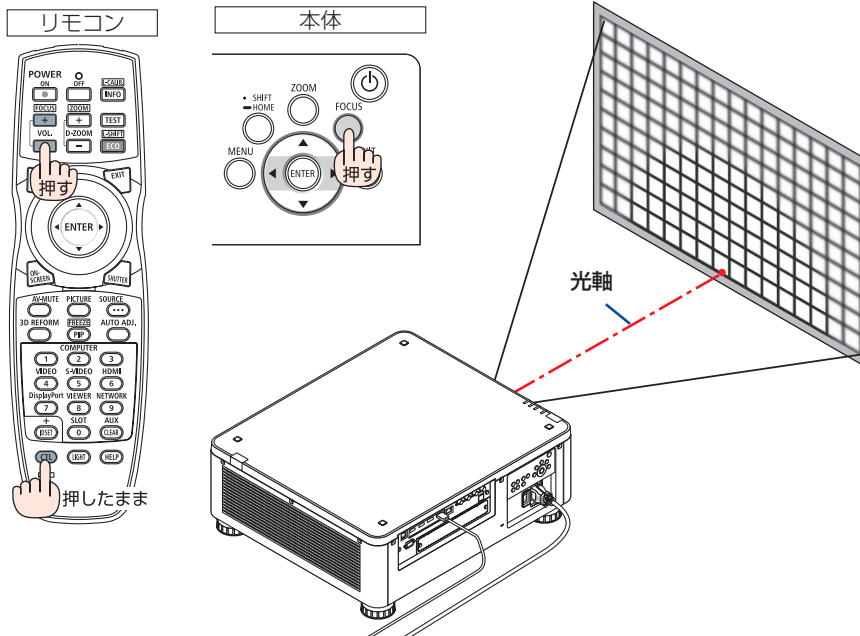
## ● 適応レンズユニット：NP31ZL-4K

### 1 光軸付近のフォーカスを合わせる(電動フォーカス)。

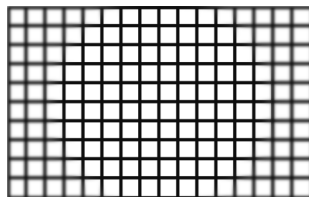
**(FOCUS)** ボタンを押すとフォーカス調整バーが表示されます。**(◀▶)** ボタンを押して光軸付近のフォーカスを調整します。

- ・ リモコンで操作する場合は**(CTL)**を押したまま、**(VOL./FOCUS +/-)**ボタンを押します。
- ・ フォーカス調整バーを表示中に、リモコンの**(◀▶)** ボタンを押しても調整できます。

下図はレンズシフトを上方向へ移動しているときの例です。光軸は画面の下側にあります。

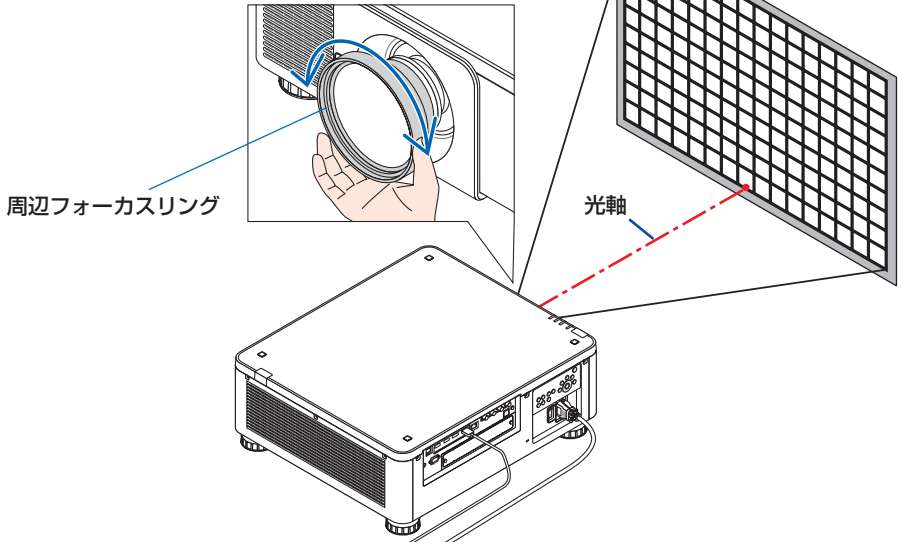


※ レンズシフトの位置がセンターのときは、光軸が中心にあるので、画面中央のフォーカスを合わせます。



## 2 周辺フォーカスリングを左右に回し、画面周辺のフォーカスを合わせる（手動フォーカス）。

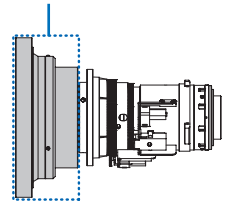
このとき、1で調整した光軸付近のフォーカスは変わりません。




### 参考

- NP31ZL-4Kは、レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値をプロジェクター本体に保存するレンズメモリー機能に対応しています。ただし、調整値を保存したあとに、レンズの周辺フォーカスリング（図で示した部分）を触って動かしてしまうと、レンズメモリーを呼び出しても正しく調整されません。  
プロジェクター本体からレンズユニットを取り出して再度取り付けたときは、レンズメモリーを呼び出したあと、2に従って、画面周辺のフォーカス合わせをやりなおしてください。

周辺フォーカスリング



- 最適なフォーカス調整を行うには、次のように操作します（常駐設置する場合）。  
準備：投写状態にして約1時間ウォームアップします。
- ① (FOCUS)、(◀▶)ボタンを押してフォーカスの調整範囲を確認します。
  - ・リモコンで操作する場合は(CTL)ボタンを押したまま(VOL./FOCUS +/-)ボタンを押します。
  - フォーカス範囲にない場合は、本体の設置位置を前後に移動してください。
- ② オンスクリーンメニューのテストパターンを表示させます。(▶ 95 ページ)
  - ・リモコンで操作する場合は、(TEST)ボタンを押します。
- ③ (FOCUS)ボタンを押してフォーカス調整バーを表示し、テストパターンのピクセルの格子が確認できなくなるまで、(◀)ボタンを押す。
  - ・リモコンで操作する場合は(CTL)ボタンを押したまま(VOL./FOCUS -)ボタンを押します。
  - ・フォーカス調整画面を移動したり、一時的に消去することができます。(▶ 56, 55 ページ)

- ④ 最適なフォーカスになるまで、 ボタンを押す。
  - ・ リモコンで操作する場合は(CTL)ボタンを押したまま(VOL./FOCUS +)ボタンを押します。
  - ・ 最適なフォーカスになる点を過ぎてしまった場合は、手順③④を繰り返します。
- ⑤ 周辺フォーカスリングを左右に回して、画面周辺のフォーカスを合わせる。



## ● 適応レンズユニット：NP39ML-4K

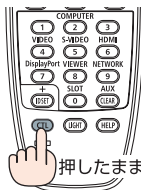
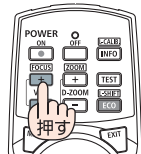
### 1 光軸付近のフォーカスを合わせる。

(FOCUS) ボタンを押すとフォーカス調整バーが表示されます。(◀▶)ボタンを押して光軸付近のフォーカスを調整します。

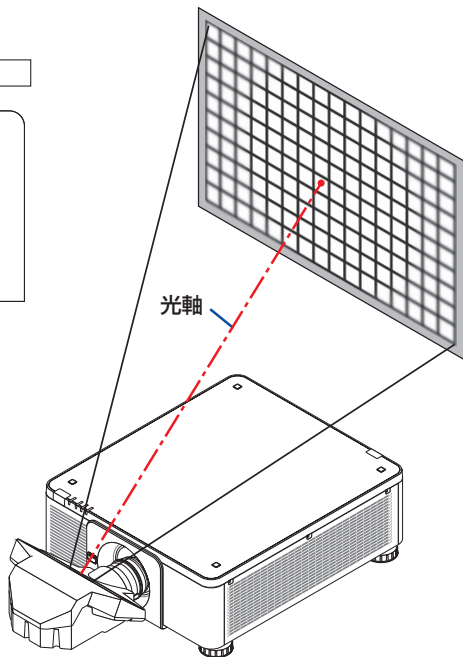
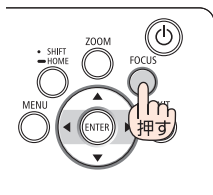
- ・ リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(VOL./FOCUS +/-)ボタンを押します。
- ・ フォーカス調整バーを表示中に、リモコンの(◀▶)ボタンを押しても調整できます。



リモコン



本体

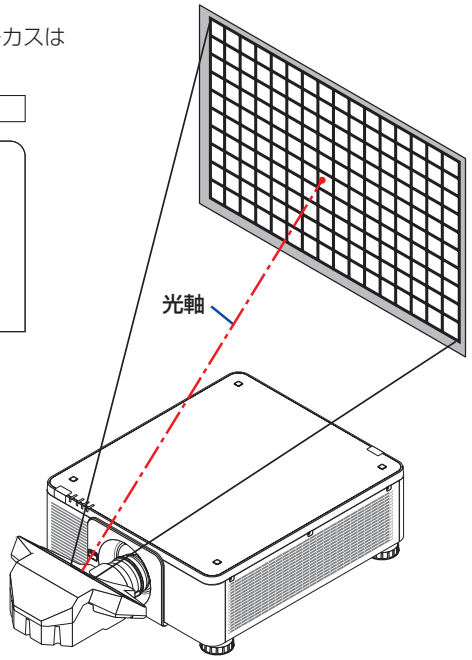
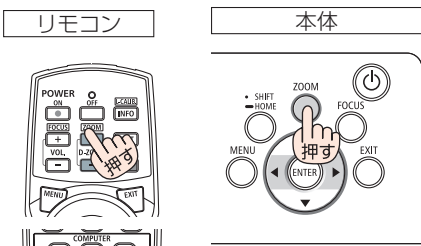


## 2 画面周辺のフォーカスを合わせる。

(ZOOM) ボタンを押すとズーム調整バーが表示されます。(◀▶) ボタンを押して、画面周辺のフォーカスを調整します。

- ・リモコンで操作する場合は(CTL)を押したまま、(D-ZOOM/ZOOM +/-) ボタンを押します。
- ・ズーム調整バーを表示中に、リモコンの(◀▶) ボタンを押しても調整できます。

このとき、1で調整した光軸付近のフォーカスは変わりません。



## 3 全体のフォーカスが合うまで1、2を繰り返す。

### 参考

- 最適なフォーカス調整を行うには、次のように操作します（常駐設置する場合）。  
準備：投写状態にして約1時間ウォームアップします。
- ① (FOCUS)、(◀▶) ボタンを押してフォーカスの調整範囲を確認します。
  - ・リモコンで操作する場合は(CTL) ボタンを押したまま (VOL./FOCUS +/-) ボタンを押します。
  - フォーカス範囲にない場合は、本体の設置位置を前後に移動してください。
- ② オンスクリーンメニューのテストパターンを表示させます。(▶ 95 ページ)
  - ・リモコンで操作する場合は、(TEST) ボタンを押します。
- ③ (FOCUS) ボタンを押してフォーカス調整バーを表示し、テストパターンのピクセルの格子が確認できなくなるまで、(◀) ボタンを押す。
  - ・リモコンで操作する場合は(CTL) ボタンを押したまま (VOL./FOCUS-) ボタンを押します。
  - ・フォーカス調整画面を移動したり、一時的に消去することができます。(▶ 56, 55 ページ)

次ページに続く

- ④ 最適なフォーカスになるまで、**[▶]** ボタンを押す。
  - ・ リモコンで操作する場合は**[CTL]** ボタンを押したまま **[VOL./FOCUS +]** ボタンを押します。
  - ・ 最適なフォーカスになる点を超えてしまった場合は、手順③④ を繰り返します。
- ⑤ **[ZOOM]** ボタンを押してズーム調整バーを表示し、**[◀▶]** ボタンを押して画面周辺のフォーカスを調整する。
  - ・ リモコンで操作する場合は**[CTL]** ボタンを押したまま **[D-ZOOM/ZOOM +/-]** ボタンを押します。

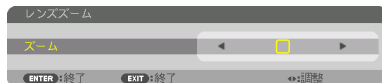
画面全体のフォーカスが最適になるまで手順①～⑤を繰り返します。

## 投写画面の大きさの調整 (ズーム)

### ●適応レンズユニット

NP17ZL-4K/NP18ZL-4K/NP19ZL-4K/NP20ZL-4K/NP21ZL-4K/  
NP31ZL-4K

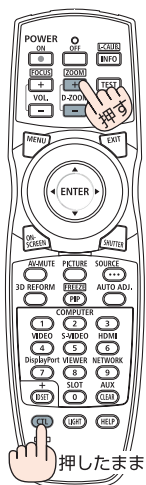
- ① **[ZOOM]** ボタンを押す。  
ズーム調整バーが表示されます。



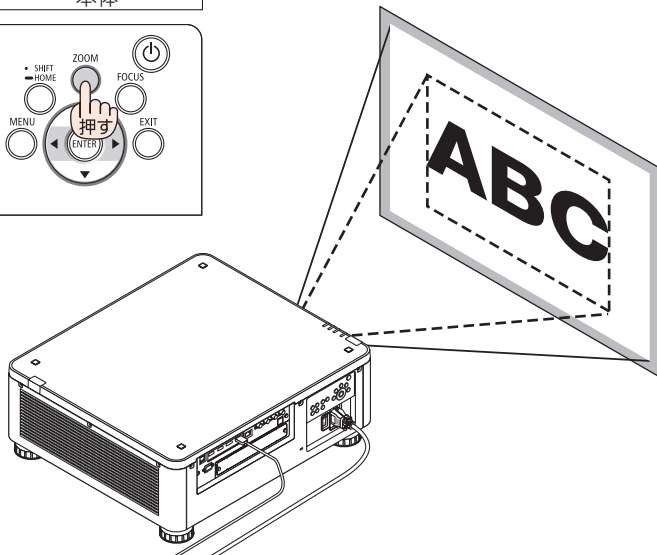
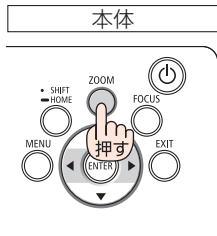
- ② **[◀▶]** ボタンを押してズーム (画面の大きさ) を調整する。

- ・ リモコンで操作する場合は**[CTL]** を押したまま、**[D-ZOOM/ZOOM +/-]** ボタンを押します。
- ・ ズーム調整バーを表示中に、リモコンの**[◀▶]** ボタンを押しても調整できます。

リモコン



本体



## 投写画面の高低と左右の傾き調整 (チルトフット)

### 1 4 箇所のチルトフットを回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。

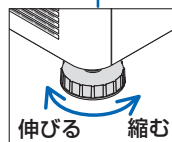
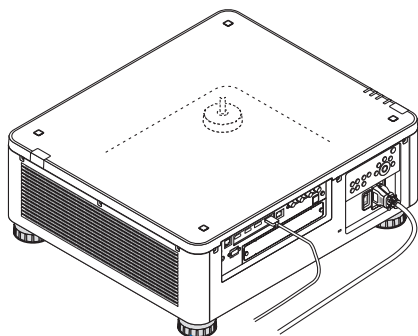
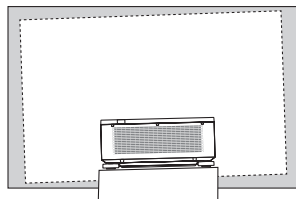
#### 【投写画面の高低調整】

前方(2箇所)または後方(2箇所)のチルトフットを回して高さ調整をします。

#### 【投写画面の傾き調整】

左右に傾いているときは、左側(2箇所)または右側(2箇所)どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

- 投写画面が歪んでいるときは「3-8. 台形歪みを調整する(4点補正)」(61 ページ) や幾何学補正 (112 ページ) をご覧ください。
- チルトフットは、最大 48mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大 6° 傾けることができます。



チルトフット  
(4 箇所)

### 注意

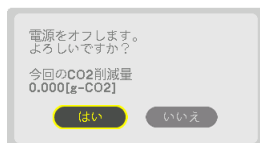
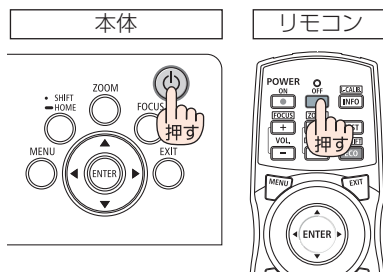
- チルトフットは 50mm 以上伸ばさないでください。50mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットを調整する場合、前後 2 箇所のアジャスターを同時に伸ばし、荷重が均等にかかるようにしてください。いずれか 1 箇所のみを調整すると、荷重が均等にかからず、アジャスターが故障する原因となります。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
- レンズユニット NP39ML-4K を取り付けられているときは、レンズユニットが左右に傾いている場合があります。レンズユニットが水平になっているか確認してください。

## 2-6. 本機の電源を切る

### 1 電源ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回のCO<sub>2</sub>削減量を表示します。(60 ページ)
- リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。



### 2 (ENTER) ボタンを押す。

光源が消灯し、電源が切れます (スリープ状態)。本機の操作や接続機器からの通信がないと、しばらくしてスタンバイ状態に移行します。(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

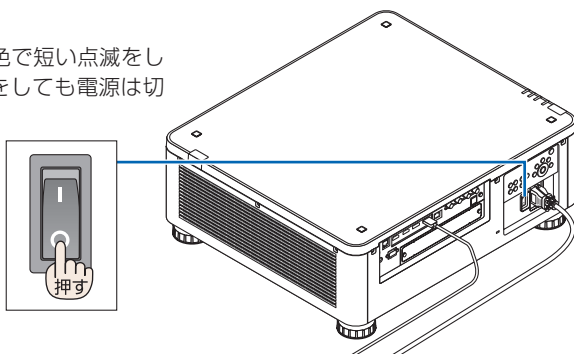
- (ENTER) ボタンの代わりに、電源ボタンまたは POWER (OFF) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、(左右) ボタンで「いいえ」を選んで (ENTER) ボタンを押します。



### 3 スタンバイ状態になったのを確認し、主電源スイッチを「○ (切)」にする。

本機の POWER インジケーターが消え、主電源が切れます。

- POWER インジケーターが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。



**注意**

投写中および冷却ファン回転中に主電源スイッチを切ったり、AC電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。





- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、本機の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカーなどを利用してください。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、主電源スイッチを切ったり、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

## 2-7. あとかたづけ

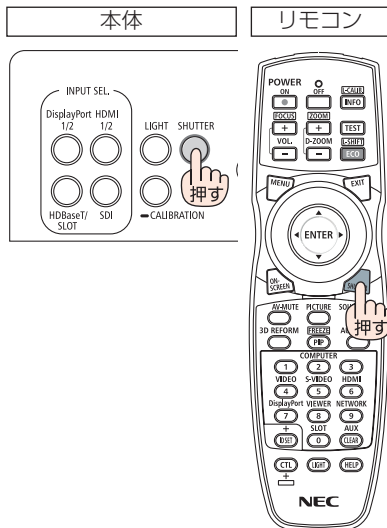
- 1** 電源コードを取り外す。
- 2** 各種信号ケーブルを取り外す。
- 3** レンズにレンズキャップを取り付ける。
- 4** 移動させるとき、チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。

# 3. 便利な機能

## 3-1. 投写光を消去する (レンズシャッター)

- 1** 本体またはリモコンの (SHUTTER) ボタンを押す。

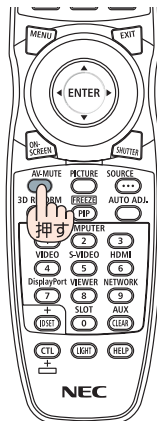
光源が消灯して、投写光が一時的に消えます。  
もう一度 (SHUTTER) ボタンを押すと投写されます。  
設定により、投写光を徐々に明るくしていく (フェードイン)、徐々に暗くしていく (フェードアウト) ことができます。 (▶ 124 ページ)



## 3-2. 映像を消去する (AV ミュート)

- 1** リモコンの (AV-MUTE) ボタンを押す。

投写されている映像が一時的に消えます。  
• もう一度 (AV-MUTE) ボタンを押すと、映像が出ます。



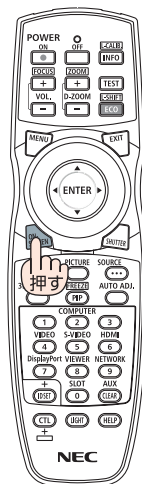
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

## 3-3. オンスクリーン表示を消去する (オンスクリーンミュート)

### 1 リモコンの (ON-SCREEN) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューや入力端子などの表示が出なくなります。

- もう一度 (ON-SCREEN) ボタンを押すと、オンスクリーン表示が出るようになります。

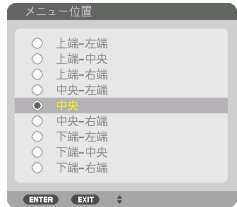
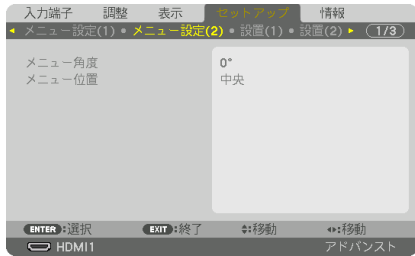


#### 参考

- オンスクリーンミュートが有効になっているかは、(MENU) ボタンを押したときにオンスクリーンメニューが出ないことで確認できます。
- 電源を切っても、オンスクリーンミュートの状態は保持されます。
- 本体でオンスクリーンミュートを無効にするには、本体の(MENU) ボタンを 10 秒以上押し続けます。無効になると、入力端子のメニューが表示されます。

## 3-4. オンスクリーンメニューの表示位置を変更する

- 1 **MENU** ボタンを押す。  
メニュー画面が表示されます。
  
- 2 **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押す。  
「メニュー設定 (1)」にカーソルが移動します。
  
- 3 **▶** ボタンを押して「メニュー設定 (2)」にカーソルを合わせる。
  
- 4 **▼** ボタンを押して「メニュー位置」にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押す。  
メニュー位置選択画面に変わります。
  
- 5 **▼▲** ボタンを押してメニュー位置を選択し、**ENTER** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニューの表示位置が変わります。



**参考**

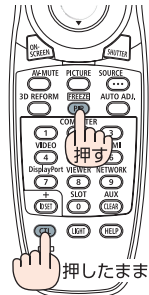
- 本機の電源を切っても、メニューの表示位置は保存されます。
- メニュー角度を変更すると、メニューの表示位置は工場出荷状態に戻ります。
- 入力端子やメッセージの表示位置は変わりません。

## 3-5. 動画を静止画にする (静止)

- 1** リモコンの **(CTL)** ボタンを押したまま **(PIP/FREEZE)** ボタンを押す。

ブルーレイプレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 **(CTL)** ボタンを押したまま **(PIP/FREEZE)** ボタンを押すと、動画に戻ります。



**参考**

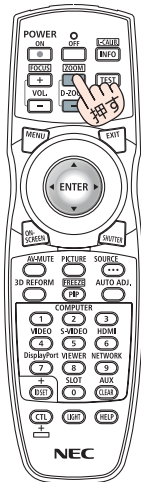
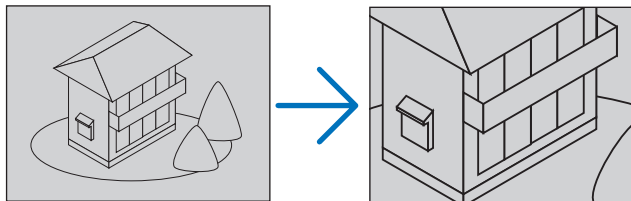
- **(CTL)** ボタンを押したまま **(PIP/FREEZE)** ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、ブルーレイプレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

## 3-6. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

- 1** リモコンの **(D-ZOOM/ZOOM +)** ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

- 最大 4 倍まで拡大できます。



- 2** **(◀▶▶▶)** ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

- 3** **(D-ZOOM/ZOOM -)** ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

- もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。

**注意**

- 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合や動作を制限する場合があります。

**参考**

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

## 3-7. 輝度(明るさ)の調整と省エネ効果

本機は、出力を20～100%の範囲(1%刻み)で調整し、調整後の明るさを一定に保つように制御することができます。

また、基準ライトモードをエコ1またはエコ2に設定すると、輝度が下がり動作音が小さくなります。消費電力を抑えて、本機のCO<sub>2</sub>排出量を削減します。

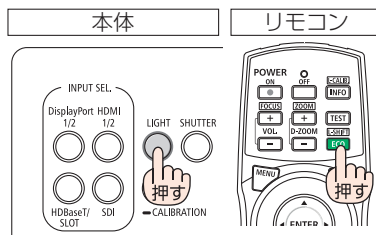
ライトモードは2つの設定方法があります。

機能	説明	参照ページ	
基準ライトモード	すべての入力信号共通の設定として、基準ライトモードや輝度の調整値を保存します。 映像のモード (🔘 99 ページ) が「スタンダード」のとき有効になります。	123	
	基準ライトモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)		輝度
	ノーマル (表示なし)		輝度(明るさ)が100%になります。 明るい画面になります。
	エコ1 (🌿)		輝度(明るさ)が約80%になります。 冷却ファンの回転数も対応して下がります。 消費電力が下がります。
	エコ2 (🌿)	輝度(明るさ)約50%になります。 冷却ファンの回転数も対応して下がります。 消費電力がさらに下がります。	
ライトモード	輝度を調整して、入力信号ごとに保存します。 映像のモード (🔘 99 ページ) が「プロフェッショナル」のとき有効になります。	101	

### ライトモード画面を表示する

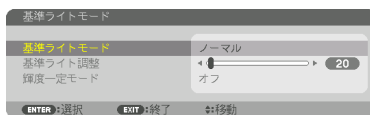
#### 1 (LIGHT) ボタンを押す。

- リモコンで操作する場合は (ECO/L-SHIFT) ボタンを押します。



【映像のモードが「スタンダード」のとき】

基準ライトモード画面が表示されます。



【映像のモードが「プロフェッショナル」のとき】

ライトモード画面が表示されます。



## ライト調整を行う

ここでは、基準ライトモード画面で説明します。

- 1 ▼ ボタンを押して「基準ライト調整」にカーソルを合わせる。



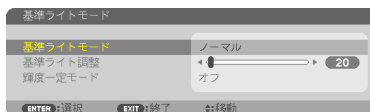
- 2 ◀▶ ボタンを押して調整する。  
調整後の明るさを一定に保つには、輝度一定モードを「オン」に設定します。  
(MENU) ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

### 参考

- 通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを「オン」設定すると、本体内部のセンサーで輝度を検出して出力を自動調整し、輝度を維持できます。ただし、出力が最大になったあとは、使用時間に応じて輝度が下がります。

## 基準ライトモードを切り替える

- 1 基準ライトモードにカーソルが合った状態で (ENTER) ボタンを押す。  
基準ライトモード選択画面が表示されます。





- 2 ▼▲ ボタンを押して選択し、(ENTER) ボタンを押す。  
基準ライトモード画面に戻り選択したモードに切り替わります。  
(MENU) ボタンを押すとメニューが消えます。



### 参考

- ライト使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(145 ページ)
- 本機に入力信号がない状態（ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき）のまま約1分経過すると、自動的にエコに切り替わります。その後、本機が入力信号を感知するとエコはもとの設定状態に戻ります。
- 本機は、気圧と温度を検知して出力をコントロールする機能を搭載しています。標高や温度が高い場所で使用すると、ライトモードの設定にかかわらず、輝度（明るさ）が下がります。この状態を「強制エコモード」と呼びます。強制エコモードの条件と出力は以下のとおりです。

標高 \ 温度	5℃～30℃	31℃～36℃	37℃～40℃
1,600m～3,000m	100%	90%	70%
600m～1,600m	100%	90%	80%
0m～600m	100%		80%

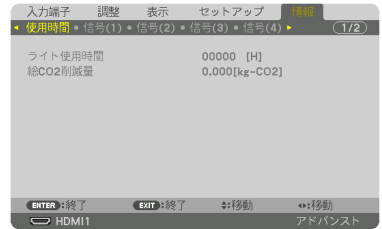
強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、TEMP. インジケーターがオレンジ色に点灯しメニュー画面の下部に「」アイコンが表示されます。  
 強制エコモード中は、ライトモードの設定を変更しても、状態は変わりません。  
 また、気圧センサーが標高 600m 以上と検知した場合は、メニュー画面の下部に「」アイコンが表示されます。

## 省エネ効果を見る（カーボンメーター）

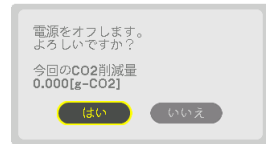
本機の基準ライトモードを「エコ 1」または「エコ 2」に設定している期間の省エネ効果を CO<sub>2</sub> 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメーター」と呼びます。

表示には「総 CO<sub>2</sub> 削減量」と「今回の CO<sub>2</sub> 削減量」があります。

「総 CO<sub>2</sub> 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO<sub>2</sub> 削減量 (kg) を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。(🔗 145 ページ)



「今回の CO<sub>2</sub> 削減量」は電源を入れてエコに切り替わってから電源を切るまでの CO<sub>2</sub> 削減量 (g) を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



### 参考

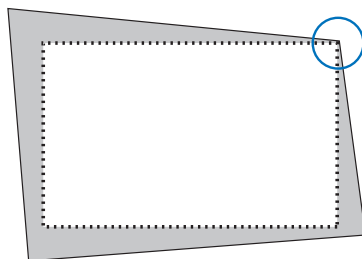
- CO<sub>2</sub> 排出削減量は、基準ライトモードを「ノーマル」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO<sub>2</sub> 排出係数を掛けて算出\* します。  
 基準ライトモードを「エコ 1」または「エコ 2」に設定して使用したりレンズシャッターを使用すると、CO<sub>2</sub> 排出削減量の値は増加します。  
 \* CO<sub>2</sub> 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。
- 「総 CO<sub>2</sub> 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなど基準ライトモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。



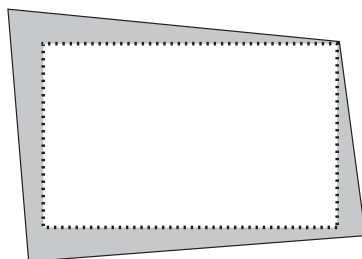
## 3-8. 台形歪みを調整する（4点補正）

4点補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

- 1 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。



- 2 スクリーンと投写画面の角を合わせる（図は右上の角）。

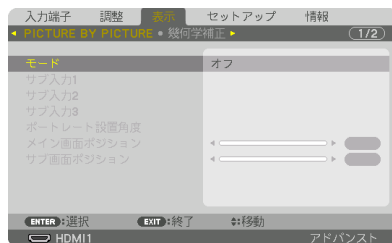


- 3 **3D REFORM** ボタンを押す。

オンスクリーンメニューの幾何学補正画面を表示します。

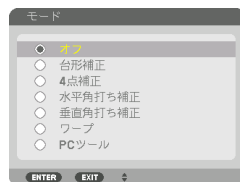
- 4 **▼** ボタンを押して「モード」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

モード選択画面に切り替わります。



- 5 **▼** ボタンを押して「4点補正」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。

幾何学補正画面に戻ります。



- 6** ▼ ボタンを押して「4点補正」に合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

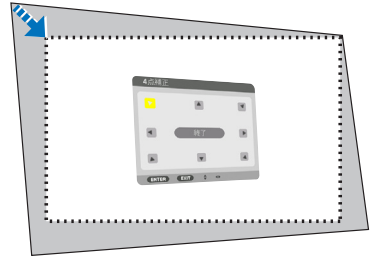
4点補正画面に切り替わります。



- 7** ▼▲◀▶ ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ (図は左上の▼)。

- 8** (ENTER) ボタンを押す。

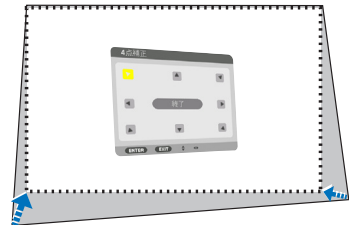
- 9** ▼▲◀▶ ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。



- 10** (ENTER) ボタンを押す。

- 11** ▼▲◀▶ ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。

- 12** 手順**8**～**11**を繰り返し、台形歪みを調整する。



- 13** 台形歪みの調整が終わったら、4点補正画面で「終了」を選んで、(ENTER) ボタンを押す。

調整終了画面が表示されます。



## 14 ◀▶ ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

- ・「取消」を選択して(ENTER)ボタンを押すと、4点補正画面に戻ります。

### 注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の4点補正の調整値を保持しています。
- 4点補正の調整値をクリアする場合は、次のいずれかを行います。
  - ・手順14で「リセット」を選び、(ENTER)ボタンを押します。
  - ・オンスクリーンメニューの表示→幾何学補正→モードが「4点補正」に設定されている状態で(3D REFORM)ボタンを2秒以上押しします。
  - ・オンスクリーンメニューの表示→幾何学補正→モードが「4点補正」に設定されている状態で表示→幾何学補正→リセットを実行します。
- 4点補正は電氣的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

## 3-9. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

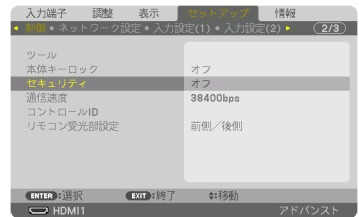
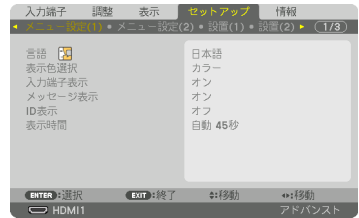
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

**注意**

- セキュリティは、リセットでは解除されません。

### セキュリティを有効にする

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
「メニュー設定 (1)」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「制御」にカーソルを合わせる。
- 4** **(▼)** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **(▼)** ボタンで「オン」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** **(▼▲▶)** ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。



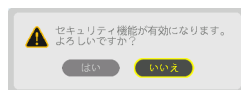


- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



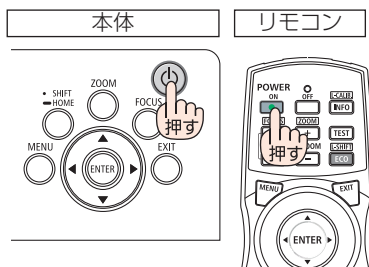
- 7** **6** で設定したセキュリティキーワードを再入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
確認画面が表示されます。



- 8** **(←)** ボタンで「はい」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
セキュリティが有効になります。

## セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

- 1** **(⏻)** ボタンを押す。  
・リモコンで操作する場合は、POWER **(ON)** ボタンを押します。  
本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



- 2** **(MENU)** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



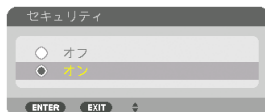
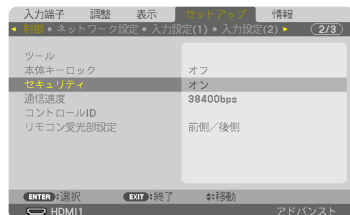
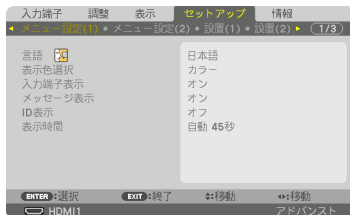
- 3** セキュリティキーワードを入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。



- セキュリティロックの解除状態は、AC 電源を切断するまで保持されます。

## セキュリティを無効にする

- 1 **(MENU)** ボタンを押す。  
メニュー画面が表示されます。
- 2 **(▶)** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
「メニュー設定 (1)」にカーソルが移動します。
- 3 **(▶)** ボタンを押して「制御」にカーソルを合わせる。
- 4 **(▼)** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5 **(▲)** ボタンで「オフ」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6 セキュリティキーワードを入力し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティが無効になります。



- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター ( [▶ 裏表紙](#) ) にご連絡ください。

## 3-10. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

### 概要

コンピューターのウェブブラウザを使って本機の HTTP サーバー画面を表示して、本機を操作することができます。

### ● HTTP サーバー画面でできること

- 本機をネットワーク（有線 LAN）に接続するための設定を行います。
- メール通知の設定を行います（ALERT MAIL）。  
本機をネットワーク（有線 LAN）に接続しているときに、各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。
- 本機の操作を行います。  
本機の電源のオン／オフ、入力端子の切り替え、映像調整、レンズ制御などが行えます。
- PLink PASSWORD や AMX BEACON、CRESTRON などの設定を行います。  
設定や調整の内容については、オンスクリーンメニューの説明をご覧ください。

### ● HTTP サーバー画面を表示するには

- 1 本機とコンピューターを市販の LAN ケーブルで接続する。
- 2 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「ネットワーク設定」→「有線 LAN」を選択し、ネットワークの設定を行う。（▶ 134 ページ）
- 3 コンピューターのウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ「http://〈本機の IP アドレス〉/index.html」と指定する。  
HTTP サーバー画面が表示されます。

#### 参考

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

#### 注意

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。  
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl +F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

## 使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(🔗 26 ページ)

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

## ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

- (例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合  
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
`http://pj.nec.co.jp/index.html` と指定します。
- (例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合  
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
`http://192.168.73.1/index.html` と指定します。



## 3-11. レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存する（レンズメモリー）

スクリーンへの投写位置、大きさ（レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値）を本機のメモリーに保存することができます（レンズメモリー機能）。保存したレンズメモリーを呼び出すと自動的に調整します。レンズメモリー機能には2つの保存方法があります。

機能	説明	参照ページ
基準レンズメモリー	すべての入力信号共通の調整値です。本機を設置するときに使い、2種類の調整値を記録することができます。 レンズメモリーに調整値が保存されていない場合は、選択されているプロファイルの調整値（基準レンズメモリー）でレンズを調整します。	125
レンズメモリー	入力信号ごとの調整値として保存されます。 アスペクト比や解像度などが異なる入力信号のときに使います。 入力信号を切り替えたときレンズメモリーに保存している調整値でレンズを調整することもできます。	109

### 注意

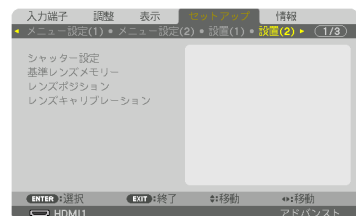
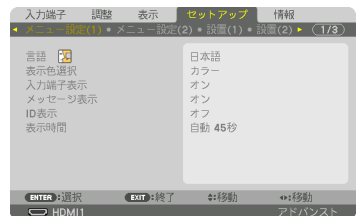
- レンズユニット NP16FL-4K の場合は、フォーカスの調整値のみ保存できます。
- レンズユニット NP39ML-4K の場合は、レンズメモリー機能は使用できません。
- レンズユニットを交換したあとは、必ずレンズキャリブレーションを行ってください。（▶ 37, 125 ページ）  
キャリブレーションが必要なレンズユニットの型名  
NP16FL-4K/NP17ZL-4K/NP18ZL-4K/NP19ZL-4K/NP20ZL-4K/  
NP21ZL-4K/NP31ZL-4K

## レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存する

**準備**：投写画面の位置と大きさを調整してください。（▶ 42 ページ）

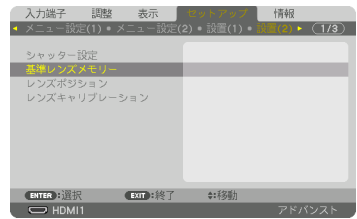
ここでは、基準レンズメモリーで説明します。

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンを押して「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
「メニュー設定 (1)」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「設置 (2)」にカーソルを合わせる。



- 4** **▼** ボタンを押して「基準レンズメモリー」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

基準レンズメモリー設定画面が表示されます。



- 5** 「プロファイル」にカーソルがあることを確認して、**(ENTER)** ボタンを押す。

プロファイル選択画面が表示されます。



- 6** **▼/▲** ボタンを押して登録するプロファイル番号にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

基準レンズメモリー設定画面に戻ります。

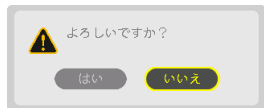


- 7** **▼** ボタンを押して「登録」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
確認画面を表示します。



- 8** **◀** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値が選択したプロファイル番号に上書き保存されます。  
・「映像ミュート」はレンズ移動時に映像を消去するときに設定します。

[\(125 ページ\)](#)

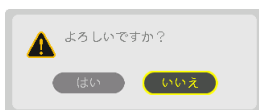
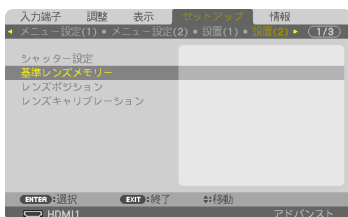
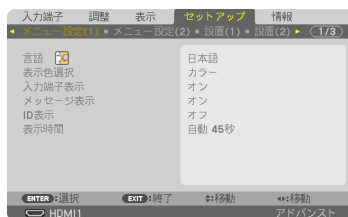


- 9** **(MENU)** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が消えます。

**参考** ● レンズメモリーに保存する場合は、オンスクリーンメニューの調整→レンズメモリーの「登録」で行ってください。[\(109 ページ\)](#)

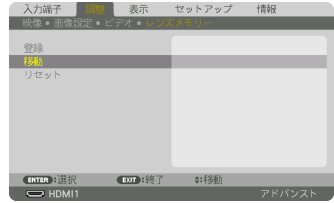
## 基準レンズメモリーを呼び出す

- 1** **(MENU)** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンを押して「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
「メニュー設定 (1)」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「設置 (2)」にカーソルを合わせる。
- 4** **(▼)** ボタンを押して「基準レンズメモリー」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
基準レンズメモリー画面が表示されます。
- 5** 「プロファイル」にカーソルがあることを確認して、**(ENTER)** ボタンを押す。  
プロファイル選択画面が表示されます。
- 6** **(▼/▲)** ボタンを押して呼び出したプロファイル番号にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
基準レンズメモリー設定画面に戻ります。
- 7** **(▼)** ボタンを押して「移動」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
確認画面を表示します。
- 8** **(◀)** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
選択したプロファイルに登録されている調整値にレンズが移動します。
- 9** **(MENU)** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が消えます。



参考

- **レンズメモリーを直接呼び出すには**
  - ① オンスクリーンメニューの調整→レンズメモリーの「移動」を選択し、(ENTER)ボタンを押してください。確認画面を表示します。
  - ② ◀ボタンで「はい」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。  
投写中の入力信号の調整値が保存されている場合は、レンズが移動します。保存されていない場合は、基準レンズメモリーの選択されているプロファイル番号の調整値に移動します。



- **レンズメモリーの調整値を自動で呼び出すには**

- ① 前ページ「基準レンズメモリーを呼び出す」の手順7のときに「信号別読出し」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。信号別読出し画面を表示します。
- ② ▼ボタンを押して「オン」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。  
これで、保存済みの入力信号に切り替えると自動でレンズが移動します。



注意

- レンズメモリー機能は、保存された各調整状態を完全に再現するものではありません。レンズメモリーの呼び出し操作後、状態に合わせ、レンズシフト、ズーム、およびフォーカス位置の微調整を実施してください。

# 4. マルチスクリーン投写

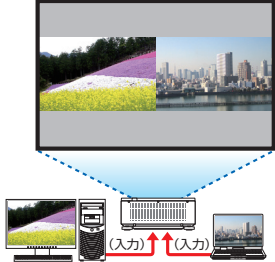
本機は、単体または複数台を並べてマルチスクリーン投写が行えます。

## 4-1. マルチスクリーン投写でできること

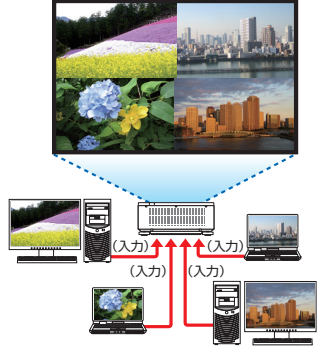
ケース1：1台のプロジェクターを使って2種類または4種類の映像を同時に投写する【PICTURE BY PICTURE】

### ●接続例と投写イメージ

2種類の映像を投写する場合

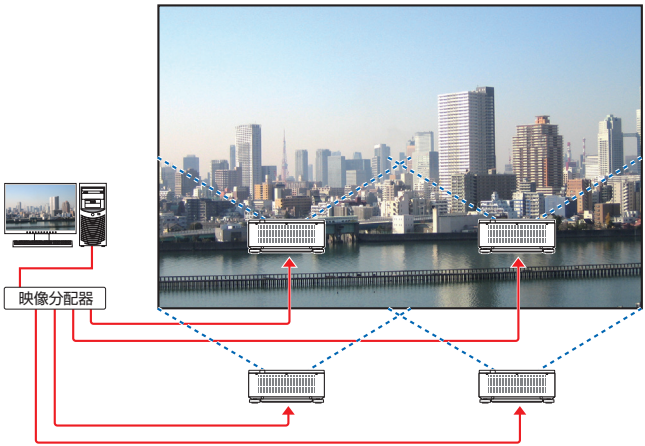


4種類の映像を投写する場合



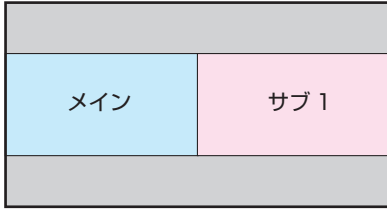
ケース2：複数のプロジェクターを並べて、解像度の高い映像をさらに大画面で投写する【タイリング】

### ●接続例と投写イメージ



## 4-2. 1台のプロジェクトクターを使って2種類または4種類の映像を同時に投写する【PICTURE BY PICTURE】

- 1画面表示の投写映像をメイン、あとから呼び出した投写映像をサブ1～3と呼びます。



- PICTURE BY PICTURE は、次の入力端子と入力信号に対応しています。

入力端子	2画面	SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2、HDBaseT、SLOT
	4画面	SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2
入力信号	2画面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ポートレート設置角度が「0°」の場合 4K 30Hz までの信号（Deep Color は除く）</li> <li>● ポートレート設置角度が「90°」または「270°」の場合 WXGA++ 60Hz までのプログレッシブ信号 1920×1080p 24/25/30Hz 信号</li> </ul>
	4画面	1920×1080 60Hz までのプログレッシブ信号

### 4画面を投写する

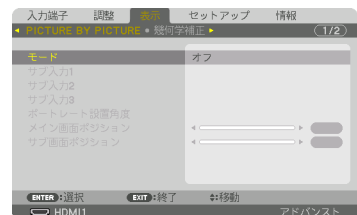
ここでは、4種類の映像を同時に投写する場合の手順を説明します。

**準備**：4種類の映像を出力する機器を本機に接続して、各機器の電源を入れます。

- 1 (MENU) ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示し、「表示」→「PICTURE BY PICTURE」を選択する。



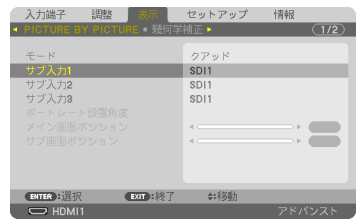
- 2 (▼/▲) ボタンで「モード」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。  
モード選択画面を表示します。



- 3** **(▼/▲)** ボタンで「クアッド」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
 PICTURE BY PICTURE 画面に戻ります。



- 4** **(▼/▲)** ボタンで「サブ入力1」を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
 サブ入力1 選択画面を表示します。



- 5** **(▼/▲)** ボタンでサブ1 に設定する入力信号を選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
 PICTURE BY PICTURE 画面に戻ります。



- 6** 手順 **4** **5**と同様に、サブ2 とサブ3 の入力信号を選択する。

- 7** **(MENU)** ボタンを押す。  
 オンスクリーンメニューが消えます。  
 ・ 1 画面表示に戻すには、手順**3**のモード選択画面で「オフ」を選択します。

**参考**

- 2 画面を投写する場合は、手順**3**で「デュアル」を選択して、手順 **4** **5**でサブ1 の入力信号を選択します。
- 2 画面のときは、画面の向きをポートレート設置に合わせたり、表示位置を調整したりすることができます。(▶ [111 ページ](#))

## 制限事項

- 次の操作は、メインのみ有効です。
  - ・映像の各種調整
  - ・ **(D-ZOOM/ZOOM +/-)** ボタンによる映像の拡大／縮小
- 次の操作は、メインとサブ 1～3 のすべてで有効です。個別に適用することはできません。
  - ・画像の一時的な消去 (AV ミュート)
  - ・動画の一時停止 (静止)
- テストパターンを表示すると、1 画面になります。
- 次の場合は、PICTURE BY PICTURE は使用できません。
  - ・映像設定のモードが「ズーム」または「タイリング」の場合
  - ・メインが SDI1 で、SDI リンクが「シングル」以外の場合
  - ・メインが DisplayPort1 で、DP リンクが「デュアル」の場合
- PICTURE BY PICTURE 機能使用中は、次の操作はできません。
  - ・ダイナミックコントラスト
  - ・画像設定 (モードが「デュアル」で、ポートレート設置角度が「90°」または「270°」の場合)
  - ・アスペクト (モードが「クアッド」の場合)

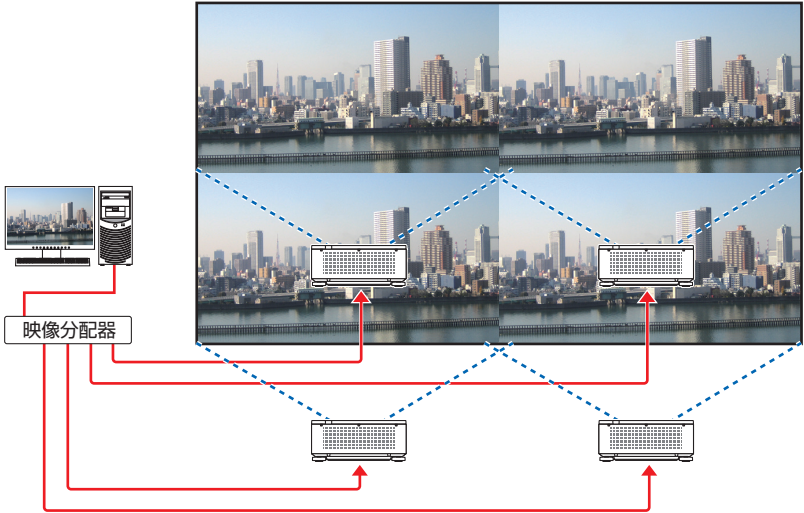


## 4-3. 複数の 프로젝터를並べて、解像度の高い映像をさらに大画面で投写する【タイリング】

ここでは、4 台の 프로젝터を使って、解像度 3840×2160 (4K UHD) の映像を投写する場合の手順を説明します。

**準備：**

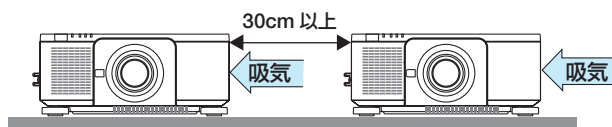
- 프로젝터 4 台を、縦横に 2 台ずつ並べて設置します。  
映像分配器を経由して、映像出力機器と 프로젝터를接続します。  
すべての機器の電源を入れて、4 つの同じ映像を投写します。



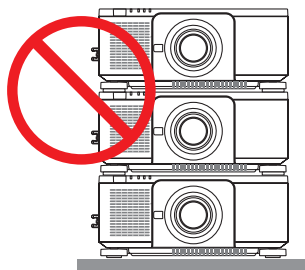
- 1 個のリモコンで設定・調整を行う場合は、コントロール ID を有効にします。  
(🔗 131 ページ)  
それぞれの 프로젝터に ID を割り振って、リモコンで ID を切り替えながら、1 台ずつ設定・調整を行います。

## 프로젝터の設置に関するお願い

- 프로젝터를2台以上並べて設置する場合は、吸気に障害が生じないように、30cm以上の空間をあけてください。また、吸気口と壁との間は30cm以上、排気口と壁との間は50cm以上の空間をあけてください。吸気と排気に障害が生じると、 프로젝터の内部温度が上昇し、故障の原因となります。

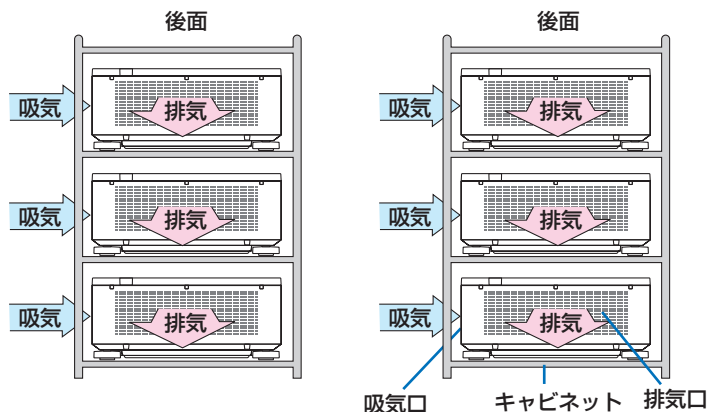


- 프로젝터를2台積み重ねて使用することができません（スタック設置）。(153 ページ)  
本機を3台以上直接積み重ねて設置しないでください。積み重ねて使用した場合、落下して 프로젝터の破損・故障の原因となることがあります。



- 프로젝터를3台以上使用する場合の設置例  
マルチスクリーン投写をするにあたり、 프로젝터를3台以上組み合わせて設置する場合は、次のような設置をおすすめします。

### 【設置例】



## 警告

天吊りなどの特殊な設置は販売店にご依頼ください。お客様による設置は絶対に行わないでください。 프로젝터が落下して、けがの原因となります。設置には、 프로젝터の質量に耐える丈夫なキャビネットを使用してください。 프로젝터를じかに積み重ねないでください。

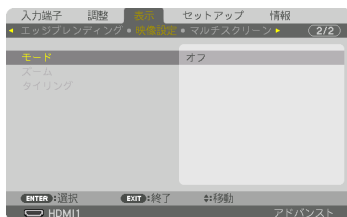


- 投写距離の範囲については、8. 付録の「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。(157 ページ)

## タイリングを設定する

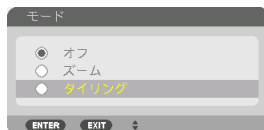
- 1 (MENU) ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示し、「表示」→「映像設定」→「モード」を選択する。

モード選択画面を表示します。



- 2 (▼/▲) ボタンで「タイリング」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

映像設定画面に戻ります。



- 3 (▼/▲) ボタンで「タイリング」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

タイリング設定画面を表示します。



- 4 横台数、縦台数、横順番、縦順番を設定する。

1. 横台数設定画面で「2 台」を選択する。(横方向の台数)
  2. 縦台数設定画面で「2 台」を選択する。(縦方向の台数)
  3. 横順番設定画面で「1 台目」または「2 台目」を選択する。(スクリーンを見て、左側が「1 台目」、右側が「2 台目」)
  4. 縦順番設定画面で「1 台目」または「2 台目」を選択する。(スクリーンを見て、上側が「1 台目」、下側が「2 台目」)
- 1～4 の設定が終わると、1 つの映像が画面いっぱいに投写されます。



- 5 (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

- 6 各プロジェクターのレンズシフトを調整して画面の境界を微調整する。

投写画面の境界を目立たなくさせるには、エッジレンディングで調整してください。(▶次ページ)

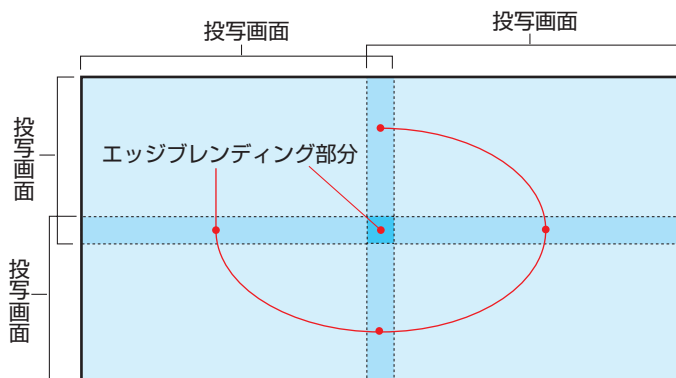
## 4-4. 投写画面の境界を調整する 【エッジブレンディング】

本機には、投写画面の端（境界）を目立たなくさせる「エッジブレンディング機能」を搭載しています。



- エッジブレンディングを調整する前に、台形歪みや画面サイズが適切になるような位置に本機を設置して、レンズシフト、フォーカス、ズームの調整を行ってください。
- 各プロジェクターの明るさをライトモードの「基準ライト調整」で合わせてください。  
また、「基準ホワイトバランス」でコントラスト、明るさ、ユニフォミティを合わせてください。

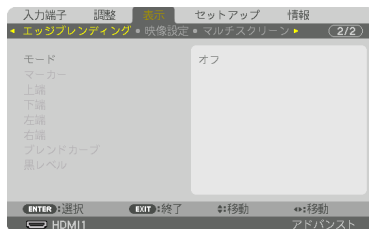
ここでは、プロジェクター 4 台を縦横に 2 台ずつ並べた場合で説明します



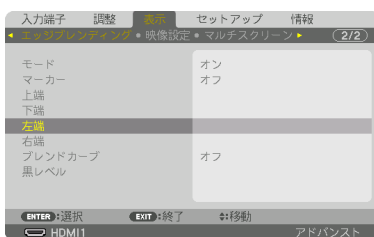
# 投写画面の重なりを設定する

## 1 メニューで「エッジブレンディング」を有効にする。

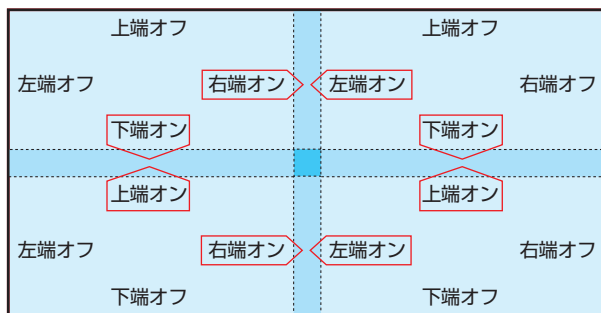
- 1 (MENU)ボタンを押します。  
オンスクリーンメニューを表示します。
- 2 「表示」の「エッジブレンディング」を選択します。  
「エッジブレンディング」画面が表示されます。  
「モード」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。  
モード画面が表示されます。
- 3 「モード」を「オン」にしてエッジブレンディングの機能を有効にします。



・「マーカー」「上端」「下端」「左端」「右端」「ブレンドカーブ」「黒レベル」の項目が調整可能になります。

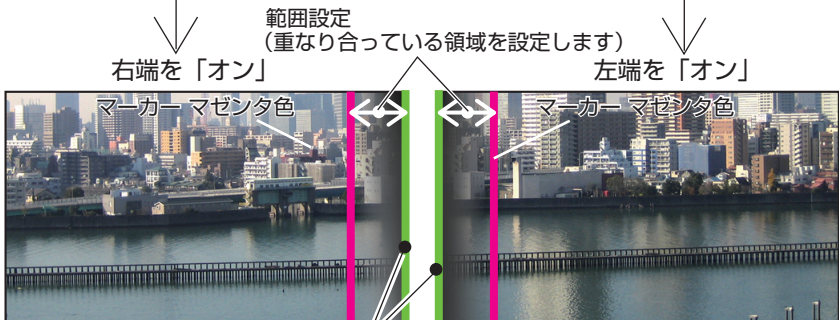
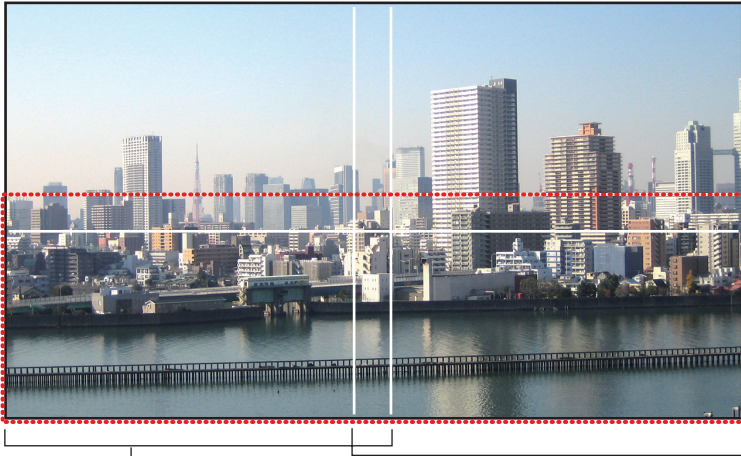


- 4 映像が重なっている部分を「上端」「下端」「右端」「左端」から選択して、「制御」をオンに設定します。



## 2 「範囲」と「位置」を調整して、重なりあっている領域を設定する。

マーカーをオンにするとマゼンタと緑色の線（マーカー）が表示されます。  
マゼンタは範囲調整用、緑色は位置調整用です。



※図は説明のため2画面を離して掲載しています。

範囲設定  
(重なり合っている領域を設定します)

右端を「オン」

左端を「オン」

マーカー マゼンタ色

マーカー マゼンタ色

位置設定  
マーカー 緑色

### 1 「範囲」を調整します。

重なる領域（幅）を調整します。マーカーを表示してもう一方のプロジェクターの表示位置のマーカーに重なるように調整すると簡単にできます。



### 2 「位置」を調整します。

重なる領域の端（映像の端）に合わせます。調整が終わったら、マーカーをオフにして、マーカーを消します。



**参考**

- 解像度の違う信号を投写したときは、再度、エッジブレンディングの調整が必要になります。
- マーカーの設定は、保存されません。電源を切ると、マーカーの設定はオフに戻ります。
- マーカーを非表示にしたいときは、必ず、メニューでマーカーをオフにしてください。

## 投写画面が重なっている部分を調整する

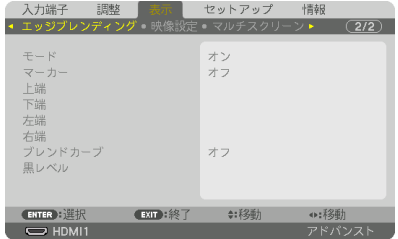
必要に応じて、「ブレンドカーブ」や「黒レベル」で、映像が重なっている部分の明るさを調整します。

- ブレンドカーブと黒レベルは、モードがオンになっていないと選択できません。

### ●ブレンドカーブの選択

映像が重なっている部分の階調変化を調整して、投写画面の境界を目立たなくします。9種類のカーブ設定の中から、最適なものを選択します。

- 1 「表示」→「エッジブレンディング」の「ブレンドカーブ」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
ブレンドカーブ選択画面に切り替わります。



- 2 **(▲/▼)** ボタンで 1 ~ 9 のいずれかを選択し、**(ENTER)** ボタンを押す。  
他の 프로젝クターを調整する際も、上記で選択したものと同一項目を選択してください。



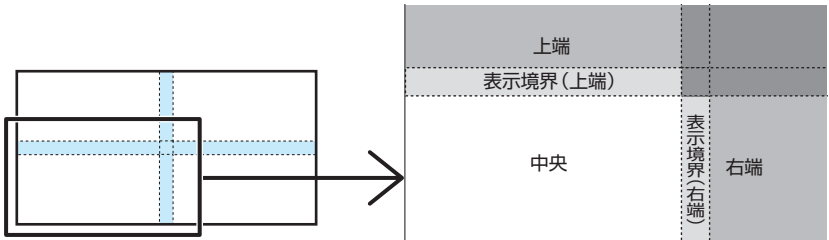
### ●黒レベルの調整

マルチ画面の重なっていない映像と重なっている部分（エッジブレンディング）の黒レベル調整です。

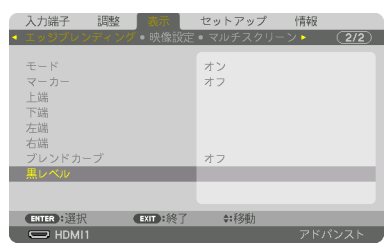
明るさの濃淡が気になる場合に調整します。

- エッジブレンディングの「上端」「下端」「左端」「右端」の制御をオンにした組み合わせで調整する箇所が変わります。( [▶次ページ](#) )

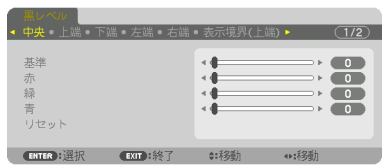
左下プロジェクターの黒レベル調整は図のようになります。



- 1 「表示」 → 「エッジブレンディング」の「黒レベル」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
黒レベル調整画面に切り替わります。

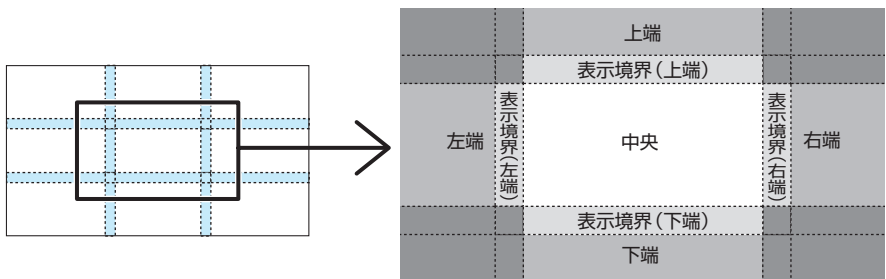


- 2 **(◀▶)** ボタンで調整する箇所を選択し、**(◀▶)** ボタンで黒レベルを調整する。  
他のプロジェクターの調整が必要な場合は同じ要領で行ってください。



### 参考：9面マルチ時の黒レベル調整分割画面

センタープロジェクターの黒レベル調整は図のようになります。



- 参考**
- 黒レベル分割画面数は、エッジブレンディング位置（上端、下端、左端、右端）の選択数によって変わります。また、上/下端と左/右端を選択するとコーナーの分割画面が出現します。
  - エッジブレンディング幅は範囲で設定されている幅、コーナーは上/下端または左/右端の交差する面積になります。
  - 黒レベルは、明るくする方向のみ調整できます。



# 5. オンスクリーンメニュー

## 5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

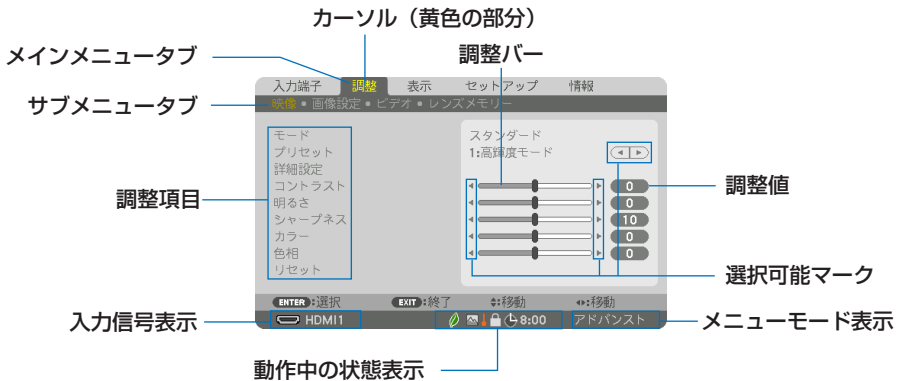
### オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(MENU)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(EXIT)ボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

**準備**：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

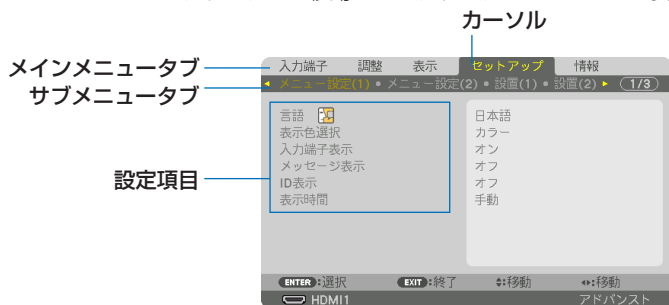
- 1 (MENU)ボタンを押す。  
ご購入後、はじめて操作したときは調整メニューが表示されます。



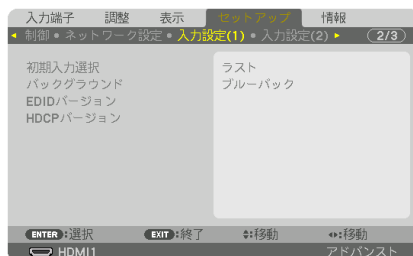
🌿 基準ライトモード設定、🏔️ 標高 600m 以上、🔥 強制エコモード、🔒 本体キーロック中、🕒 8:00 オフタイマーの残り時間のアイコン

- 2 (▲/▼) ボタンを押す。  
カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。
- 3 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押す。  
画面の明るさが調整されます。
  - 「◀▶」(選択可能マーク)が付いている項目は(◀/▶)ボタンで設定を切り替えることができます。
  - 「◀▶」(選択可能マーク)が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。
  - 調整項目内のリセットにカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

- 4** (EXIT) ボタンを 2 回押す。  
カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。
- 5** (▶) ボタンを 2 回押す。  
カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



- 6** (ENTER) ボタンを押す。  
メニュー設定にカーソルが移動します。  
・ セットアップにはメニュー設定 (1)、メニュー設定 (2)、設置 (1)、設置 (2)、制御、ネットワーク設定、入力設定 (1)、入力設定 (2)、電源設定、リセットという 10 のサブメニュータブがあります。(◀▶) ボタンで選択します。
- 7** (▶) ボタンを 6 回押して「入力設定 (1)」にカーソルを合わせる。  
入力設定 (1) のメニューに切り替わります。



- 8** (▼) ボタンを 3 回押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
バックグラウンド選択画面が表示されます。  
・ バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



- 9** (▲▼) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。
- 10** 選択したい項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
バックグラウンドが設定されます。  
・ 選択を取り消す場合は、(EXIT) ボタンを押します。

- 11** (MENU)ボタンを1回押す。  
メニューが消えます。

**注意** ● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

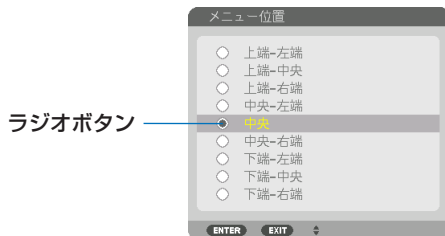
## 調整画面、設定画面の操作例




### ●ラジオボタンの選択

選択肢の中からから1つ「」を選びます。

#### 【例1】「メニュー位置」の選択

セットアップ→メニュー設定(2)→メニュー位置



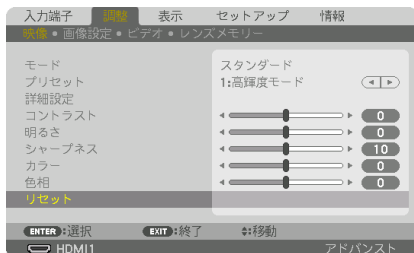
- 1**  ボタンを押す。  
選択されているマーク  が移動します。
- 2** 選択する項目に「」を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。


### ●実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で(EXIT)ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

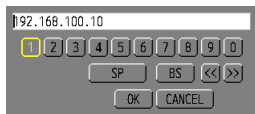
#### 【例2】調整のリセット



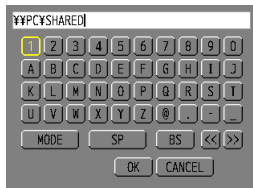
- 1** 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
- 2** (ENTER) ボタンを押す。  
確認メッセージが表示されます。
- 3** 実行する場合は、 ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
機能が実行されます。
  - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、(ENTER) ボタンを押します。

## 文字入力画面の使いかた

入力する項目によって、入力画面が異なります。



【IP アドレスのとき】



【ユーザー名、プロジェクター名、パスワード、信号リストの信号名など入力するとき】

- 1 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
文字入力画面を表示します。

文字以外の項目は、次のような働きをします。

- [MODE] .....英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
- [SP] .....スペースを入力します。
- [BS] .....カーソルの左側にある 1 文字を消します。
- [ << ] [ >> ] .....英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
- [OK] .....入力した文字を確認して、文字入力画面を閉じます。
- [CANCEL] ...入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。

- 2 **(◀▶)** ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
文字が入力されます。

- 3 入力が終わったら **(◀▶)** ボタンを押して [OK] にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。  
入力した文字を確認して、文字入力画面が閉じます。

## 5-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンスメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「B」マークを付けています。

アドバンスメニューとベーシックメニューの選択はセットアップ→制御→ツール→管理者モード→メニューモードで選択します。(124 ページ)

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		選択項目		参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー					
入力端子	-	HDMI1 B		95		
		HDMI2 B				
		DisplayPort 1 B				
		DisplayPort 2 B				
		HDBaseT B				
		SDI1 B				
		SDI2 B				
		SDI3 B				
		SDI4 B				
		SLOT B				
		信号リスト				
テストパターン						
調整	映像	モード		99		
		プリセット				
	詳細設定	全般	参照		100	
			ガンマ補正 *1			
			選択	ダイナミック、ナチュラル、ソフト		
			参照			
			スクリーンサイズ *2	大、中、小		
			色温度 *3			
			ダイナミックコントラスト	オフ、オン		
			ライトモード	ライト調整 輝度一定モード (オフ/オン)		
			Brilliant Color	オフ、中、強		
			ホワイトバランス	コントラスト 赤、コントラスト 緑、 コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青		102

※1：ガンマ補正は、参照で「DICOM SIM.」以外を選択しているときに表示されます。

※2：スクリーンサイズは、参照で「DICOM SIM.」を選択しているときに表示されます。

※3：色温度は、参照で「高輝度モード」を選択しているときには表示されません。

メニュー			選択項目	参照 ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
調整	映像	詳細設定	色補正	赤（色相／彩度）、緑（色相／彩度）、青（色相／彩度）、イエロー（色相／彩度）、マゼンタ（色相／彩度）、シアン（色相／彩度）	102
		コントラスト <sup>ⓑ</sup>			103
		明るさ <sup>ⓑ</sup>			
		シャープネス <sup>ⓑ</sup>			
		カラー <sup>ⓑ</sup>			
		色相 <sup>ⓑ</sup>			
	リセット <sup>ⓑ</sup>				
	画像設定	水平			104
		垂直			
		プランキング		上端、下端、左端、右端	
		オーバースキャン		自動、0%、5%、10%	
		アスペクト <sup>ⓑ</sup>		(コンピュータ信号時) 自動、ノーマル、4:3、5:4、16:9、15:9、16:10、フル、リアル (HDTV/SDTV信号時) 自動、ノーマル、4:3、レターボックス、ワイドスクリーン、ズーム、フル	105
	ビデオ	デインターレース		ノーマル、動画、静止画	107
		スイートピジョン	モード	オフ、自動、ノーマル	
			ゲイン		
		信号形式		自動、RGB、REC601、REC709、REC2020	
		ビデオレベル		自動、ノーマル、拡張、スーパーホワイト	108
	HDRモード <sup>*4</sup>		自動、オフ、オン		
	レンズメモリー	登録			109
移動					
リセット					
表示	PICTURE BY PICTURE	モード		オフ、デュアル、クアッド	111
		サブ入力1		SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2、HDBaseT、SLOT	
		サブ入力2		SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2	
		サブ入力3			
		ポートレート設置角度		0°、90°、270°	
		メイン画面ポジション			112
	サブ画面ポジション				
	幾何学補正	モード		オフ、台形補正、4点補正、水平角打ち補正、垂直角打ち補正、ワープ、PC ツール	112
		台形補正 <sup>ⓑ</sup>	水平		113
			垂直		
			打上げ度		
		投写比			
	4点補正 <sup>ⓑ</sup>		上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端		

※ 4：4K 信号入力時のみ選択できます。

メニュー		選択項目		参照ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
表示	幾何学補正	水平角打ち補正		上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端	114
		垂直角打ち補正		上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端	
		ワーブ		上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端	116
		PC ツール		オフ、1、2、3	
		リセット			117
	エッジレンディング	モード		オフ、オン	117
		マーカー		オフ、オン	
		上端、下端、左端、右端	制御	オフ、オン	
			範囲		
			位置		
ブレンドカーブ		オフ、1、2、3、4、5、6、7、8、9			
黒レベル	中央、上端、下端、左端、右端、表示境界 (上端)、表示境界 (下端)、表示境界 (左端)、表示境界 (右端)	基準/赤/緑/青/リセット			
映像設定	モード		オフ、ズーム、タイリング	118	
	ズーム		水平拡大、垂直拡大、水平位置、垂直位置		
	タイリング		横台数、縦台数、横順番、縦順番		
マルチスクリーン	ホワイトバランス	モード	オフ、オン	119	
		コントラスト 白、コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 白、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青			
セットアップ	メニュー設定 (1)	言語 <sup>B</sup>		ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、日本語、DANSK、PORTUGUÊS、ČEŠTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、عربي、ЕЛ/ЛНИКÁ、简体中文、한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिन्दि、INDONESIA、ئۇيغۇر、繁體中文、TIẾNG VIỆT	120
		表示色選択		カラー、モノクロ	
		入力端子表示		オフ、オン	
		メッセージ表示		オフ、オン	
		ID 表示		オフ、オン	
		表示時間		手動、自動 5 秒、自動 15 秒、自動 45 秒	
		メニュー角度		0°、90°、270°	
		メニュー位置		上端 - 左端、上端 - 中央、上端 - 右端、中央 - 左端、中央、中央 - 右端、下端 - 左端、下端 - 中央、下端 - 右端	
メニュー設定 (2)				121	

メニュー			選択項目	参照ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	設置 (1)	投写方法	デスク/フロント、天吊り/リア、 デスク/リア、天吊り/フロント	121	
		スクリーンタイプ	フリー、4:3 スクリーン、16:9 スクリーン、16:10 スクリーン	122	
		ファンモード	モード	自動、高速	123
		基準ライトモード <sup>B</sup>	基準ライトモード	ノーマル、エコ1、エコ2	
			基準ライト調整		
		輝度一定モード	オフ、オン		
		基準ホワイトバランス	コントラスト 赤、コントラスト 緑、 コントラスト 青、明るさ 赤、 明るさ 緑、明るさ 青	124	
	設置 (2)	シャッター設定	パワーオンシャッター	開、閉	124
			映像ミュートシャッター	開、閉	
			フェードイン時間	0～10 秒	
フェードアウト時間			0～10 秒		
基準レンズメモリー		プロファイル	1、2	125	
		登録			
		移動			
		リセット			
		信号別読出し	オフ、オン		
		映像ミュート	オフ、オン		
レンズポジション	ホーム				
	種類	NP39ML			
レンズキャリブレーション					
制御	ツール <sup>B</sup>	管理者モード	メニューモード	アドバンスド、ベーシック	126
			設定値を保存しない	オフ、オン	
		新規パスワード			
	プログラムタイマー	有効	オフ、オン	127	
		設定	編集 (動作、曜日、時刻、機能、詳細設定、繰り返し)、削除、上、下、戻る		
	日付と時刻設定	タイムゾーン設定		130	
		日付と時刻設定			
		夏時間設定			
	本体キーロック		オフ、オン		
	セキュリティ		オフ、オン		
	通信速度		4800bps、9600bps、19200bps、 38400bps、115200bps	131	
	コントロールID	コントロールID番号	1- 254		
		コントロールID	オフ、オン		
リモコン受光部設定		前側/後側、前側、後側、HDBaseT	132		
ネットワーク設定	有線 LAN	(インターフェース、プロファイル、DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、自動 DNS、DNS 設定、再接続)		133 134	
		プロジェクト名	PJ-*****		
	ドメイン	ホスト名	pj-*****	135	
		ドメイン名			



メニュー		選択項目		参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー					
セットアップ	ネットワーク設定	アラートメール	メール通知、ホスト名、ドメイン名、差出人アドレス、SMTP サーバー名、宛先アドレス 1、宛先アドレス 2、宛先アドレス 3、送信テスト		136	
		ネットワークサービス	HTTP サーバー	新規パスワード、パスワード再確認		137
			PJLink	新規パスワード、パスワード再確認、クラス、デスティネーション		
			AMX BEACON	オフ、オン		
			CRESTRON	ROOMVIEW		
	Extron XTP	ROOMVIEW CRESTRON CONTROL (ENABLE、CONTROLLER IP ADDRESS、IP ID) オフ、オン		138		
	入力設定 (1)	初期入力選択		ラスト、自動、HDMI 1、HDMI 2、DisplayPort1、DisplayPort2、HDBaseT、SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、SLOT		139
		バックグラウンド		ブルーバック、ブラックバック、ロゴ		
		EDID バージョン	HDMI1	モード 1、モード 2		140
			HDMI2	モード 1、モード 2		
		HDCP バージョン	HDMI1	HDCP2.2、HDCP1.4		
	HDMI2		HDCP2.2、HDCP1.4			
	HDBaseT		HDCP2.2、HDCP1.4			
	入力設定 (2)	SDI リンク		シングル、クアッド、クアッド (インターリーブ)、デュアル		140
		DP リンク		シングル、デュアル		141
電源設定	スタンバイモード		ノーマル、スリープ		141	
	ダイレクトパワーオン		オフ、オン			
	オートパワーオン選択		オフ、HDMI1、HDMI2、DisplayPort1、DisplayPort2、HDBaseT、SDI1、SDI2、SDI3、SDI4、SLOT		142	
	オートパワーオフ		オフ、0:05、0:10、0:15、0:20、0:30、1:00			
	オフタイマー <b>B</b>		オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00			
	SLOT 電源	プロジェクターオン	オフ、オン		143	
プロジェクタースタンバイ		無効、有効				
リセット			表示中の信号		144	
			全データ			
			全データ (信号リストを含む)			
情報	使用時間 <b>B</b>		ライト使用時間、総 CO <sub>2</sub> 削減量		145	
	信号 (1) <b>B</b>		入力端子、解像度、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期極性、走査方式、信号名、登録番号			
	信号 (2) <b>B</b>		信号形式、色深度、ビデオレベル			
有線 LAN		ネットワークインターフェース、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、DNS				

メニュー		選択項目	参照 ページ
メインメニュー	サブメニュー		
情報	VERSION <sup>B</sup>	FIRMWARE、DATA、 FIRMWARE2、	145
	その他 <sup>B</sup>	日付と時刻、プロジェクター名、 MODEL NO.、SERIAL NUMBER、 CONTROL ID <sup>*5</sup>	
	HDBaseT	信号品質、オペレーションモード、 リンクステータス、HDMI ステータ ス	

※5：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

## 5-3. 入力端子



### 入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

HDMI1	HDMI 1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
DisplayPort 1	DisplayPort 1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。 また、DisplayPort をデュアルリンクで接続している場合に選択します。
DisplayPort 2	DisplayPort 2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDBaseT	HDBaseT の信号を投写します。
SDI1	SDI1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。 また、SDI をクアドリンクまたはデュアルリンクで接続している場合に選択します。
SDI2	SDI2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
SDI3	SDI3 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
SDI4	SDI4 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
SLOT	SLOT (スロット) に装着している別売のオプションボードの映像を投写します。
信号リスト	信号リストから信号を呼び出してして投写します。(96 ページ)
テストパターン	メニューを閉じてテストパターン画面に切り替わります。 (◀▶) ボタンでテストパターンを切り替えます。 テストパターンを消すときは、(EXIT) ボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● テストパターンは、プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認するときや、フォーカスを調整するときに表示します。 フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをおすすめします。</li></ul>

## 信号リストを利用する

投写している信号を、信号リストに登録することができます。また、画像設定やレンズメモリー登録などを行うと、信号の調整値が本機の信号リストに自動的に登録されます。登録された信号（の調整値）は、必要なときに信号リストから呼び出すことができます。登録された信号を呼び出す場合、未登録の信号と比べて、映像を早く表示することができます。

信号リストには100パターンまで登録できます。信号リストへの登録数が100パターンに達すると、それ以降メッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号（の調整値）は、信号リストから削除してください。

### ● 信号リストを表示する

- 1 (MENU) ボタンを押す。  
メニューが表示されます。
- 2 (◀▶) ボタンを押して「入力端子」にカーソルを合わせる。  
入力端子選択画面が表示されます。



- 3 (▼) ボタンを押して、カーソルを信号欄に移動する。
- 4 (▼▲▶) ボタンを押して「信号リスト」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
信号リストが表示されます。

- ・メニューに信号リストが表示されていない場合は、アドバンストメニューに変更してください。アドバンストメニューとベーシックメニューの選択はオンスクリーンメニュー→セットアップ→制御→ツール→管理者モード→メニューモードで行います。

(126 ページ)

NO.	信号名	解像度	入力端子	登録
001	1280x1024 60Hz	1024 x 768	HDMI1	✓
002	NTSC368	1024 x 768	HDMI2	✓
003	AAA	1024 x 768	DisplayPort1	✓
004	004	1024 x 768	HDMI1	✓
005	005	1024 x 768	HDMI2	✓
006	006	1024 x 768	DisplayPort1	✓
007	007	1024 x 768	HDMI1	✓
008	008	1024 x 768	HDMI2	✓
009	009	1024 x 768	DisplayPort1	✓
010	010	1024 x 768	HDMI1	✓
011	011	1024 x 768	HDMI2	✓
012	012	1024 x 768	DisplayPort1	✓
013	013	1024 x 768	HDMI1	✓

クリップボード

信号編集ツールバー

### ● 投写している信号を登録する [登録]

- 1 信号リストで(▲▼)ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し(▲▼)で(登録)にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

## ● 信号リストから信号を選択する [呼出]

- 1 信号リストで(▲/▼)ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

## ● 信号リストの項目を編集する [編集]

- 1 信号リストで(▲/▼)ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀/▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し、(▲/▼)ボタンで(✎) (編集) にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
信号編集画面が表示されます。



信号名	英数字、記号 最大 18 文字で、信号名を入力します。
入力端子	入力端子の変更ができます。
ロック (🔒)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けておくと、[全削除] を行ったときに残しておくことができます。また、ロック後に調整を行った値は保存されません。
スキップ (🚫)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。

- 3 各項目を設定し、「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

## ● 信号リストの項目を削除する [カット]

- 1 信号リストで(▲/▼)ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀/▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し、(▲/▼)ボタンで(✂) (カット) にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
信号リストから削除され、信号リストの下のクリップボードに、削除した信号が表示されます。



**注意**

- 現在投写中の信号を削除することはできません。
- 信号編集画面でロックした信号を選択した場合は、カットは文字が薄く表示され選択できません。


**参考**

- クリップボードの内容は、信号編集ツールバーの(📄) (貼付け) で信号リストに貼り付ける(複製する)ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じて消えません。

## ● 信号リストの項目をコピーする [コピー] [貼付け]

- 1 信号リストで(▲/▼)ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀/▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し、(▲/▼)ボタンで (コピー) にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
信号リストの下のクリップボードに、コピーする信号が表示されます。
- 3 (◀/▶)ボタンを押して信号リストに移動する。
- 4 (▲/▼)ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせる。
- 5 (◀/▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し、(▲/▼)ボタンで (貼付け) にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。  
クリップボードの内容がコピーされます。

## ● 信号リストの項目をすべて削除する [全削除]

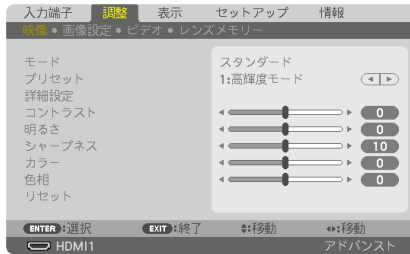
- 1 (◀/▶)ボタンを押して信号編集ツールバーにカーソルを移動し、(▲/▼)ボタンで (全削除) にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
確認メッセージが表示されます。
- 2 (◀/▶)ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



- 信号編集画面でロックした信号は削除されません。

## 5-4. 調整

### 映像



#### ●モード

プリセットの詳細設定の設定値を、入力信号ごとに保存するかどうかを設定します。

スタンダード	プリセットの詳細設定の設定値を、プリセットの項目ごと（1～8）に保存します。
プロフェッショナル	映像ページ内のすべての設定値が入力信号ごとに保存されます。

#### 注意

- テストパターンを表示しているとき、モードは選択できません。

#### ●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～8に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～8に登録できます。

自動	入力信号に適した設定を自動で判別します。
1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられているDICOM規格に近似した設定にします。
8：エッジブレンディング	エッジブレンディング(80ページ)を行っているときの推奨設定です。

#### 注意

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

**参考**

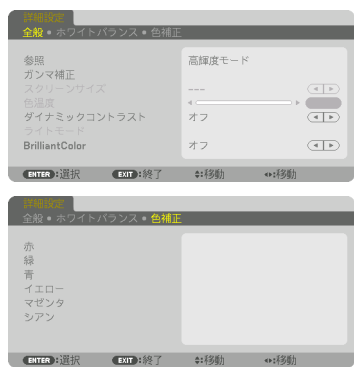
- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピューターやディスプレイ、スキャナー、プリンターなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard社と Microsoft社が策定し、1999年に IECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」の DICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピューター断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

## ● 詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。  
 調整値を登録するには、プリセット項目 1～8 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押します。  
 ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、ライトモード、Brilliant Color、ホワイトバランス、色補正の項目について、細かな設定ができます。

**注意**

- プリセットで「自動」を選択した場合は、詳細設定は選択できません。



### 全般 — 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

### 全般 — ガンマ補正

「選択」では映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

選択	ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
	ナチュラル	標準的な設定です。
	ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。
参照	投写映像に合わせて補正值を変更します。 数値が高いほど、深みのある補正になります。	

**注意**

- 詳細設定で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。



## 全般－スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	300 型前後のサイズのときに選択します。
中	200 型前後のサイズのときに選択します。
小	100 型前後のサイズのときに選択します。

### 注意

- 詳細設定で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ設定できます。

## 全般－色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。5000K から 10500K の間で設定できます。

### 注意

- 詳細設定で「高輝度モード」を選択した場合、色温度は選択できません。
- 詳細設定で「プレゼンテーション」を選択した場合、色温度の調整は 0、1、2 の 3 段階になります。

## 全般－ダイナミックコントラスト

「オン」設定すると映像に応じて最適なコントラスト比に調整します。

### 注意

- プロジェクターの設定、状態によってはダイナミックコントラストが選択できない場合があります。

## 全般－ライトモード

プロジェクターの輝度を調整して、入力信号ごとに保存します。(🔗 58 ページ)

基準ライトモードが「ノーマル」で、映像のモードが「プロフェッショナル」のとき調整が有効になります。

ライト調整		出力を 20 ～ 100%の範囲 (1%刻み) で調整できます。
輝度一定モード	オフ	輝度一定モードが解除されます。
	オン	「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明るさを一定に保つように制御します。調整値は「オフ」にしない限り電源を切っても記憶しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再度輝度調整を実施する場合は、一度「オフ」にしてから輝度調整を行ってください。</li> </ul>
		<b>注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。</li> <li>● 輝度一定モードの設定は、入力信号ごとに保存されません。</li> </ul>

## 全般 — Brilliant Color

白色の明るさを選択します。

「中」 → 「強」 を選ぶと白色が明るくなります。

### 注意

- 参照で「高輝度モード」、「プレゼンテーション」を選択すると、BrilliantColor は変更できません。

## ● ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。

### 注意

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

## ● 色補正

各信号共通の色補正を行います。

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ（紫）、シアン（明るい青緑）の各色の色味を調整します。

赤	色相	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとマゼンタよりに変化し、「-」方向へ移動すると黄色よりに変化します。
	彩度	赤色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
緑	色相	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると黄色よりに変化し、「-」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	彩度	緑色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
青	色相	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとシアンよりに変化し、「-」方向へ移動するとマゼンタよりに変化します。
	彩度	青色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。

次ページに続く

イエロー	色相	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動すると緑よりに変化します。
	彩度	黄色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
マゼンタ	色相	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動すると赤よりに変化します。
	彩度	マゼンタの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
シアン	色相	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動すると青よりに変化します。
	彩度	シアンの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。

## ●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがあった映像にしたり、緑があった映像にします。

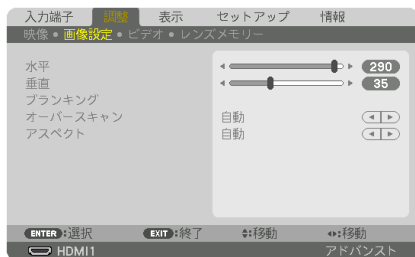
### 注意

- テストパターンを表示しているときは、コントラスト、明るさ、シャープネス、カラー、色相は調整できません。

## ●リセット

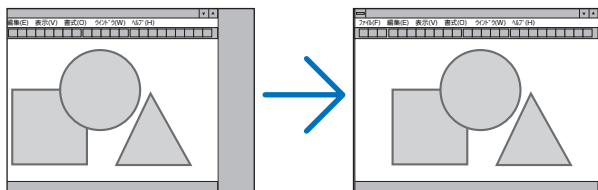
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

## 画像設定



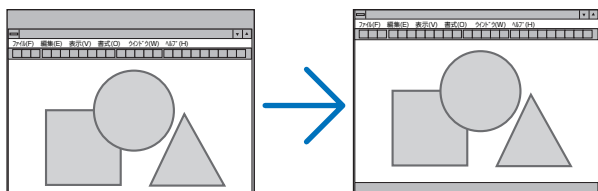
### ●水平

画面を水平方向に移動します。



### ●垂直

画面を垂直方向に移動します。

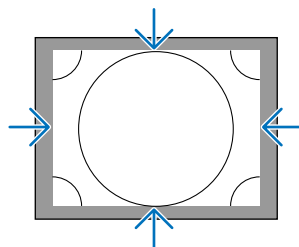


### 注意

- 水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。  
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→リセット→「表示中の信号」を行ってください。
- 次の場合は、水平と垂直を調整できません。
  - ・入力信号がインターレース信号の場合
  - ・SDIリンクが「クアッド」または「クアッド(インターリーブ)」の場合
  - ・DPリンクが「デュアル」の場合

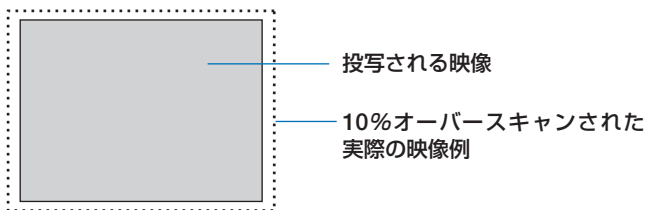
### ●プランキング

映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲(プランキング)を調整します。



## ●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。



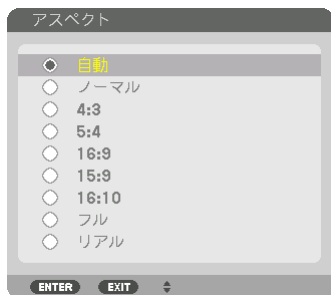
**注意**

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。

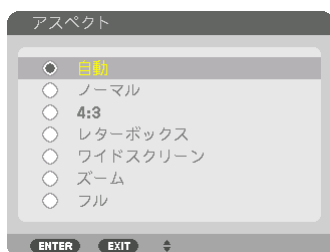
## ●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

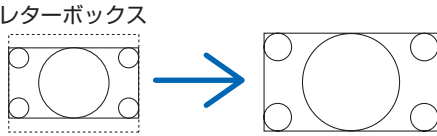
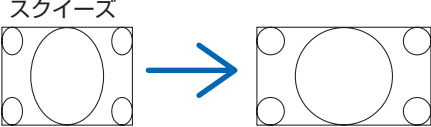

【コンピューター信号時】



【HDTV/SDTV 信号時】



自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
ノーマル	入力信号のアスペクト比のとおりに入写します。
4 : 3	4 : 3 のサイズで投写します。
5 : 4	5 : 4 のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9 のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9 のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10 のサイズで投写します。
リアル	コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度 (18 ページ) よりも小さいときに、コンピューター入力信号の解像度そのまま投写します。また、本機の解像度よりも大きいときは、コンピューター入力信号の解像度そのまま画面の中心を投写します。  <div style="text-align: center;"> </div>

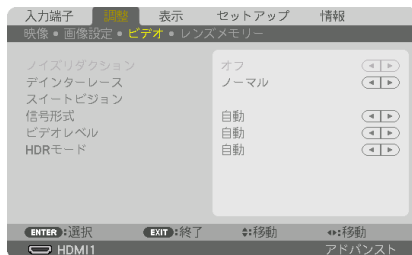
レターボックス	16 : 9 のレターボックス信号を投写します。 
ワイドスクリーン	16 : 9 のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して 16 : 9 のサイズで投写します。 
ズーム	16 : 9 のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして 4 : 3 のサイズで投写します。そのため、左右の両端は表示されません。 
フル	画面サイズ全体に投写します。

**参考**

● コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度	アスペクト比
VGA 640 × 480	4 : 3
SVGA 800 × 600	4 : 3
XGA 1024 × 768	4 : 3
WXGA 1280 × 768	15 : 9
HD (FWXGA) 1366 × 768	約 16 : 9
WXGA 1280 × 800	16 : 10
WXGA+ 1440 × 900	16 : 10
WXGA++ 1600 × 900	16 : 9
SXGA 1280 × 1024	5 : 4
SXGA+ 1400 × 1050	4 : 3
WSXGA+ 1680 × 1050	16 : 10
FHD(1080P) 1920 × 1080	16 : 9
UXGA 1600 × 1200	4 : 3
WUXGA 1920 × 1200	16 : 10
WQXGA 2560 × 1600	16 : 10
4K 3840 × 2160	16 : 9
4096 × 2160	17 : 9

## ビデオ



### ●デインターレース

インターレース信号が入力された場合のプログレッシブ変換処理を選択します。

ノーマル	動画と静止画を自動判別して鮮明な状態にします。 ジッターやノイズが目立つ場合は、「動画」を選択してください。
動画	動画を投写するときに選択します。 ジッターやノイズが多い信号に適しています。
静止画	静止画を投写するときに選択します。 動画を投写すると映像がちらつきます。

### ●スイートビジョン

人間の目の特性を利用してコントラスト感、解像度感のある画質を実現します。

オフ	スイートビジョンは動きません。
自動	スイートビジョン機能によって、自動的にコントラストや画質を改善します。
ノーマル	手でゲインを調整できます。

### ●信号形式

RGB とコンポーネント入力信号の選択です。通常は「自動」に設定します。それでも画像の色彩が不自然な場合には設定を切り替えてください。

自動	RGB とコンポーネント入力信号を自動判別します。
RGB	RGB 入力に切り替えます。
REC601	ITU-R BT.601 規格に準拠したコンポーネント入力信号に切り替えます。 SDTV 映像に適した設定にします。
REC709	ITU-R BT.709 規格に準拠したコンポーネント入力信号に切り替えます。 HDTV 映像に適した設定にします。
REC2020	ITU-R BT.2020 規格に準拠したコンポーネント入力信号に切り替えます。 4K 映像に適した設定にします。

## ●ビデオレベル

本機のHDMI1入力端子、HDMI2入力端子、DisplayPort 1入力端子、DisplayPort 2入力端子およびHDBaseTポートと外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「ノーマル」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
ノーマル	拡張を無効にします。
拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。
スーパーホワイト	映像のコントラストが向上し、暗部がよりダイナミックに表現されます。

## ●HDRモード

HDR対応機器から映像信号を入力したときの設定を選択します。

自動	信号を自動判別します。
オフ	入力信号の映像を投写します。
オン	HDR信号に適した映像を投写します。



**注意**

- 4K以外の信号のときは選択できません。



## レンズメモリー



スクリーンへの投写位置、大きさ（レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値）を入力信号ごとに保存することができます。

レンズメモリーを利用すると、入力信号を切り替えたときに、レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整をやりなおす必要がありません。

登録	投写している入力信号のレンズシフト、ズーム、フォーカスの位置を保存します。
移動	入力信号に応じて、登録されたレンズの調整位置にレンズが移動します。
リセット	投写中の入力信号に登録されたレンズの調整位置を削除します。

### 参考

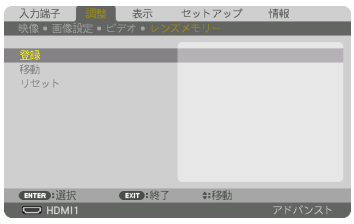
- レンズメモリー機能はレンズの位置を保存すると信号リストに登録します。このため登録されたレンズの位置は映像調整や画像調整登録と同様に信号リストから呼び出すこともできます。 (▶ 96 ページ)  
 なお、信号リストの [カット] および [全削除] を行うとレンズの位置登録も同時に削除されますが、レンズの位置などは他の調整値が呼び出されるまで維持します。
- レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を、すべての入力信号共通のものとして保存する場合は、基準レンズメモリー (▶ 125 ページ) で保存してください。

## 使いかた

### 調整値の保存

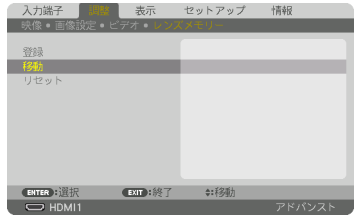
- 1 調整する接続機器の信号を投写します。
- 2 (L-SHIFT)、(ZOOM +/-)、(FOCUS +/-) ボタンを使って画面の投写位置、大きさ、フォーカスを調整します。
  - リモコンで調整することもできます。操作について詳しくは、「2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する」 (▶ 42 ページ) をご覧ください。
  - プロジェクター本体の移動、チルトフットによる調整量は除外されます。

- 3 レンズメモリーのメニュー画面で(▲/▼)ボタンを押して「登録」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。  
確認画面を表示します。
- 4 (◀)ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。  
これで、保存ができました。



**調整値を直接呼び出す**

- 1 レンズメモリーで保存した映像を投写します。
- 2 レンズメモリーのメニュー画面で(▲/▼)ボタンを押して「移動」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。  
確認画面を表示します。
- 3 (◀)ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。  
保存している信号の調整値にレンズが移動します。



**信号を切り替えたときに自動でレンズ移動をさせるには**

- 1 基準レンズメモリー(▶125ページ)のメニュー画面で(▲/▼)ボタンを押して「信号別読出し」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。  
信号別読出し画面を表示します。
- 2 (▼)ボタンを押して「オン」を選択し、(ENTER)ボタンを押します。  
これで、保存している入力信号に切り替えると自動でレンズが移動します。

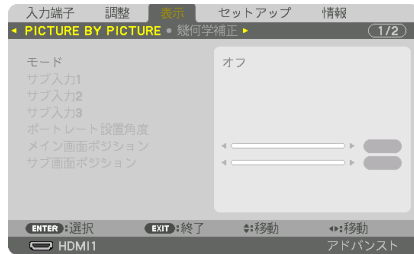


**注意**

● 信号リストの編集で投写中の入力信号をロック (チェックマークを付けている) している場合は、レンズメモリーの調整値は保存 (書き換え) されません。ロックを解除してから行ってください。

## 5-5. 表示

### PICTURE BY PICTURE



操作については、「4-2. 1台のプロジェクターを使って2種類または4種類の映像を同時に投写する【PICTURE BY PICTURE】」(74 ページ)をご覧ください。

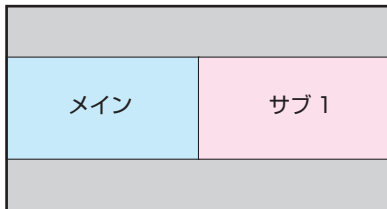
#### ●モード

1画面表示、2画面表示、4画面表示を切り替えます。

#### ●サブ入力1 / サブ入力2 / サブ入力3

サブ画面に表示する入力信号を選択します。

2画面表示



4画面表示



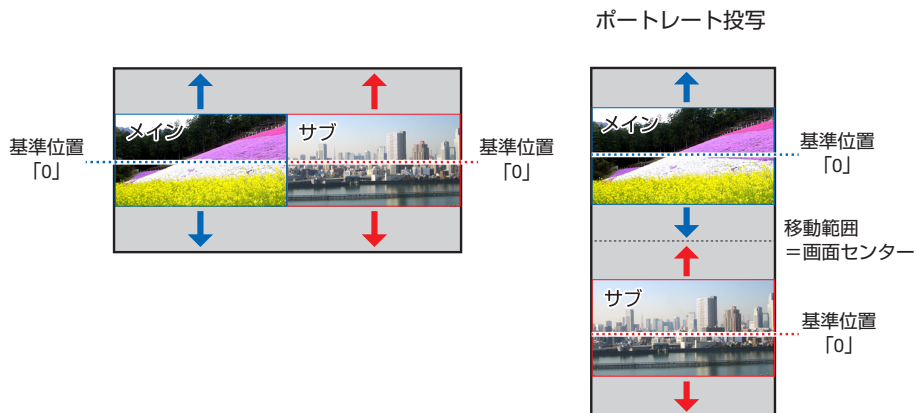
サブ入力1	2画面表示または4画面表示のときに、サブ1の画面に表示する入力信号を選択します。 <b>注意</b> ●HDBaseT と SLOT は、モードが「デュアル」の場合のみ選択できます。
サブ入力2	4画面表示のときに、サブ2の画面に表示する入力信号を選択します。
サブ入力3	4画面表示のときに、サブ3の画面に表示する入力信号を選択します。

#### ●ポートレート設置角度

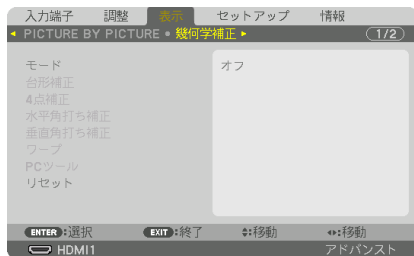
ポートレート投写で2画面を表示する場合に、画面の向きを選択します。

## ●メイン画面ポジション／サブ画面ポジション

2画面表示のときに、垂直方向の画面位置を調整します。



## 幾何学補正



## ●モード

投写画面の歪みを補正する方法を選択します。  
オフを選択すると、幾何学補正が無効になります。

**注意**

- メニュー角度を変更する場合は、幾何学補正の前に行ってください。  
幾何学補正のあとにメニュー角度の変更を行うと、幾何学補正の調整値がリセットされます。

## ● 台形補正



投写画面の水平方向と垂直方向の台形歪みを調整します。

水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。																			
垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。																			
打上げ度	レンズシフトで垂直方向に画面を移動した状態で台形補正を行うときの歪みを調整します。																			
投写比	使用しているオプションレンズの投写比に応じて調整します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>レンズユニットの型名</th> <th>調整範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NP16FL-4K</td> <td>7 ~ 8</td> </tr> <tr> <td>NP17ZL-4K</td> <td>12 ~ 18</td> </tr> <tr> <td>NP18ZL-4K</td> <td>17 ~ 23</td> </tr> <tr> <td>NP19ZL-4K</td> <td>21 ~ 37</td> </tr> <tr> <td>NP20ZL-4K</td> <td>34 ~ 55</td> </tr> <tr> <td>NP21ZL-4K</td> <td>50 ~ 85</td> </tr> <tr> <td>NP31ZL-4K</td> <td>7 ~ 10</td> </tr> <tr> <td>NP39ML-4K</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	レンズユニットの型名	調整範囲	NP16FL-4K	7 ~ 8	NP17ZL-4K	12 ~ 18	NP18ZL-4K	17 ~ 23	NP19ZL-4K	21 ~ 37	NP20ZL-4K	34 ~ 55	NP21ZL-4K	50 ~ 85	NP31ZL-4K	7 ~ 10	NP39ML-4K	4
レンズユニットの型名	調整範囲																			
NP16FL-4K	7 ~ 8																			
NP17ZL-4K	12 ~ 18																			
NP18ZL-4K	17 ~ 23																			
NP19ZL-4K	21 ~ 37																			
NP20ZL-4K	34 ~ 55																			
NP21ZL-4K	50 ~ 85																			
NP31ZL-4K	7 ~ 10																			
NP39ML-4K	4																			

### 注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正は電氣的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

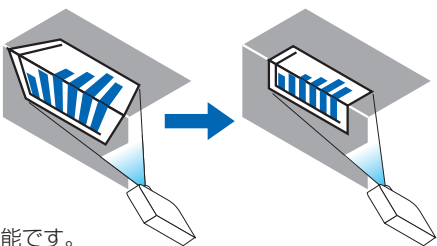
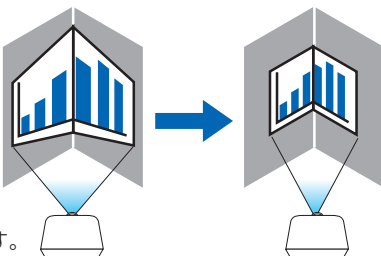
## ● 4点補正

4点補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

操作について詳しくは、「3-8. 台形歪みを調整する (4点補正)」(61 ページ) をご覧ください。

## ●水平角打ち補正／垂直角打ち補正

壁面などのコーナー投写時の歪み補正です。

<p>水平角打ち補正</p>	<p>水平方向に角になっている壁に対して投写する補正を行います。</p>  <p>※ 逆角の補正も可能です。</p>
<p>垂直角打ち補正</p>	<p>垂直方向に角になっている壁に対して投写する補正を行います。</p>  <p>※ 逆角の補正も可能です。</p>

**注意**

- 最大調整範囲を超えると歪み調整はできなくなります。また歪み調整量が多くなると画質劣化が増大しますのでプロジェクターは最適な角度で設置してください。
- 角打ち投写は上下または左右の辺と画面中心との距離の違いによりフォーカスがあまくなりますのでご承知ください。また短焦点レンズでの角打ち投写はフォーカスが合わなくなりますのでおすすめできません。

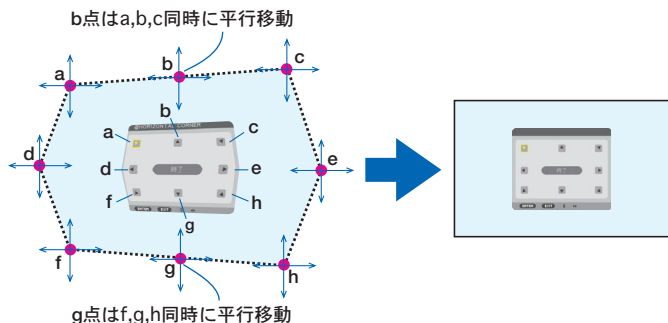
## 調整方法

- 1** 幾何学補正メニューの「水平角打ち補正」または「垂直角打ち補正」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。  
調整画面が表示されます。
- 2** (▼▲▶▶)ボタンを押して、カーソル（黄色の枠）を目的の調整ポイントに合わせて、(ENTER)ボタンを押します。  
カーソルが調整ポイント（黄色）に変わります。
- 3** (▼▲▶▶)ボタンを押して画面の角または辺を調整し、(ENTER)ボタンを押します。  
カーソル（黄色の枠）に戻ります。

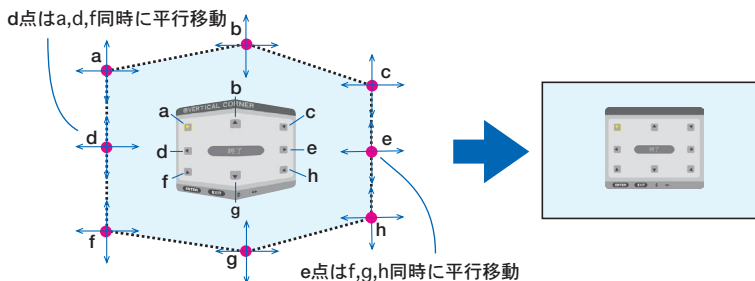
### 画面移動の説明

- 4 隅の調整ポイント（図の a,c,f,h）は単独で移動します。
- 次の調整ポイントは水平角打ち補正と垂直角打ち補正では異なります。  
水平角打ち：図の b 点を移動すると上辺、g 点を移動すると下辺が平行移動します。  
垂直角打ち：図の d 点を移動すると左辺、e 点を移動すると右辺が平行移動します。

### 【水平角打ち調整画面の調整ポイントと投写画面の移動ポイント】



### 【垂直角打ち調整画面の調整ポイントと投写画面の移動ポイント】



- 4** 他のポイントを調整するときは**2**から行います。
- 5** 調整が完了したら、(▼▲▶▶)ボタンを押して調整画面の「終了」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。  
調整終了画面が表示されます。
- 6** (◀▶)ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。  
水平角打ち補正または垂直角打ち補正の調整が確定され、幾何学補正画面に戻ります。

## ●ワーブ

円柱面や球面等の特殊形状スクリーンに投写するときの歪み補正です。

### 注意

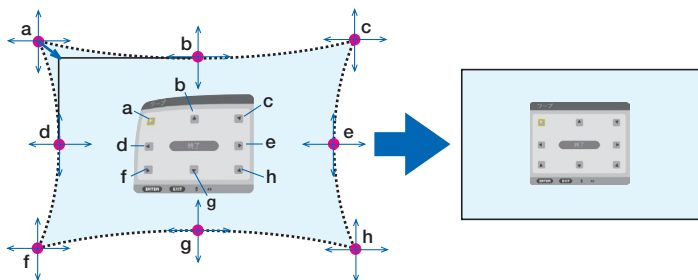
- 最大調整範囲を超えると歪み調整はできなくなります。また歪み調整量が多くなると画質劣化が増大しますのでプロジェクターは最適な角度で設置してください。
- 円柱面や球面等への投写は、画面中心と周辺との距離の違いによりフォーカスがあまくなりますのでご承知ください。また短焦点レンズでの投写はフォーカスが合わなくなりますのでおすすめできません。

## 調整方法

- 1** 幾何学補正メニューの「ワーブ」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。調整画面が表示されます。
- 2** (▼▲▶▶)ボタンを押して、カーソル（黄色の枠）を目的の調整ポイントに合わせて、(ENTER)ボタンを押します。カーソルが調整ポイント（黄色）に変わります。
- 3** (▼▲▶▶)ボタンを押して画面の角または辺のわん曲歪みを調整し、(ENTER)ボタンを押します。カーソル（黄色の枠）に戻ります。

画面移動の説明

- 8点の調整ポイントは単独で移動します。
- 左右辺は(◀▶)ボタンで歪みの大きさ、(▼▲)ボタンで歪みの中心位置を調整します。
- 上下辺は(▼▲)ボタンで歪みの大きさ、(◀▶)ボタンで歪みの中心位置を調整します。
- コーナーは(▼▲▶▶)ボタンで位置を移動します。



※図は球面に投写されている画面の補正イメージです。

- 4** 他のポイントを調整するときは**2**から行います。
- 5** 調整が終わりましたら、(▼▲▶▶)ボタンを押して調整画面の「終了」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。調整終了画面が表示されます。
- 6** (◀▶)ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせて、(ENTER)ボタンを押します。ワーブの調整が確定され、幾何学補正画面に戻ります。

## ●PC ツール

本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。登録データは3つあります。

### 注意

- 幾何学補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。



## ●リセット

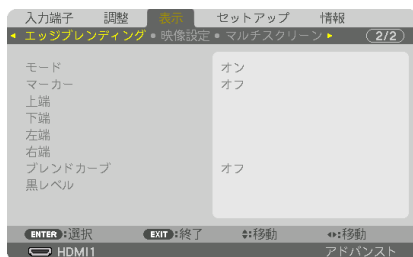
幾何学補正のモードで選択されている項目の調整値をリセット（初期値に戻す）します。

モードがオフのときは無効です。

- ・リモコンの **(3D REFORM)** ボタンを 2 秒以上押しでもリセットできます。

## エッジブレンディング

本機を左右上下に複数台組み合わせて、解像度の高い映像を投写する際に、投写画面の端（境界）を調整します。



## ●モード

エッジブレンディング機能の有効・無効を設定します。

モードをオンに設定するとマーカー、上端、下端、左端、右端、黒レベル、ブレンドカーブを設定・調整できます。

## ●マーカー

範囲と表示位置調整時にマーカーを表示するかしないかを設定します。オンにすると、範囲調整用はマゼンタ、表示位置調整用は緑のマーカーが表示されます。

## ●上端、下端、左端、右端

画面の上下左右のエッジブレンディング箇所を選択します。項目を選択すると以下の設定・調整ができます。 ([81 ページ](#))

制御	上端、下端、左端、右端の有効・無効を設定します。
範囲	エッジブレンディングの範囲（幅）を調整します。
位置	エッジブレンディングの設定位置を調整します。

## ●ブレンドカーブ

エッジブレンディング部分の明るさを設定します。 ([83 ページ](#))

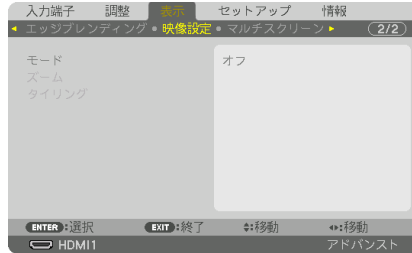
## ●黒レベル

エッジブレンディング部分の黒レベルを調整します。 ([83 ページ](#))

## 映像設定

映像エリアを縮小拡大して任意の位置に表示したり、複数台のプロジェクターを組み合わせて投写する場合の分割条件を設定します。

詳しくは、「4. マルチスクリーン投写」(73 ページ) をご覧ください。

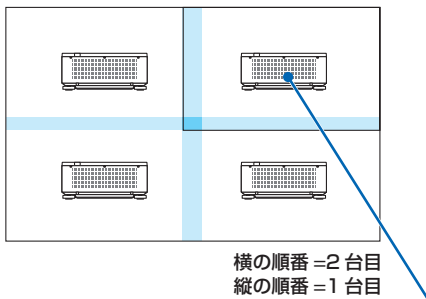


モード	オフ	プロジェクターを単体で使用します。
	ズーム	分割したい映像エリアの位置、映像幅を調整します。その幅でエッジブレンディングの幅も自動設定します。
	タイリング	分割画面をプロジェクターに割り当てます。
ズーム	水平拡大	映像エリアを横方向に拡大します。
	垂直拡大	映像エリアを縦方向に拡大します。
	水平位置	映像エリアを横方向に移動します。
	垂直位置	映像エリアを縦方向に移動します。
タイリング	横台数	プロジェクターを横に並べた台数を選択します。
	縦台数	プロジェクターを縦に並べた台数を選択します。
	横順番	横に並べた台数中、左から何番目のプロジェクターかを選択します。
	縦順番	縦に並べた台数中、上から何番目のプロジェクターかを選択します。

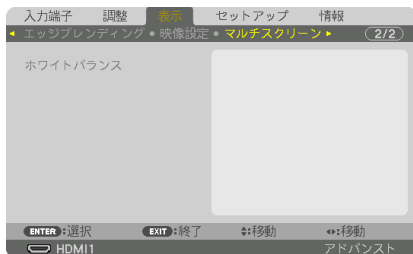
### タイリングの使用条件

- すべてのプロジェクターは下記の条件を満たしている必要があります。
    - ・パネルサイズが同じ
    - ・投写画面サイズが同じ
    - ・投写画面の左右端または上下端が一致していること
    - ・エッジブレンディングの左端と右端の設定が同じ
    - ・エッジブレンディングの上端と下端の設定が同じ
- タイリング条件を満たしていれば、各設置位置のプロジェクターの映像画面を自動で抽出して投写します。
- タイリング条件を満たしていない場合は、ズームで各設置位置ごとのプロジェクターの映像画面を調整してください。
- 各プロジェクターに対して異なるコントロール ID を設定してください。
  - ブルーレイプレーヤー（またはコンピューター）のカラー設定、DeepColor 設定は、自動に設定してください。詳しくはブルーレイプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

タイリング設定例) 横台数 =2 台、縦台数 =2 台



## マルチスクリーン



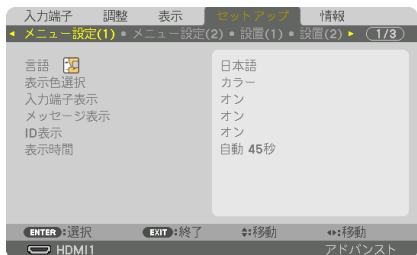
### ●ホワイトバランス

複数台の 프로젝ターを組み合わせる場合、 프로젝ターごとのホワイトバランスを調整します。

モード	「オン」のとき調整ができます。	
コントラスト	白	映像の白色を調整します。
コントラスト	赤	
コントラスト	緑	
コントラスト	青	
明るさ	白	映像の黒色を調整します。
明るさ	赤	
明るさ	緑	
明るさ	青	

# 5-6. セットアップ

## メニュー設定 (1)



### ●言語

メニューに表示される言語を選択します。

**参考** ● 言語は、リセットを行っても変更されません。

### ●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

### ●入力端子表示

投写画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。


- ・入力信号を切り替えたときに、画面右上に「HDMI1」などの入力端子名を表示します。

### ●メッセージ表示

投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。

「オフ」を選択しても、セキュリティロック中の警告は表示されます。セキュリティロック中の警告は、ロックを解除すると表示が消えます。

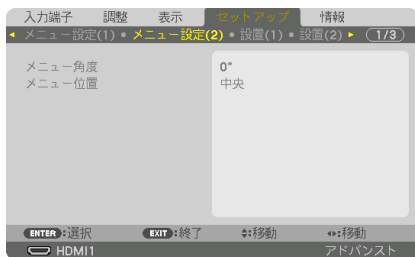
### ●ID表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロールID機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの(ID SET)ボタンを押したときに、コントロールID画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロールID ( 131 ページ) をご覧ください。

### ●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

## メニュー設定 (2)



### ● メニュー角度

オンスクリーン表示（メニュー、入力端子、メッセージ）の向きを選択します。

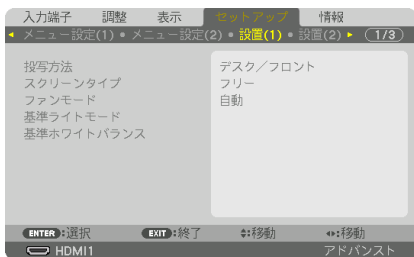
### ● メニュー位置

メニューを表示する位置を変更します。9箇所から選択できます。

#### 参考

- 本機の電源を切っても、メニューの表示位置は保存されます。
- メニュー角度を変更すると、メニューの表示位置は工場出荷状態に戻ります。
- 入力端子やメッセージの表示位置は変わりません。

## 設置 (1)



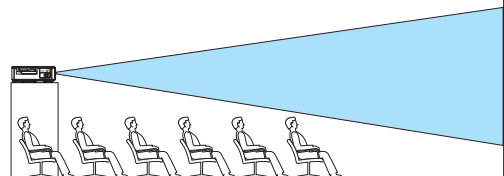
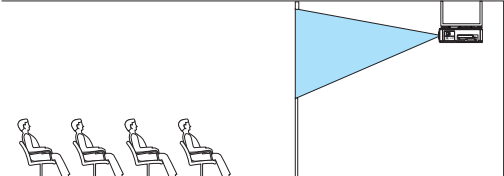
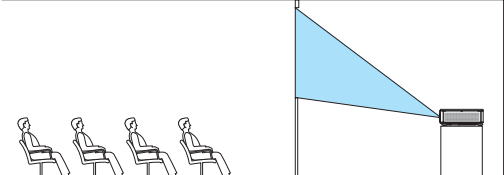
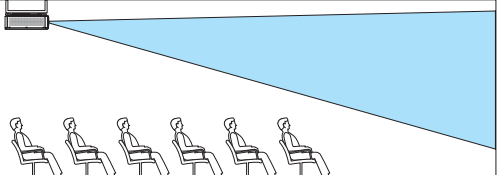
### ● 投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



#### 警告

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対にしないでください。落下してけがの原因となります。

<p>デスク／フロント</p>	<p>テーブルに設置してスクリーンの前面から投写</p> 
<p>天吊り／リア</p>	<p>天井に設置してスクリーンの背面から投写</p> 
<p>デスク／リア</p>	<p>テーブルに設置してスクリーンの背面から投写</p> 
<p>天吊り／フロント</p>	<p>天井に設置してスクリーンの前面から投写</p> 

## ●スクリーンタイプ

投写するスクリーンの比率を設定します。

<p>フリー</p>	<p>パネルの比率になります。17：9画面（4K）を投写するときを選択します。</p>
<p>4：3 スクリーン</p>	<p>縦横比が 4：3 のスクリーンの場合</p>
<p>16：9 スクリーン</p>	<p>縦横比が 16：9 のスクリーンの場合</p>
<p>16：10 スクリーン</p>	<p>縦横比が 16：10 のスクリーンの場合</p>



- スクリーンタイプを変更したら、必ず [アスペクト] の設定を確認してください。  
(👉105 ページ)

## ●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサーと気圧センサーにより、適切な速度で回転します。ファンの回転音が静かです。
高速	常に高速で回転することで本機内部の冷却効果を高め、高温部品の寿命を延ばします。



- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

## ●基準ライトモード

輝度を下げて使用したいときや、省エネで使用したいときに調整します (🔗 58 ページ)。また、複数台のプロジェクターを組み合わせるときに、各プロジェクター間の輝度合わせが行えます。

基準ライトモード	ノーマル	輝度 (明るさ) が 100% になり、明るい画面になります。
	エコ 1 エコ 2	設定したモードに対応して輝度とファンを制御することで動作音が小さくなり消費電力も下がります。輝度一定モードが「オフ」のとき設定ができます。
基準ライト調整		出力を 20 ~ 100% の範囲 (1% 刻み) で調整できます。
輝度一定モード	オフ	輝度一定モードが解除されます。
	オン	「オン」に切り替えた時点の明るさを基準にして、明るさを一定に保つように制御します。調整値は「オフ」にしない限り電源を切っても記憶しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再度輝度調整を実施する場合は、一度「オフ」にしてから輝度調整を行ってください。</li> </ul>



- 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。



- 複数台を組み合わせるときの輝度設定は輝度を少し抑えた輝度に調整し、その後輝度設定モードを「オン」にしておくことをおすすめします。

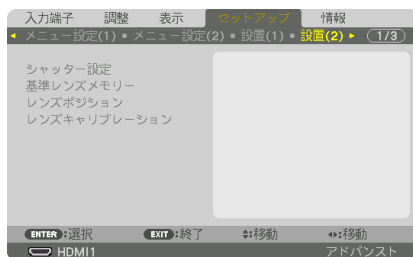
## ●基準ホワイトバランス

各信号共通のホワイトバランスを調整します。

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

コントラスト 赤	
コントラスト 緑	画面の白色を調整します。
コントラスト 青	
明るさ 赤	
明るさ 緑	画面の黒色を調整します。
明るさ 青	

## 設置 (2)



## ●シャッター設定

投写光を遮断する機能を設定します。また、(SHUTTER)ボタンを押したときに徐々に明るくしていく (フェードイン)、徐々に暗くしていく (フェードアウト) 時間を設定します。

パワーオンシャッター	開	電源を入れたときに光源が点灯し、映像が投写されます。
	閉	電源を入れても光源が点灯しません。 (SHUTTER)ボタンを押すと、シャッターが解除されて光源が点灯します。
映像ミュートシャッター	開	入力端子の切り替えなどの操作で映像が消えたときに、光源が点灯したままになります。
	閉	入力端子の切り替えなどの操作で映像が消えたときに、光源が消灯します。
フェードイン時間		(SHUTTER)ボタンを押したときに、光源を点灯して徐々に明るくしていく時間の設定です。 0～10秒まで1秒刻みの設定ができます。
フェードアウト時間		(SHUTTER)ボタンを押したときに、光源を消灯して徐々に暗くしていく時間の設定です。 0～10秒まで1秒刻みの設定ができます。



## ●基準レンズメモリー

スクリーンへの投写位置、大きさ（レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値）をすべての入力信号共通のものとして、本機の基準レンズメモリーに保存することができます。基準レンズメモリーを利用すると、レンズシフト、ズーム、フォーカスの調整を変更したときに、基準レンズメモリーに保存している調整値に簡単に戻すことができます。（🔗 69 ページ）

プロファイル	登録するプロファイル番号を選択します。
登録	選択したプロファイル番号に、すべての入力信号共通のものとして、レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を保存します。
移動	選択したプロファイル番号の基準レンズメモリーに保存されているレンズの調整値にレンズを移動します。
リセット	選択したプロファイル番号の基準レンズメモリーの内容を工場出荷状態に戻します。
信号別読出し	信号を切り替えたときに、選択したプロファイル番号のレンズの調整値にレンズを移動します。 レンズメモリーに調整値が保存されていない場合は、基準レンズメモリーの調整値にレンズを移動します。また、基準レンズメモリーに調整値が保存されていない場合は工場出荷状態に戻ります。
映像ミュート	レンズ移動中に、映像をミュート（消去）するかしないかを選択します。



- レンズシフト、ズーム、フォーカスの各調整値を、入力信号ごとに保存する場合は、レンズメモリーで保存してください。（🔗 109 ページ）
- 基準レンズメモリーはデータリセットを行っても変更されません。

## ●レンズポジション

レンズの位置を移動します。

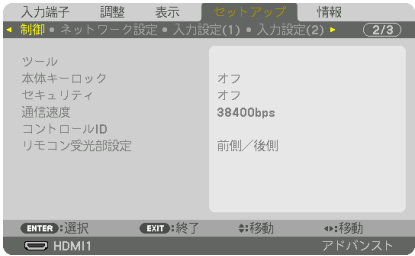
ホーム	レンズの位置をホームポジションに戻します。
種類	レンズユニット NP39ML-4K を装着したときに、レンズを最適な位置へ移動します。

## ●レンズキャリブレーション

レンズメモリーのズーム、フォーカス、レンズシフトの調整範囲を校正します。レンズユニットを交換したあとは、必ずレンズキャリブレーションを行ってください。

- キャリブレーションが必要なレンズユニットの型名  
NP16FL-4K/NP17ZL-4K/NP18ZL-4K/NP19ZL-4K/NP20ZL-4K/NP21ZL-4K/  
NP31ZL-4K

## 制御

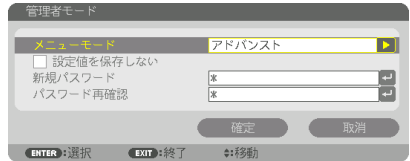


## ● ツール



## 管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。



メニューモード	ベーシックメニューとアドバンストメニューを選択します。 それぞれのメニューで使用できる項目は <b>89 ページ</b> をご覧ください。	—
設定値を保存をしない	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存しない場合にチェックマークを付けます。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存する場合にチェックマークを外します。	—
新規パスワード パスワード再確認	管理者モードにパスワードを設定します。	最大 10 文字

## プログラムタイマー



曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン／スタンバイや映像信号の切り替えを自動で行うことができます。たとえば、上の画面の設定では、日曜日の9時に電源がオンになり、9時1分にHDMI 1入力端子に接続しているコンピューターの画面に切り替わり、17時に電源がスタンバイ状態になります。



**重要**

- 「プログラムタイマー」を使用するときは、必ず「日付と時刻設定」に現在の日付／時刻を設定してください。(▶ 130 ページ)  
また、本機をスタンバイ状態にしておいてください。本機の電源コードを外したあと、そのまま約1ヶ月以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。

### プログラムを新しく設定する

- 1 プログラムタイマー画面で (▲/▼) ボタンを押して [設定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
プログラムリスト画面が表示されます。



- 2 予定が入っていない番号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。  
編集画面が表示されます。



- 3 編集画面で、各項目を設定したい内容に変更する。



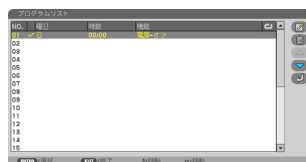
動作	チェックマークを付けるとプログラムが有効になります。
曜日	プログラムを実行する曜日を設定します。「月 - 金」を選択すると月曜日から金曜日まで毎日、「月 - 土」を選択すると月曜日から土曜日まで毎日、「毎日」を選択すると毎日実行されます。
時刻	プログラムを実行する時刻を設定します。時刻は 24 時間表記で入力します。
機能	実行したい機能を設定します。「電源」を選択すると [詳細設定] で電源のオン/オフ、「入力端子」を選択すると [詳細設定] で入力信号、「ライトモード」を選択すると [詳細設定] でライトモードを選べるようになります。
詳細設定	[機能] で選択した内容に応じて、電源のオン/オフ、入力信号またはライトモードを選択します。
繰り返し	プログラムを継続して実行する場合はチェックマークを付けます。一度だけ実行する場合はチェックマークを付けません。

#### 4 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

#### 5 (戻る) にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

プログラムタイマー画面に戻ります。



#### 6 (EXIT) ボタンを押す。

ツール画面に戻ります。



#### 注意

- プログラムは 30 個まで設定できます。
- [繰り返し] にチェックを付けていないプログラムは、一度実行すると自動的に [動作] のチェックが外されて無効になります。
- 電源オン時刻、および電源オフ時刻が同時刻に重なるときは、電源オフのプログラムが優先されます。
- 異なる入力端子の映像信号設定が同時刻に重なるときは、プログラム番号の大きいプログラムが優先されます。
- 冷却ファン回転中やエラー状態のときは、電源オンの時刻になっても電源オンは実行されません。
- 電源オフできない状態のときに電源オフの時刻になると、電源オフができる状態になったときに電源オフが実行されます。
- プログラムタイマーの [有効] にチェックが付いていても [動作] にチェックが付いていないプログラムは実行されません。
- 電源オンのプログラムを設定したときは、本機の電源が入ったままにならないように電源オフのプログラムを設定するか、手動で電源をオフにしてください。

### プログラムタイマーを有効にする

- 1 プログラムタイマー画面で [プログラムタイマー] の [有効] にカーソルを合わせて、**(ENTER)** ボタンを押す。

選択画面が表示されます。

- 2 **(▼)** ボタンを押して [オン] にカーソルを合わせて、**(ENTER)** ボタンを押す。

プログラムタイマー画面に戻ります。

#### 注意

- プログラムタイマーの有効設定が「オン」に設定されていないときは、プログラムリストの [動作] の項目にチェックが付いていてもプログラムは実行されません。
- プログラムタイマーの有効設定が「オン」に設定されていても、プログラムタイマー画面を閉じるまではプログラムタイマーは動作しません。

### プログラムを編集する

- 1 プログラムリスト画面で編集したい番号にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

- 2 編集画面で設定を変更する。

- 3 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

### プログラムの順番を変更する

プログラムタイマーは、設定時刻の早い順にプログラムを実行します。

- 1 プログラムリスト画面で順番を変更したい番号にカーソルを合わせ、**(▶)** ボタンを押す。

- 2 **(▼)** ボタンを押して「▲」または「▼」を選択する。

- 3 希望の位置まで移動するまで **(ENTER)** ボタンを数回押す。

これでプログラムの順番が変更されます。

### プログラムを削除する

- 1 プログラムリスト画面で削除したい番号にカーソルを合わせ、**(▶)** ボタンを押す。

- 2 **(▼)** ボタンを押して **(🗑)** (削除) にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

- 3 「はい」にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

削除されプログラムリスト画面に戻ります。

## 日付と時刻設定

本機に日付と時刻およびタイムゾーンを設定します。



タイムゾーン設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻を設定するときに必ず「タイムゾーン」も設定してください。</li> <li>日本の時刻の場合は UTC「+09:00」を選択します。</li> </ul>
日付と時刻設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付 月／日／年を設定します。</li> <li>時刻 時／分を設定します。</li> <li>インターネット時刻サーバー チェックマークを付けると、本機の電源を入れたときに、インターネット時刻サーバーと同期します。インターネット時刻サーバーの IP アドレス、またはホスト名を入力してください。</li> <li>更新 「インターネット時刻サーバー」にチェックマークを付けたときに有効になります。インターネット時刻サーバーと同期して、直ちに時刻を更新します。</li> </ul>
夏時間設定	「有効」にチェックマークを付けると、夏時間を設定できます。

### 注意

- 時計機能を使用する場合は、本機を使用しないときでも電源コードを抜かずにスタンバイ状態にしておいてください。  
本機の電源コードを外したあと、そのまま約 1ヶ月以上経過すると、日付と時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。

## ● 本体キーロック


プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

### 注意

- 本体キーロックの解除方法  
本体キーロックが「オン」に設定されているときに、本体の (EXIT) ボタンを 10 秒以上押しすと、本体キーロックの設定が解除されます。

### 参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

## ●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-9. セキュリティを設定して無断使用を防止する」

(🔗 [64 ページ](#)) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

### ▲参考

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

## ●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

### ▲注意

- 当社のアプリケーションソフト NaViSet Administrator 2 を使用する場合は、38400bps 以下に設定してください。

### ▲参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

## ●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	プロジェクターに割り当てる番号を 1 ~ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

### ▲注意

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります (本体操作ボタンは除く)。

### ▲参考

- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の(ENTER)ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

## リモコンへのIDの設定／変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの **(ID SET)** ボタンを押す。  
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 **3** でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

- 3 リモコンの **(ID SET)** ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

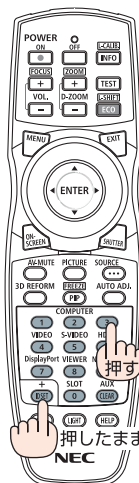
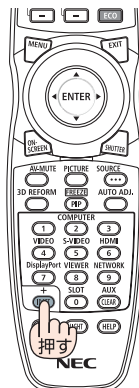
たとえば「3」に変更するには数字の3を押します。ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または **(CLEAR)** ボタンを押します。

- 参考**
- リモコンの ID は 1～254 まで登録できます。

- 4 **(ID SET)** ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

- 注意**
- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
  - リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。



## ●リモコン受光部設定

本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。

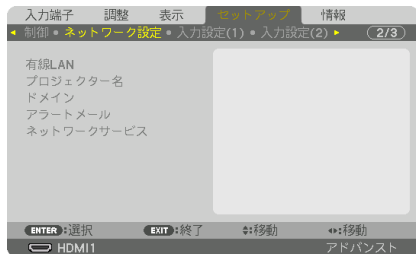
前側／後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。
HDBaseT	市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコン操作する場合に選択します。

- 注意**
- 「HDBaseT」に設定しているとき、本機に接続している HDBaseT 対応の伝送機器の電源が入っていると、本機のリモコンは受信できません。

- 参考**
- 本機を天井吊り設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。



# ネットワーク設定



## 重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の LAN ポートに Ethernet ケーブル (LAN ケーブル) を接続してください。(▶ 26 ページ)  
LAN ケーブルは、市販のカテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア (STP) ケーブルを使用してください。

## 参考

- ネットワーク設定で設定した内容は、「リセット」を行っても変更されません。

## 本機にLANの設定を行うヒント

### ● LAN の設定を行うには？ (設定を本機のメモリーに記憶するには？)

有線 LAN の「プロファイル」から、設定を記憶するプロファイル番号を選択します。本機では、2 とおりメモリーに記憶することができます。続いて、「DHCP」の有効／無効、「IP アドレス」、「サブネットマスク」などの設定後、「確定」にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。(▶ 134, 135 ページ)

### ● プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？

有線 LAN の「プロファイル」から呼び出すプロファイル番号を選択します。続いて「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。(▶ 134 ページ)

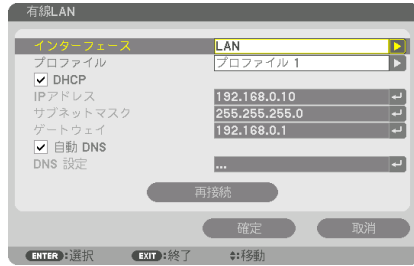
### ● DHCP サーバーに接続するには？

有線 LAN の「DHCP」にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。チェックマークが付きます。「DHCP」にカーソルを合わせ、もう一度(ENTER)ボタンを押すと、チェックマークが外れます。DHCP サーバーを使用せず直接 IP アドレスを設定する場合は、「DHCP」のチェックマークを外してください。(▶ 134 ページ)

### ● プロジェクターの各種のエラーを Eメールで受け取るには？

[アラートメール] メニューで [メール通知] にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。チェックマークが付きます。続いて、[差出人アドレス] や [SMTP サーバー名]、[宛先アドレス]などを設定し、「確定」にカーソルを合わせ(ENTER)ボタンを押します。(▶ 136 ページ)

## ●有線 LAN

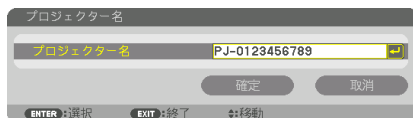


IP アドレスなど文字入力が必要な設定は、(ENTER)ボタンを押すと、文字入力画面を表示します。入力方法は [▶ 89 ページ](#) 「文字入力画面の使いかた」をご覧ください。

インターフェース	有線 LAN の接続に LAN ポートを使用する場合は「LAN」、HDBaseT ポートを使用する場合は「HDBaseT」を選択します。 HDBaseT ポートを使って有線 LAN を接続する場合は、3 分間通信がないと、接続機器からの制御ができなくなります。あらかじめスタンバイモードの設定を「スリープ」にしておくことでこれを回避できます ( <a href="#">▶ 141 ページ</a> )	—
プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>有線 LAN の設定を 2 とおり、本機のメモリーに記憶することができます。</li> <li>「プロファイル 1」、「プロファイル 2」を選択し、「DHCP」以下の項目の設定を行います。設定が終わったら、画面下の「確定」にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。設定内容が本機のメモリーに記憶されます。</li> <li>本機のメモリーに記憶した設定を呼び出す場合は、「プロファイル」から選んで画面下の「確定」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。</li> <li>有線 LAN と接続しないときは「無効」を選択します。</li> </ul>	—
DHCP	<p>本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、チェックマーク (☑) を付けます。自動的に割り当てられない場合は、チェックマークを付けずに、下の「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。</li> <li><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。</li> </ul>	—
IP アドレス	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。	12 文字

サブネットマスク	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。	12文字
ゲートウェイ	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	12文字
自動DNS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……DHCPサーバーによって、本機を接続するDNSサーバーのIPアドレスを自動的に設定します。</li> <li>・ <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……本機を接続するネットワークのDNSサーバーのIPアドレスを設定します。</li> </ul> <p>自動DNSはHDBaseTポートのみ設定可能です。</p>	12文字
DNS設定	「自動DNS」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのDNSサーバーのIPアドレスを設定します。	12文字
再接続	ネットワークの接続を試みます。「プロファイル」を変更したときなどに実行してください。	—

## ● プロジェクター名



プロジェクト名	本機のプロジェクト名を設定します。	1～16文字
---------	-------------------	--------

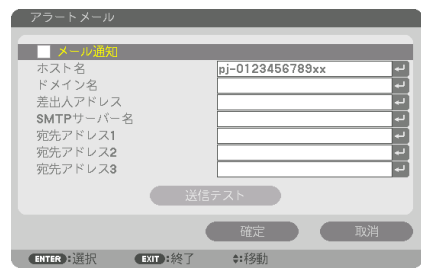
## ● ドメイン

本機のホスト名とドメイン名を設定します。



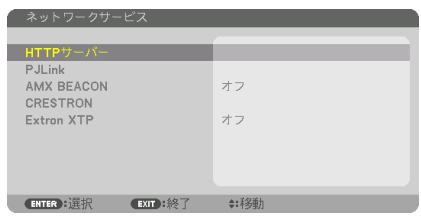
ホスト名	本機のホスト名を設定します。	最大16文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	最大60文字

## ●アラートメール



<p>メール通知</p>	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機に各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピューターなどへ通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。</li> <li>• <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。</li> </ul> <p>【本機から送信される Eメールの例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Subject: [Projector] Projector Information                      冷却ファンの回転が停止しています。                      [情報]                      プロジェクター名：XXXXX                      ライト使用時間：0000 [H]</p> </div>	<p>—</p>
<p>ホスト名</p>	<p>本機のホスト名を設定します。</p>	<p>最大 16 文字</p>
<p>ドメイン名</p>	<p>本機のドメイン名を設定します。</p>	<p>最大 60 文字</p>
<p>差出人アドレス</p>	<p>本機から E メールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。</p>	<p>最大 60 文字</p>
<p>SMTPサーバー名</p>	<p>本機が接続をするネットワークの SMTP サーバーを設定します。</p>	<p>最大 60 文字</p>
<p>宛先アドレス 1 宛先アドレス 2 宛先アドレス 3</p>	<p>本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。</p>	<p>最大 60 文字</p>
<p>送信テスト</p>	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定を確認してください。</li> <li>• 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。</li> </ul> </div>	<p>—</p>

## ●ネットワークサービス



パスワードなど文字入力が必要な設定は、(ENTER)ボタンを押すと、文字入力画面を表示します。入力方法は [88 ページ](#) 「文字入力画面の使いかた」をご覧ください。

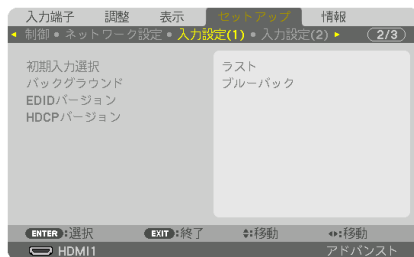
HTTPサーバー	HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。	最大 10 文字
PJLink	<p>PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合は設定を行います。                      パスワード：パスワードを設定します。                      クラス……………PJLink Class2 仕様の機能を使用する場合に                      「クラス 2」に設定します。                      デスティネーション… クラスを「クラス 2」に設定した場合に、                      通知先となる IP アドレスを入力します。</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● PJLink (ピージェイリンク) とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMIA) が制定したネットワーク (通信) インターフェース規格です。  <a href="http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html">http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html</a>                      本機は、PJLink class 1 のすべてのコマンドに対応しています。</li> <li>● 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。</li> <li>● パスワードは、「リセット」を行っても解除されません。</li> </ul>	最大 32 文字
AMX BEACON	<p>本機を AMX 社の NetLinX コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバーからダウンロードする仕組みです。</li> </ul> <p>オン……………AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。</p> <p>オフ……………AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。</p>	—

CRESTRON	<p>ROOMVIEW：コンピューターで制御する場合に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …ROOMVIEW を有効にします。</li> <li>・<input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) …ROOMVIEW を無効にします。</li> </ul> <p>CRESTRON CONTROL：コントローラーで制御する場合に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …CRESTRON CONTROL を有効にします。</li> </ul> <p>CONTROLLER IP ADDRESS：CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を入力します。 IP ID：CRESTRON SERVER の IP ID を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) …CRESTRON CONTROL を無効にします。</li> </ul>	<p>12文字 (この欄はIPアドレスが入ります。)</p>
Extron XTP	<p>本機を Extron 社の XTP トランスミッターに接続する場合に設定します。</p> <p>オン……XTP トランスミッターとの接続を有効にします。 オフ……XTP トランスミッターとの接続を無効にします。</p>	—

**参考**

- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。  
(英語のみ) <http://www.crestron.com>

## 入力設定 (1)



### ●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子の入力信号を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子の入力信号を投写します。
DisplayPort 1	DisplayPort 1 入力端子の入力信号を投写します。
DisplayPort 2	DisplayPort 2 入力端子の入力信号を投写します。
HDBaseT	HDBaseT の信号を投写します。
SDI1	SDI1 入力端子の入力信号を投写します。
SDI2	SDI2 入力端子の入力信号を投写します。
SDI3	SDI3 入力端子の入力信号を投写します。
SDI4	SDI4 入力端子の入力信号を投写します。
SLOT	SLOT（スロット）に装着している別売のオプションボードの信号を投写します。

### ●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

#### 参考

- ロゴとして表示する画像を変更する場合は [173 ページ](#)をご覧ください。
- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

## ● EDID バージョン

HDMI1 入力端子と HDMI2 入力端子の対応信号モードを切り替えます。

モード 1	標準的な映像信号に対応します。
モード 2	4K の映像信号に対応します。 4K の映像に対応している機器を使用して、4K の映像を表示するときを設定します。



**注意**

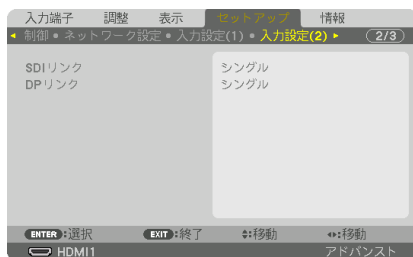
- 「モード 2」で映像や音声正常に出力されないときは、「モード 1」に設定してください。

## ● HDCP バージョン

HDMI1 入力端子、HDMI2 入力端子および HDBaseT ポートの HDCP バージョンを設定します。

HDCP2.2	HDCP2.2/HDCP1.4 を自動的に切り替えて動作します。
HDCP1.4	HDCP1.4 強制で動作します。

## 入力設定 (2)



## ● SDI リンク

SDI1/SDI2/SDI3/SDI4 入力端子に入力されている信号の表示方法を選択します。  
4K 信号を 4 本の SDI 接続で表示する場合は、クアッドに設定してください。

シングル	SDI1 入力と SDI2 入力と SDI3 入力と SDI4 入力を、それぞれシングルリンク (1 つの入力信号を使って 1 つの画面を表示) に設定します。
クアッド	SDI1 入力と SDI2 入力と SDI3 入力と SDI4 入力をクアッドリンク (4 つの入力信号を使って 1 つの画面を表示) に設定します。伝送方式が Square Division の場合に選択します。
クアッド (インターリーブ)	SDI1 入力と SDI2 入力と SDI3 入力と SDI4 入力をクアッドリンク (4 つの入力信号を使って 1 つの画面を表示) に設定します。伝送方式が 2 Sample Interleave の場合に選択します。
デュアル	SDI1 入力と SDI2 入力デュアル表示します。



**注意**

- クアッド、クアッド (インターリーブ)、デュアルリンクで表示する場合は、SDI1 入力を選択してください。



## ● DP リンク

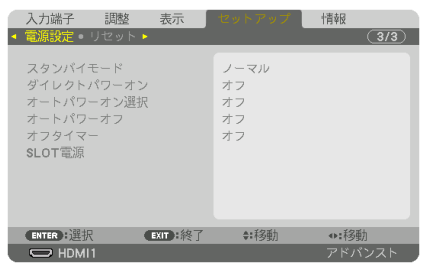
DisplayPort1/DisplayPort2 入力端子に入力されている信号の表示方法を選択します。

シングル	DisplayPort1 入力と DisplayPort2 入力を、それぞれシングルリンク（1つの入力信号を使って1つの画面を表示）に設定します。
デュアル	DisplayPort1 入力と DisplayPort2 入力デュアル表示します。



- デュアルリンクで表示する場合は、DisplayPort1 入力を選択してください。

## 電源設定



## ●スタンバイモード

本機の電源を切ったあとのスタンバイ設定を選択します。

ノーマル	本機の設定や接続機器の状態および継続時間などの条件によって、スタンバイの状態と消費電力が自動で変わります。(181 ページ)
スリープ	スリープ状態を維持します。ノーマルに比べて消費電力が上がります。HDBaseT ポートに市販のHDBaseT 対応の伝送機器を接続して、常に使用する場合などに選択します。



- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメーターのCO<sub>2</sub> 削減量の計算から除外しています。

## ●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択 (139 ページ) で設定している信号が投写されます。

## ●オートパワーオン選択

本機がスタンバイ状態のとき、各端子から入力される同期信号を検出して自動的に投写する設定です。

オフ	オートパワーオン機能は働きません。
HDMI1	選択した入力端子のコンピューター信号を感知すると本機の電源を自動で入れてコンピューター画面を投写します。
HDMI2	
DisplayPort 1	
DisplayPort 2	
HDBaseT	
SDI1	
SDI2	
SDI3	
SDI4	
SLOT	

### 注意

- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオン選択を働かせたい場合は、入力端子の信号を遮断、またはケーブルを抜いて、電源を切ったあと 3 秒以上待ってから、設定した信号を入力してください。
- HDBaseT ポート、SDI1/SDI2/SDI3/SDI4 入力端子、SLOT は、本機がスリープ状態のときのみ使用可能です。([▶ 181 ページ](#))

## ●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
0:05 / 0:10 / 0:15 / 0:20 / 0:30 / 1:00	設定した時間 (5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間) 以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

## ●オフタイマー

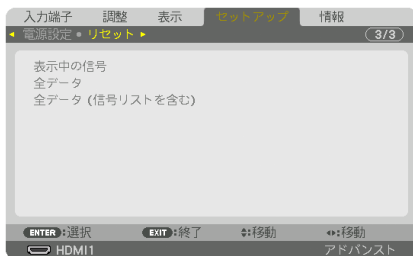
オフタイマーを設定しておく、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます (スタンバイ状態になります)。オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの緑色が長い点滅になります。

## ● SLOT 電源

本機に取り付けたオプションボード（別売）への電源を設定します。

プロジェクターオン	SLOT（スロット）に取り付けたオプションボード（別売）の電源の入／切を行います。
プロジェクタースタンバイ	本機がスタンバイ状態のとき、SLOT（スロット）に取り付けた別売のオプションボードに電源の供給を行うかどうかを設定します。

## リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

### ●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

**注意** ● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

### ●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

#### 【リセットされないデータ】

信号リスト・幾何学補正・エッジブレンディング・映像設定・マルチスクリーン・言語・スクリーンタイプ・ファンモード・基準ホワイトバランス・基準レンズメモリー・管理者モード・日付と時刻設定・本体キーロック・セキュリティ設定・通信速度・コントロールID・ネットワーク設定・バックグラウンド・EDIDバージョン・HDCPバージョン・SDIリンク・DPリンク・オフタイマー・ライト使用時間

### ●全データ（信号リストを含む）

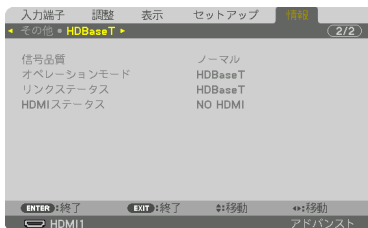
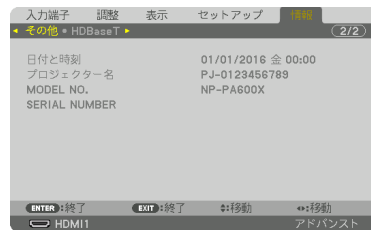
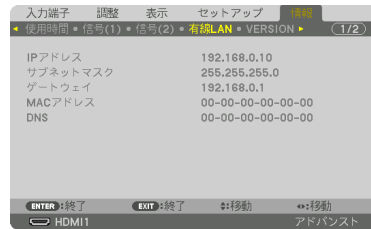
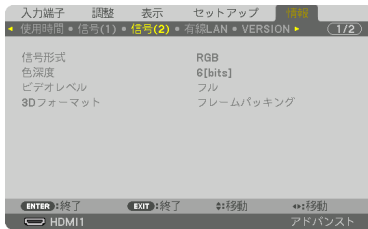
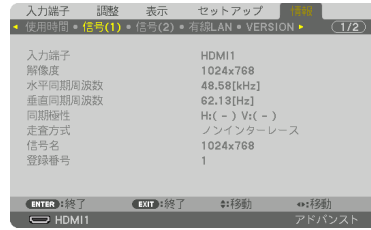
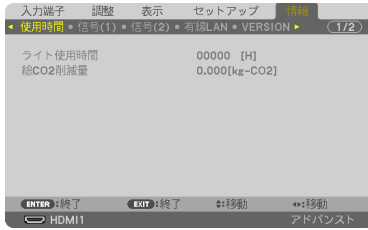
信号リストに登録されている内容を含め、すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

#### 【リセットされないデータ】

幾何学補正・エッジブレンディング・映像設定・マルチスクリーン・言語・スクリーンタイプ・ファンモード・基準ホワイトバランス・基準レンズメモリー・管理者モード・日付と時刻設定・本体キーロック・セキュリティ設定・通信速度・コントロールID・ネットワーク設定・バックグラウンド・EDIDバージョン・HDCPバージョン・SDIリンク・DPリンク・オフタイマー・ライト使用時間

**注意** ● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

## 5-7. 情報



ライト使用時間、有線LANのアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- ・ 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(163 ページ) もあわせてご覧ください。

## 6. 機器と接続する

### 6-1. レンズユニット(別売)を取り付ける

本機は8種類の別売レンズユニットが使用できます。ここではNP18ZL-4K(標準ズーム)のレンズユニットで説明します。他のレンズユニットも同じ方法で取り付けてください。レンズの仕様は [166 ページ](#) をご覧ください。

レンズユニットを本機に取り付けたとき、またはレンズユニットを交換したときは、本体の(CALIBRATION)ボタンを押すか、リモコンの(CTL)ボタンを押したまま(INFO/L-CALIB.)ボタンを押して、「レンズキャリブレーション」を実行してください。

([▶37, 125 ページ](#))

レンズキャリブレーションを行うことにより、レンズメモリーのズーム、フォーカス、レンズシフトの調整範囲を校正します。

※キャリブレーションが必要なレンズユニットの型名

NP16FL-4K/NP17ZL-4K/NP18ZL-4K/NP19ZL-4K/NP20ZL-4K/NP21ZL-4K/  
NP31ZL-4K



#### 警告

レンズユニットの着脱は(1)電源を切る操作をし、冷却ファンが停止するのを待つ、(2)主電源スイッチを切る、(3)電源コンセントを抜いて、本体が十分冷えてから行ってください。投写状態で行うと目の障害、感電やけなどの原因となります。

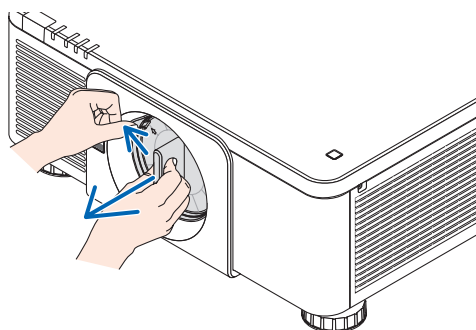


#### 重要

- プロジェクターおよびレンズユニットは精密部品でできています。衝撃をあたえたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 別売のレンズユニットを装着しているときに本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃をあたえると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。
- プロジェクターからレンズユニットを取り外す際は、プロジェクターの電源を切る前にレンズ位置をホームポジションに戻してください。ホームポジションに戻していないと、プロジェクターとレンズユニットの隙間が狭くなり、取り外しおよび取り付けの障害になります。
- 作業中、レンズ面には絶対に手を触れないでください。
- レンズ面にゴミや油などが付着しないよう、また、傷が付かないように十分ご注意ください。
- 作業は平らな場所で、傷が付かないように布などを敷いて行ってください。
- 長時間レンズユニットを外しておく場合は、防塵キャップを本体に取り付け、ほこりやゴミが内部に入らないようにしてください。レンズユニットを取り外したままにしておくなど光学ユニット内部にほこりなどが入り光学部品が損傷したり画質が低下するおそれがあります。
- 本書に記載している以外の型名のレンズユニットを本機に取り付けることはできません。

## レンズユニットを取り付ける

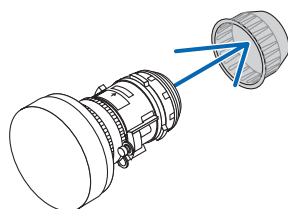
- 1** 本体の防塵キャップを外す。  
 左上のつまみを外側に向けて押しながら、中央のつまみを引いて外してください。



- 2** レンズユニット後ろのレンズキャップを外す。

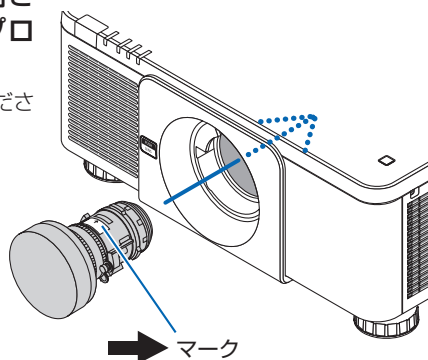
・レンズユニット NP18ZL-4K で説明しています。

- 注意** ● 後ろのレンズキャップは必ず取り外してください。後ろのレンズキャップを取り付けたまま本体に取り付けると故障の原因となります。

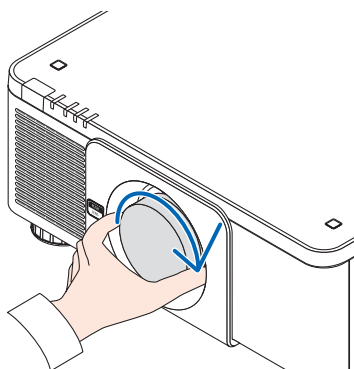


- 3** レンズユニットの矢印マークが印刷されているラベル面を上に向けて、プロジェクター本体に挿入する。

角度を維持したままゆっくり奥まで挿入してください。

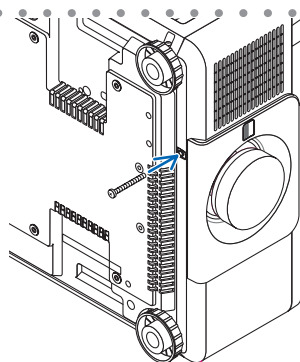


- 4** レンズユニットを右に回す。  
 カチッと音がするまで回します。  
 レンズユニットがプロジェクター本体に固定されず。



**参考**

- レンズユニット盗難防止用ネジの取り付けかた  
 レンズユニットを簡単に取り外されないように  
 する場合は、本機に添付のレンズユニット盗難  
 防止用ネジを使って、本体とレンズユニットを  
 ネジ止めます。



## レンズユニットを取り外す

### レンズを取り外す前の準備

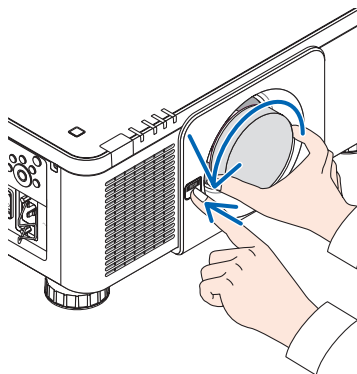
1. プロジェクターの電源を入れ投写状態にしてください。(▶36 ページ)
2. 本体の(SHIFT/HOME)ボタンを長押し(約2秒以上)押ししてください。  
 レンズ位置がホームポジションに戻ります。
3. 電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。(▶52 ページ)
4. しばらく待って、本体が十分に冷えたことを確認してください。

### 1 プロジェクター本体前面のレンズリリース (LENS) ボタンを奥まで押し込みながら、レンズを左に回す。

レンズユニットが外れます。

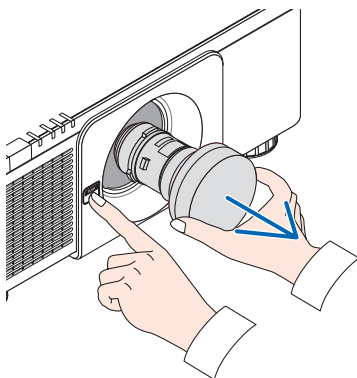
**注意**

- レンズリリース (LENS) ボタンを押してもレンズユニットを取り外せない場合は、レンズユニット盗難防止用ネジが取り付けられていないか確認してください。



### 2 プロジェクター本体からレンズユニットをゆっくり引き出して、レンズリリース (LENS) ボタンを離す。

- ・ 外したレンズユニットはレンズユニットに添付していたレンズキャップ(前と後)を取り付けてから保管してください。
- ・ レンズユニットを取り付けないときは、本体に添付の防塵キャップを取り付けてください。





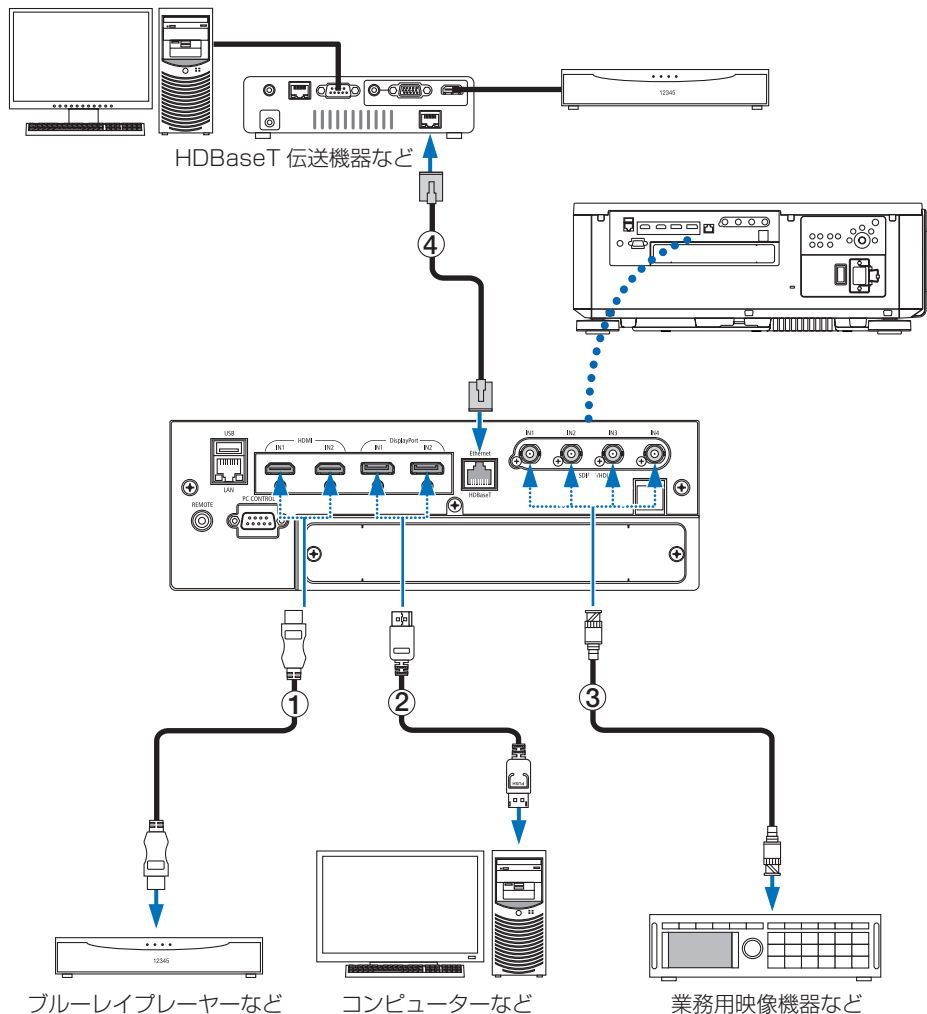
## 6-2. 外部機器と接続する

外部機器との接続例です。  
 接続ケーブルは添付していません。接続に合ったケーブルをご用意ください。



**注意**

HDMI、DisplayPort、BNC、LAN ケーブルは、シールドタイプを使用してください。  
 シールドなしのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。



## ① HDMI ケーブル（市販）

- 認証済みの HIGH SPEED ケーブルまたは ETHERNET 対応 HIGHSPEED ケーブルを使用してください。
- 本機の HDMI 1 入力および HDMI 2 入力端子にブルーレイプレーヤーを接続している場合に、ブルーレイプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの調整→ビデオ→ビデオレベルで設定します。ブルーレイプレーヤーのビデオレベルの設定については、ブルーレイプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は HDCP（不正コピー防止を目的とする著作権保護用システム）を装備しています。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していても、HDMI 1 入力および HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

## ② DisplayPort ケーブル（市販）

- 認証済み CERTIFIED ケーブルを使用してください。



## ③ BNC ケーブル（市販）

- 5C-FB 以上（5C-FB、7C-FB など）または Belden 1694A 以上のケーブルを使用してください。また、ケーブルの長さは 100m 以下のものを使用してください。
- 信号によって使用できるケーブルの長さが変わる場合があります。

## ④ LAN ケーブル（市販）

- カテゴリー 5e 以上のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。
- 本機の HDBaseT ポートは、伝送機器からの HDMI 信号（HDCP 対応）、外部機器からの制御信号（シリアル、LAN）、リモコン信号（IR コマンド）に対応しています。
- LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です（4K 信号の場合は最長 70m）。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

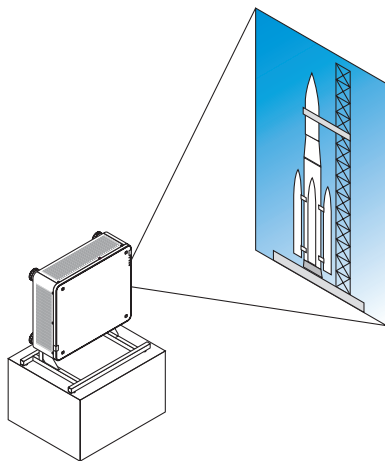
- 本機の電源を入れたあとに、接続端子に応じた入力を選択してください。

接続端子	本体操作部のボタン	リモコンのボタン	備考
HDMI 1/2 入力端子	(HDMI 1/2)	(HDMI)	押すごとに HDMI1 と HDMI2 を切り替えます。
DisplayPort 1/2 入力端子	(DisplayPort 1/2)	(DisplayPort)	押すごとに DisplayPort1 と DisplayPort2 を切り替えます。
SDI 1/2/3/4 入力端子	(SDI)	(AUX)	押すごとに SDI1、SDI2、SDI3、SDI4 を切り替えます。
HDBaseT ポート	(HDBaseT/SLOT)	(NETWORK)	本体操作部のボタンは、押すごとに HDBaseT と SLOT を切り替えます。

## 6-3. ポートレート（縦向き）投写をする

本機を縦向きに設置することでコンピューターなどのポートレート画面を投写することができます。

オンスクリーン表示（メニュー、入力端子、メッセージ）の向きは、オンスクリーンメニューのセットアップ→メニュー設定(2)→メニュー角度で設定できます。



### 設置上のご注意

- 床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。また、吸気口が塞がれて内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。
- 吸気の確保や転倒防止のために、本体を支えるスタンドを必ず製作してください。このとき本体の重心がスタンド脚の内側に十分入る様に設計してください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。
- 吸気口を下向きにして設置すると、光学部品の寿命が短くなります。

### スタンド設計製作の条件

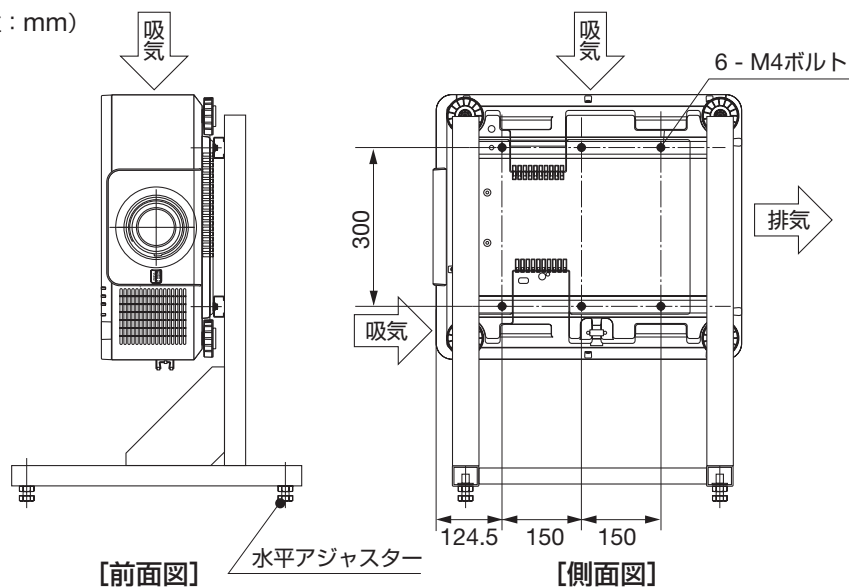
専用のスタンドをプロジェクター設置業者にご依頼ください（有料）。設計に際しては次のことをご守りください。

- 本体の底面に3箇所の通風口があります。塞がないように設計してください。
- 本体背面にある6箇所のネジ穴を使ってスタンドと固定してください。  
ネジ穴センター寸法：300×300（ピッチ=150）mm  
本体のネジ穴寸法：M4 ネジ最大深さ 16mm  
4箇所のチルトフットは回して外すことができます。
- 水平調整機構（たとえばボルトとナット：4箇所）
- スタンドは容易に転倒しないよう設計してください。

### 参考図

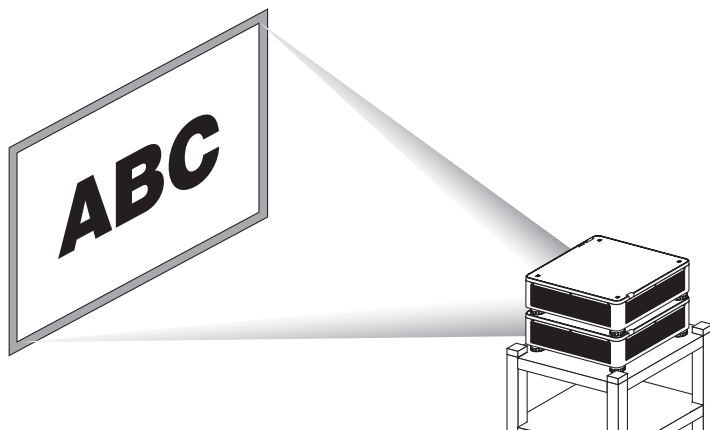
※ 寸法条件を表す図で、実際のスタンド設計図ではありません。

(単位 : mm)



## 6-4. プロジェクターをスタック設置して投写する

プロジェクターを上下に積んで同じ映像を重ねてスクリーンに投写することにより、さらに輝度を上げることができます。これを「スタック投写」と呼びます。本機は、2台のプロジェクターを上下に積む「スタック設置」に対応しています。



### 注意

- 本機を持ち上げる際は、2人以上で行ってください。1人で持ち上げた場合、けがや腰痛の原因となることがあります。
- 本機を持ち上げる際に、取っ手以外の部分を持たないでください。落下してけがの原因となることがあります。

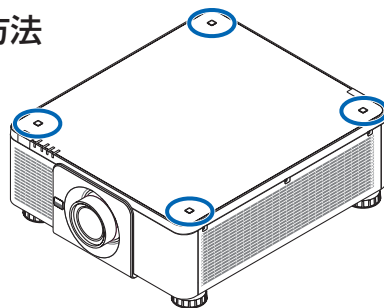
### 注意

- 異なった型名のプロジェクターを混在してスタック設置することはできません。また、別売のレンズユニットは同じ型名のものを使用してください。
- スタック設置する際は、下側のプロジェクターの天面に添付のスタッキングホルダー（4個）を取り付けてください。[\(▶次ページ\)](#)
- 本機のスタック投写は、細かい文字やCADなどの画像が完全に重なるような精度はありません。
- スタック投写する場合は、あらかじめ市販の信号分配器をお買い求めください。
- 設置上のご注意
  - ・ 設置や調整はサービスマンにご依頼ください。
  - ・ スタック設置の場所や構造物は、本機2台分の質量に長期間耐えうる強度を確保してください。本機1台の質量は、最大約34kg（レンズユニットを含む）です。
  - ・ 地震などによる転倒防止対策を十分に施してください。
  - ・ 本機を2台使用すると、より高温になります。室内の温度管理を十分行ってください。
  - ・ 天井にスタック設置することはできません。
  - ・ 最適な状態で使用するためには、1時間程度のウォームアップが必要です。
  - ・ スタック設置した場合、上側のプロジェクターは、下側のプロジェクターのチルトフット調整量がプラスされます。上側のプロジェクターの姿勢が仕様範囲を超えないように注意してください。
  - ・ レンズユニットは、ズームの+（ワイド）側と-（テレ）側で幾何学歪みが異なります。できるだけ歪みが小さくなるズーム位置を選んで設置してください。
  - ・ 横方向のレンズシフト位置はセンターに合わせてください。

## ●スタッキングホルダーの取り付け方法

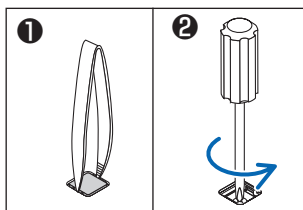
下側のプロジェクターの天面に取り付けます。

**準備**：プラスドライバーと添付のスタッキングホルダー 4 個を用意してください。  
プロジェクターのチルトフット（4 箇所）を縮めてください。



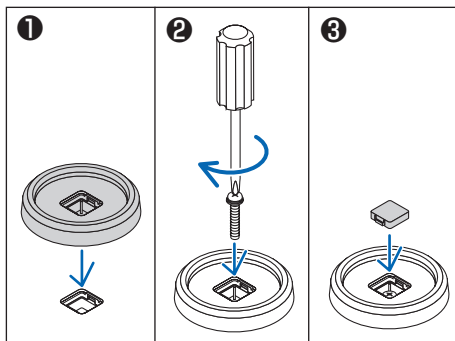
### 1 ゴムキャップとネジを外す（4 箇所）

- ① 爪やピンセットでゴムキャップを押さえ持ち上げると外れます。
- ② ネジを左へ回して取り外します。



### 2 スタッキングホルダーを取り付ける（4 箇所）。

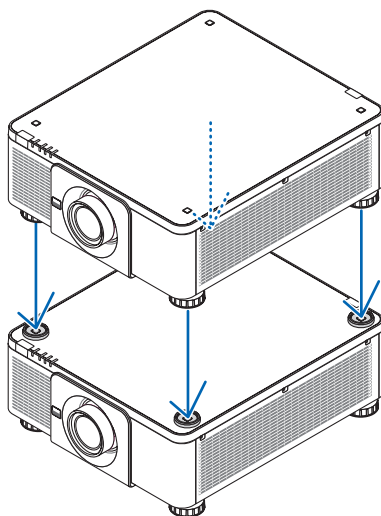
- ① スタッキングホルダーを差し込みます。  
・どの向きでもかまいません。
- ② 外したネジを使い右へ回して締め付けます。
- ③ 外したゴムキャップをスタッキングホルダーに差し込みます。  
・ゴムキャップにある爪部を左右の角穴に挿入してください。



### 3 プロジェクターをのせる。

スタッキングホルダーにプロジェクターのチルトフット（4 箇所）をのせてください。

- 参考**
- スタッキングホルダーを取り外す場合は、上記の手順を逆に行ってください。



# 7. 本体のお手入れ

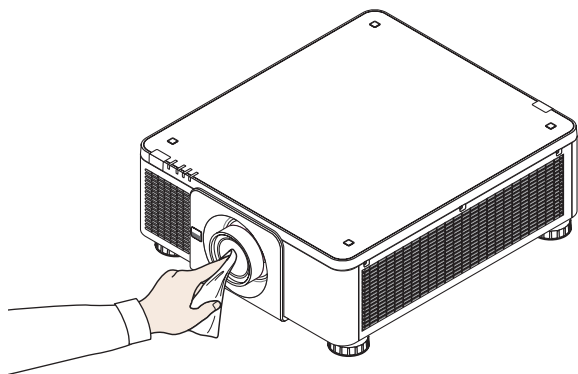
## 7-1. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



**警告**

- レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。



## 7-2. キャビネットの清掃

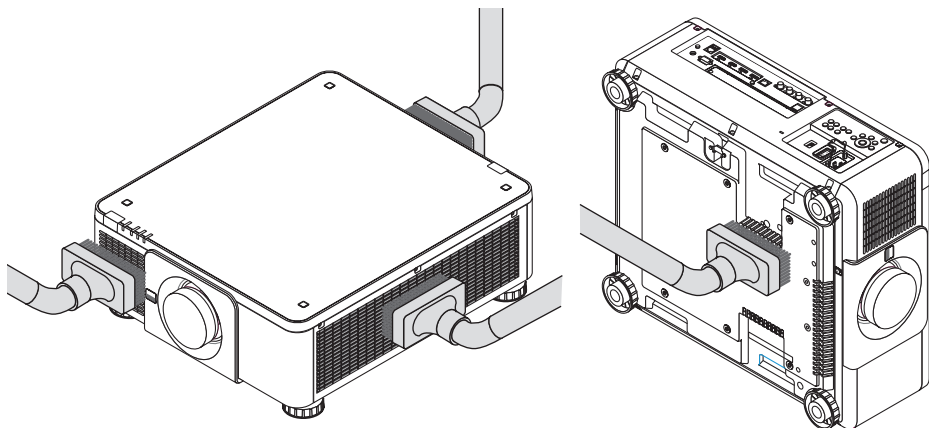


### 警告

キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。  
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口（本体底面にもあります）にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

### 注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。  
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげなどの原因となります。



# 8. 付 録

## 投写距離とスクリーンサイズ

本機は 8 種類の別売レンズユニットが使用できます。

このページの情報を参考にして、設置環境（スクリーンサイズと投写距離）に応じたレンズユニットをお使いください。また、レンズユニットの取り付け方法は、[▶ 148 ページ](#)をご覧ください。

### レンズユニットの種類と投写距離

#### ● NP16FL-4K/NP17ZL-4K/NP18ZL-4K/NP19ZL-4K/ NP20ZL-4K/NP21ZL-4K/NP31ZL-4K



- 記載している投写距離は、各レンズユニットの先端から投写画面までの距離を示します。

単位：m

スクリーン サイズ	レンズユニットの型名						
	NP16FL-4K	NP17ZL-4K	NP18ZL-4K	NP19ZL-4K	NP20ZL-4K	NP21ZL-4K	NP31ZL-4K
50型	0.8	1.4～1.9	1.9～2.5	2.4～4.0	3.9～5.9	5.7～9.0	0.8～1.0
70型	1.2	1.9～2.7	2.6～3.5	3.4～5.7	5.5～8.3	8.1～12.8	1.1～1.4
100型	1.7	2.8～3.9	3.8～5.0	4.9～8.1	7.9～11.9	11.7～18.4	1.7～2.1
120型	2.0	3.3～4.7	4.6～6.0	5.9～9.8	9.5～14.3	14.1～22.1	2.0～2.5
150型	2.6	4.2～5.9	5.7～7.5	7.4～12.2	11.9～17.9	17.7～27.7	2.5～3.1
180型	3.1	5.0～7.1	6.9～9.1	8.9～14.7	14.3～21.5	21.3～33.3	3.0～3.8
200型	3.4	5.6～7.9	7.7～10.1	9.8～16.4	15.9～23.9	23.7～37.1	3.3～4.2
250型	4.3	7.0～9.9	9.6～12.6	12.3～20.5	19.9～29.9	29.7～46.4	4.2～5.2
300型	5.2	8.4～11.9	11.5～15.1	14.8～24.6	23.9～36.0	35.6～55.7	5.0～6.3

#### 参考

- 画面サイズからの投写距離計算法

NP16FL-4K レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 0.76$  : 0.8m (最小) ～ 5.2m (最大)

NP17ZL-4K レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 1.24 \sim H \times 1.78$  : 1.4m (最小) ～ 11.9m (最大)

NP18ZL-4K レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 1.71 \sim H \times 2.25$  : 1.9m (最小) ～ 15.1m (最大)

NP19ZL-4K レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 2.20 \sim H \times 3.67$  : 2.4m (最小) ～ 24.6m (最大)

NP20ZL-4K レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 3.54 \sim H \times 5.36$  : 3.9m (最小) ～ 36.0m (最大)

NP21ZL-4K レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 5.25 \sim H \times 8.28$  : 5.7m (最小) ～ 55.7m (最大)

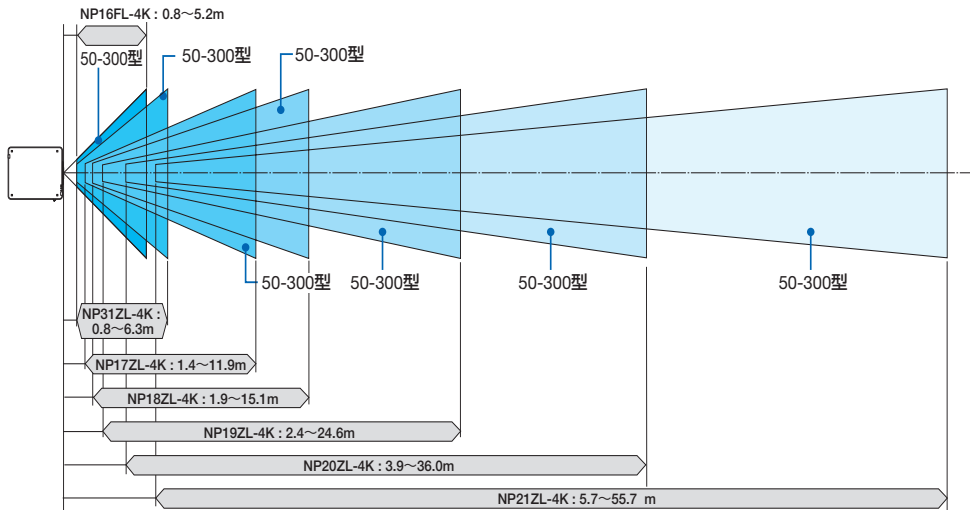
NP31ZL-4K レンズユニットの投写距離 (m) =  $H \times 0.74 \sim H \times 0.93$  : 0.8m (最小) ～ 6.3m (最大)

H (Horizontal) はスクリーン幅の寸法です。

※ 簡易計算式のため数%の誤差があります。

(例) レンズユニット NP18ZL-4K を使用して 100 型スクリーンに投写する場合の投写距離「スクリーンサイズと寸法表」([▶ 159 ページ](#)) の表より、H (スクリーン幅) = 221.3cm (約 2.21m) となります。

投写距離は、 $2.21\text{m} \times 1.71 \sim 2.21\text{m} \times 2.25 \approx 3.8\text{m} \sim 5.0\text{m}$  となります (ズームレンズのため)。

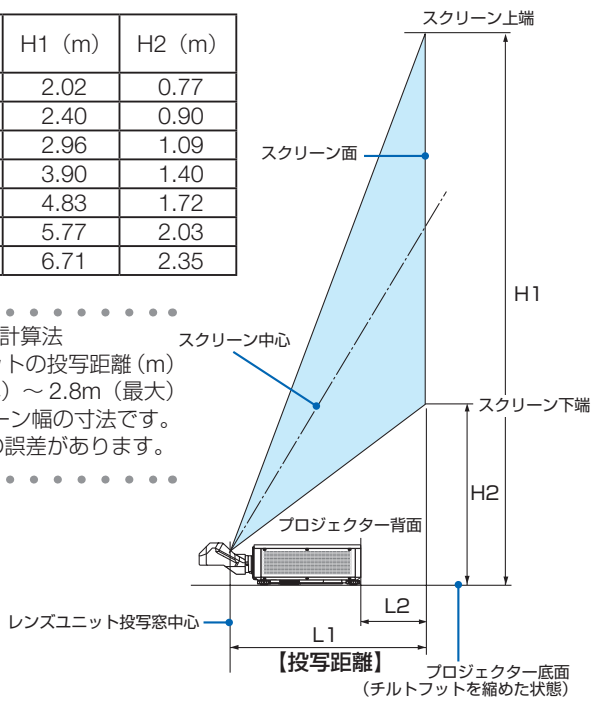


## ● NP39ML-4K

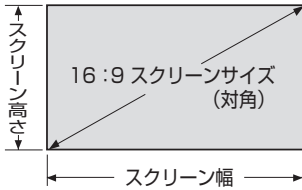
**注意** ● 記載している投写距離は、レンズユニット投写窓中心から投写画面までの距離を示します。

スクリーンサイズ	投写距離 L1 (m)	L2 (m)	H1 (m)	H2 (m)
100 型	0.83	-0.01	2.02	0.77
120 型	0.99	0.15	2.40	0.90
150 型	1.22	0.38	2.96	1.09
200 型	1.60	0.76	3.90	1.40
250 型	1.99	1.15	4.83	1.72
300 型	2.37	1.53	5.77	2.03
350 型	2.76	1.92	6.71	2.35

**参考** ● 画面サイズからの投写距離計算法  
 NP39ML-4K レンズユニットの投写距離 (m)  
 = H × 0.38 : 0.8m (最小) ~ 2.8m (最大)  
 H (Horizontal) はスクリーン幅の寸法です。  
 ※ 簡易計算式のため数%の誤差があります。



## スクリーンサイズと寸法表



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
40	88.5	49.9
50	110.6	62.3
60	154.9	87.3
90	199.2	112.2
100	221.3	124.7
120	265.6	149.6
150	331.9	187.0
180	398.3	224.4
200	442.6	249.4
220	486.8	274.3
250	553.2	311.7
280	619.6	349.1
300	663.9	374.0
320	708.1	399.0
350	774.5	436.4
400	885.2	498.7
450	995.8	561.1
500	1106.5	623.4

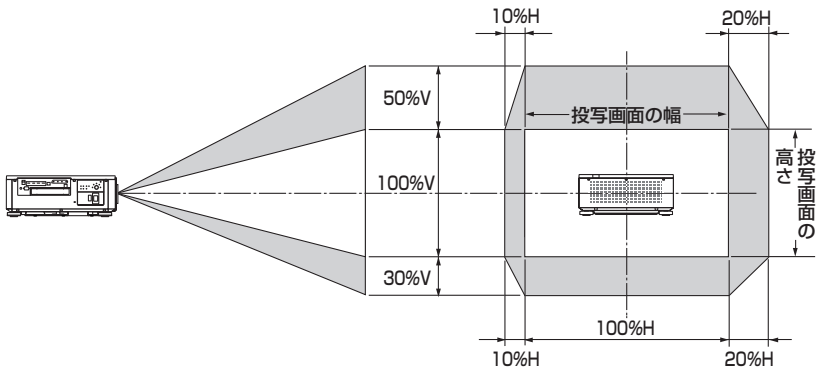
## レンズシフト範囲

本機にはボタン操作で画面位置を調整するレンズシフト機能 (🔗 43 ページ) があります。次の範囲内のレンズシフトができます。

### 注意

- ポートレート投写を行う場合は、レンズシフト機能は使用しないでください。  
レンズユニット NP16FL-4K/NP17ZL-4K/NP18ZL-4K/NP19ZL-4K/NP20ZL-4K/NP21ZL-4K/NP31ZL-4K の場合は、センターで使用してください。  
レンズユニット NP39ML-4K の場合は、オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [設置 (2)] → [レンズポジション] → [種類] を実行した最適な位置で使用してください。

記号の意味：V は垂直（投写画面の高さ）、H は水平（投写画面の幅）を表し、  
レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。



※天吊り設置の場合もレンズシフト範囲は同じです。

(計算例) 150 インチで投写している場合  
「スクリーンサイズと寸法表」 (🔗 159 ページ) のスクリーン表により  $H=331.9\text{cm}$ 、 $V=187.0\text{cm}$  になります。

垂直方向の調整範囲：上方向  $0.5 \times 187.0\text{cm} = 93.5\text{cm}$ 、下方向  $0.3 \times 187.0\text{cm} = 56.1\text{cm}$  投写画面を移動することができます（レンズが中心位置の場合）。

水平方向の調整範囲：左方向  $0.1 \times 331.9\text{cm} \doteq 33.2\text{cm}$ 、右方向  $0.2 \times 331.9\text{cm} \doteq 66.4\text{cm}$  投写画面を移動することができます（レンズが中心位置の場合）。

※ 簡易計算式のため数%の誤差があります。

# オプションボードの取り付け方法（別売）

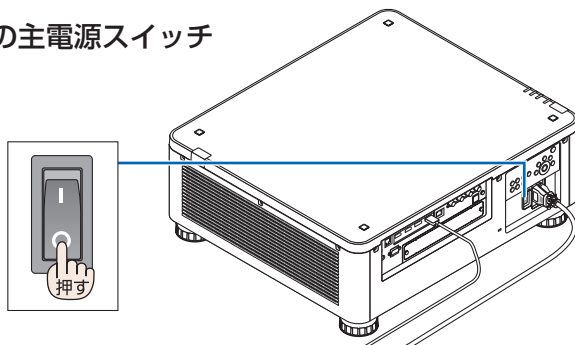


**注意**

- オプションボードの取り付け／取り外しは、必ずプロジェクター電源を切り冷却ファン停止後、主電源スイッチを切ってから行ってください。プロジェクターの主電源スイッチを切らずに行うと、感電の原因となることがあります。

準備：プラスドライバーを用意してください。

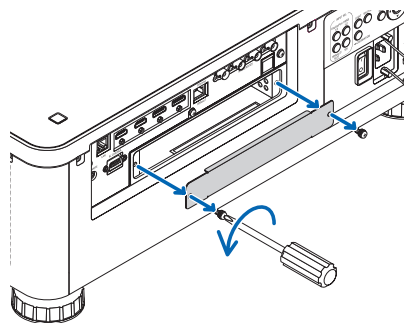
## 1 プロジェクター本体の主電源スイッチを切る。



## 2 プロジェクターの接続端子部にある SLOT（スロット）のネジ（2箇所）をゆるめ、ネジとパネルを外す。

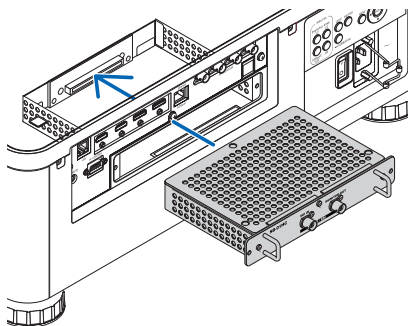


- 外したネジとパネルは大切に保管しておいてください。



## 3 オプションボードをスロットに挿入する。

オプションボードの表示向きを本体に合わせてください。上下の向きを間違えるとコネクターが本体と接続されません。



#### 4 手順2で外した左右2箇所のネジをしめてオプションボードを固定する。

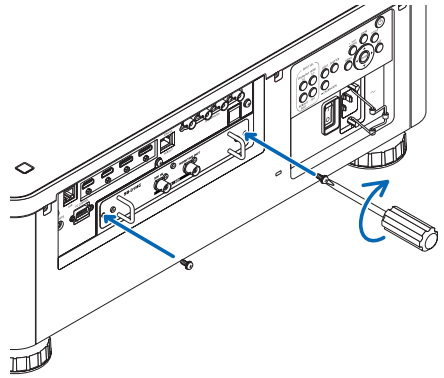
- ネジは確実にしめてください。

これで、取り付けが終わりました。

オプションボードの入力信号は本機側の入力選択でSLOTを選択してください。

#### 注意

- オプションボードによっては、プロジェクターがスタンバイ状態になっても、ボードを冷却するためファンが回転する場合があります。また、動作時のファンの回転数も上昇する場合があります。故障ではありません。



# 対応解像度一覧

## HDMI / HDBaseT

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768 <sup>*1</sup>	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10	60 Reduced Blanking
2K	2048 × 1080	17 : 9	60
WQHD iMac 27"	2560 × 1440	16 : 9	60
WQXGA	2560 × 1600	16 : 10	60 Reduced Blanking
4K	3840 × 2160 <sup>*2</sup>	16 : 9	23.98/24/25/29.97/30/50 <sup>3</sup> /60 <sup>3</sup>
	4096 × 2160	17 : 9	23.98/24/25/29.97/30/50 <sup>3</sup> /60 <sup>3</sup>
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30/50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	48/50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480i/p)	720/1440 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i/p)	720/1440 × 576	4:3 / 16:9	50

## DisplayPort

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
	1366 × 768 <sup>*1</sup>	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200	4 : 3	60

次ページに続く

Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10	60 Reduced Blanking
2K	2048 × 1080	17 : 9	60
WQHD iMac 27"	2560 × 1440	16 : 9	60
WQXGA	2560 × 1600	16 : 10	60 Reduced Blanking
4K	3840 × 2160 <sup>*2</sup>	16 : 9	23.98/24/25/29.97/30/50/60
	4096 × 2160	17 : 9	23.98/24/25/29.97/30/50/60
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720/1440 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720/1440 × 576	4:3 / 16:9	50

## SDI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HD-SDI(1035i)	1920 × 1035	16 : 9	60
HD-SDI(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HD-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24pSF
HD-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30
HD-SDI(720p)	1280 × 720	16 : 9	24/25/30/50/60
3G-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
3G-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/25/30
3G-SDI(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24pSF
3G-SDI(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
Quad SDI	3840 × 2160 <sup>*2</sup>	16 : 9	24/25/30/50/60
Quad SDI	4096 × 2160	17 : 9	24/25/30/50/60

\*1: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16 : 9」に設定してください。

\*2: リアル表示

\*3: HDBaseT は対応していません。

- 本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。
- アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色かにじんだりする場合があります。
- 出荷時はその表示解像度/周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が必要な場合があります。



## 仕様

型名	NP-PX1005QL-BJD			
方式	1 チップ DLP 方式			
主要部品仕様	DMD パネル	サイズ	0.66 型、アスペクト比 16:9	
		画素数 <sup>(*)1</sup>	4,150,047 画素 (2716ドット × 1528ライン)	
	投写レンズ		投写レンズ仕様 (別売) をご覧ください。( <a href="#">次ページ</a> )	
	光源	レーザーダイオード		
光学装置		カラーフィルター回転による色分離		
表示解像度		8,294,400 画素 (3840 ドット × 2160 ライン)		
明るさ <sup>(*)2</sup> <sup>(*)3</sup>		AC200V 時 : 10,000lm、AC100V 時 : 9,000lm		
コントラスト比 <sup>(*)2</sup> (全白/全黒)		10,000:1 (ダイナミックコントラスト「オン」のとき)		
画面サイズ (投写距離)		「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。 ( <a href="#">157 ページ</a> )		
色再現性		10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色)		
走査周波数	水平	デジタル : 15KHz、24 ~ 153KHz VESA 準拠		
	垂直	デジタル : 24, 25, 30, 48Hz、50 ~ 85Hz、100, 120Hz VESA 準拠		
主な調整機能		電動ズーム、電動フォーカス、電動レンズシフト、入力信号切替 (HDMI/DisplayPort/SDI/HDBaseT/SLOT)、画像自動調整、画面拡大、ミュート (映像)、電源オン/スタンバイ、オンスクリーン表示/選択など		
最大表示解像度 (横 × 縦)		デジタル : 4096 × 2160 (アドバンスド・アキュブレンドによる対応)		
入出力端子	HDMI	映像入力	HDMI <sup>®</sup> コネクタタイプ A × 2 Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット対応 Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422、YCbCr420、REC2020、REC709、REC601 対応 HDCP 対応 <sup>(*)4</sup> 、4K 対応、HDR 対応	
	DisplayPort	映像入力	DisplayPort × 2 データレート : 5.4Gbps/2.7Gbps/1.62Gbps レーン数 : 1レーン/2レーン/4レーン Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット対応 Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422、REC709、REC601 対応 HDCP 対応 <sup>(*)4</sup> 、4K 対応	
	Ethernet/HDBaseTポート	映像入力	RJ-45 × 1、100BASE-TX 対応 Deep Color (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット対応 Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422、YCbCr420、BT2020、REC709、REC601 対応 HDCP 対応 <sup>(*)4</sup> 、4K 対応	
	SDI (3G/HD)	映像入力	BNC × 4 入力信号 : SMPTE259M、SMPTE292M、SMPTE424M Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応	
	PC コントロール端子		D-Sub 9 ピン × 1	
	USB ポート		USB タイプ A × 1	
LAN ポート		RJ-45 × 1、10BASE-T/100BASE-TX 対応		
リモート端子		ステレオミニジャック × 1		
SLOT		別売オプション搭載用		

型名	NP-PX1005QL-BJD		
使用環境 (*5)	動作温度 :5 ~ 40℃		
	動作湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)		
	保存温度 : - 10 ~ 60℃		
	保存湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)		
			動作高度 : 0 ~ 3000m
電源	AC 100-240V 50/60Hz (*6)		
消費電力	基準ライトモード	ノーマル時	1048W (100-130V)、1222W (200-240V)
		エコ1時	1006W (100-130V)、977W (200-240V)
	スタンバイモード	エコ2時	660W (100-130V)、646W (200-240V)
		ネットワーク有効時	0.88W (100-130V)、0.92W (200-240V)
		ネットワーク無効時	0.33W (100-130V)、0.35W (200-240V)
定格入力電流	12.8 - 5.5A		
外形寸法	500 (幅) × 211 (高) × 577 (奥行) mm (突起部含まず)		
	500 (幅) × 216 (高) × 583 (奥行) mm (突起部含む)		
質量	31.2kg (レンズユニット含まず)		

(\* 1) : 有効画素数は 99.99% です。

(\* 2) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

(\* 3) : 別売のレンズユニット (NP18ZL-4K) を装着し基準ライトモードが「ノーマル」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。

基準ライトモードを「エコ1」または「エコ2」にすると明るさが低下します (エコ1:約 80%、エコ2:約 50%)。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(\* 4) : HDCP/HDCP 技術とは?

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI、HDBaseT を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機の DisplayPort 1/2 入力端子、HDMI 1/2 入力端子、HDBaseT ポートは、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していても、DisplayPort 1/2 入力端子、HDMI 1/2 入力端子、HDBaseT ポートの映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット

HDMI : HDCP 1.4/2.2 に対応

DisplayPort : HDCP 1.4 に対応

HDBaseT : HDCP 1.4/2.2 に対応

(\* 5) : 標高と温度により「強制エコモード」になります。 (59 ページ)

(\* 6) : 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品。

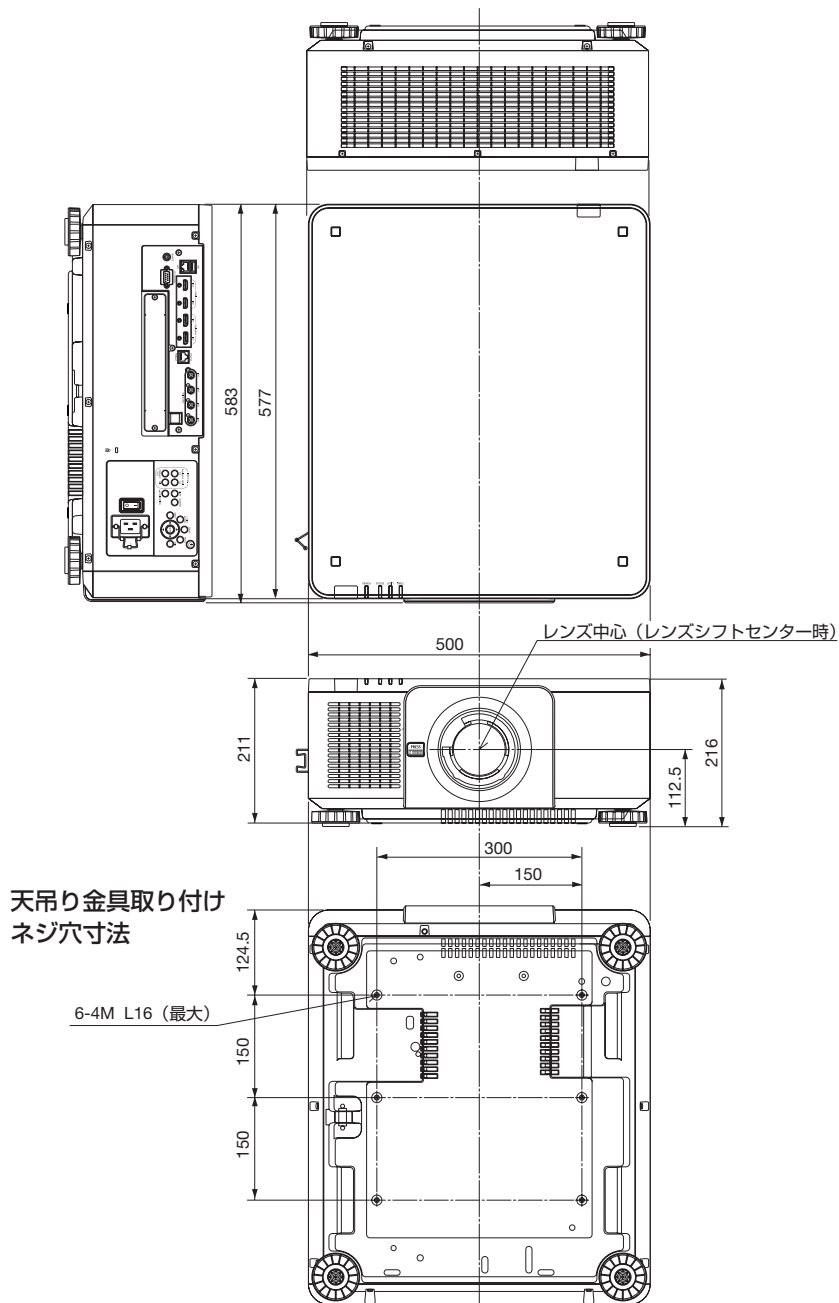
・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

## ●投写レンズ仕様 (別売)

NP16FL-4K	電動フォーカス (投写比 0.76 : 1、F1.85、f=11.6mm)
NP31ZL-4K	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 0.74 ~ 0.93 : 1、F 1.96 ~ 2.30、f=11.3 ~ 14.1 mm)
NP17ZL-4K	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 1.24 ~ 1.78 : 1、F1.85 ~ 2.50、f=18.7 ~ 26.5mm)
NP18ZL-4K	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 1.71 ~ 2.25 : 1、F1.70 ~ 1.90、f=26.0 ~ 34.0mm)
NP19ZL-4K	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 2.20 ~ 3.67 : 1、F1.86 ~ 2.48、f=32.9 ~ 54.2mm)
NP20ZL-4K	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 3.54 ~ 5.36 : 1、F1.85 ~ 2.41、f=52.8 ~ 79.1mm)
NP21ZL-4K	電動レンズシフト、電動ズーム、電動フォーカス (投写比 5.25 ~ 8.28 : 1、F1.85 ~ 2.48、f=78.5 ~ 121.9mm)
NP39ML-4K	電動フォーカス (投写比 0.38 : 1、F2.0、f=5.64mm)

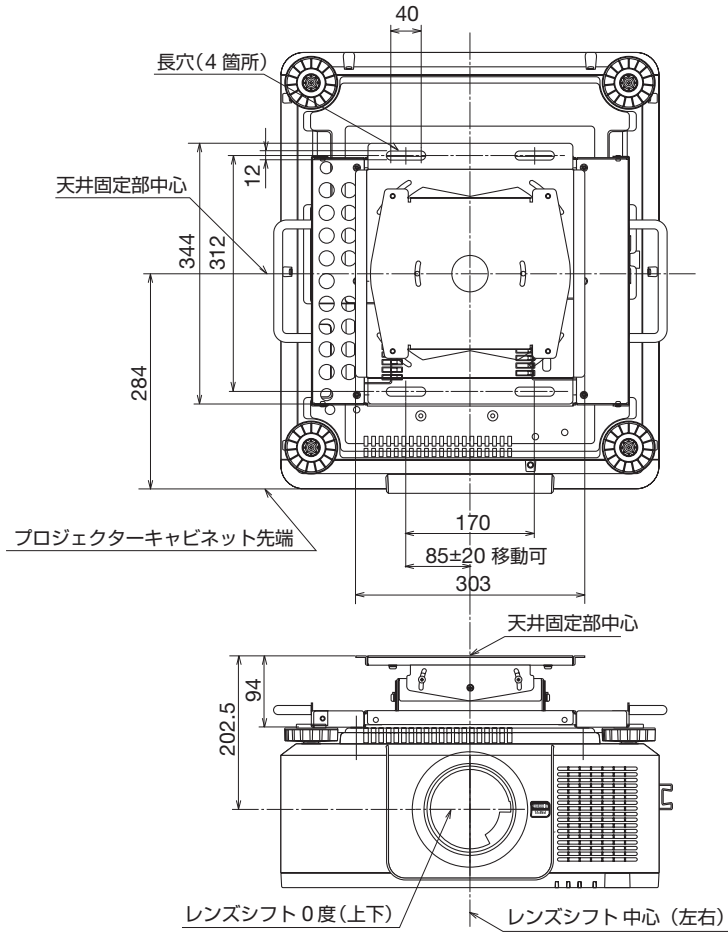
# 外觀図

単位：mm



# 天吊り金具（別売）取り付け図

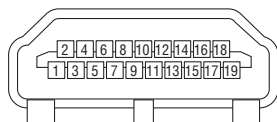
天井設置面寸法図（単位：mm）



注) 天吊り金具が 左右0度、上下0度、傾き0度の位置です。

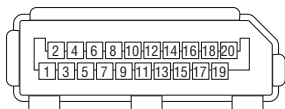
# 主な端子のピン配列と信号名

## ● HDMI IN 1/2 端子 (タイプ A)



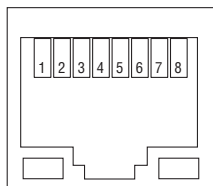
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 +	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロック -
3	TMDS データ 2 -	13	CEC
4	TMDS データ 1 +	14	非接続
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1 -	16	SDA
7	TMDS データ 0 +	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	+ 5V 電源
9	TMDS データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック +		

## ● DisplayPort IN 1/2 端子 (DisplayPort)



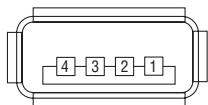
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	メインリンク レーン 3 -	11	接地 0
2	接地 3	12	メインリンク レーン 0 +
3	メインリンク レーン 3 +	13	コンフィグ 1
4	メインリンク レーン 2 -	14	コンフィグ 2
5	接地 2	15	補助チャンネル +
6	メインリンク レーン 2 +	16	接地 4
7	メインリンク レーン 1 -	17	補助チャンネル -
8	接地 1	18	ホットプラグ検知
9	メインリンク レーン 1 +	19	リターン
10	メインリンク レーン 0 -	20	+3.3V 電源

## ● Ethernet/HDBaseT ポート (RJ-45)



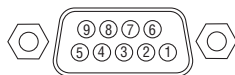
ピン番号	信号
1	TxD + / HDBT0 +
2	TxD - / HDBT0 -
3	RxD + / HDBT1 +
4	非接続 / HDBT2 +
5	非接続 / HDBT2 -
6	RxD - / HDBT1 -
7	非接続 / HDBT3 +
8	非接続 / HDBT3 -

## ● USB ポート (USB タイプ A)



ピン番号	信号
1	V <sub>BUS</sub>
2	D -
3	D +
4	接地

## ● PC CONTROL 端子 (D-Sub 9ピン)



ピン番号	信号
1	未使用
2	RxD 受信データ
3	TxD 送信データ
4	未使用
5	接地
6	未使用
7	RTS 送信要求
8	CTS 送信可
9	未使用

# ASCII コントロールコマンドについて

本機は、当社のプロジェクターまたはディスプレイを制御するための共通 ASCII コントロールコマンドに対応しています。

コマンドの詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

## 外部機器との接続方法

プロジェクターとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

### ① シリアルポートを使用した接続

シリアルケーブル（ストレートケーブル）を使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

### ② ネットワーク (LAN/HDBaseT) 経由での接続

LAN ケーブルを使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

使用する LAN ケーブルの種類（ストレート/クロス）については、ネットワーク管理者にご確認ください。

## 接続インターフェース

### ① シリアルポートを使用した接続

通信条件

項目	詳細
ボーレート	115200/38400/19200/9600/4800bps
データ長	8 ビット
パリティビット	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし
通信手順	全二重

### ② ネットワーク (LAN/HDBaseT) 経由での接続

通信条件（LAN による接続）

項目	詳細
伝送速度	自動設定 (10/100Mbps)
対応規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX, Auto-Negotiation)

コマンドの送受信には、TCP のポート番号「7142」を使用します。

通信条件（HDBaseT による接続）

項目	詳細
伝送速度	100Mbps
対応規格	IEEE802.3u (100BASE-TX, Auto-Negotiation)

コマンドの送受信には、TCP のポート番号「7142」を使用します。

## 本機で使用するパラメーター

### ● input コマンド

入力端子	レスポンス	パラメーター
HDMI1	hdmi1	hdmi1 または hdmi
HDMI2	hdmi2	hdmi2
DisplayPort1	displayport1	displayport1 または displayport
DisplayPort2	displayport2	displayport2
HDBaseT	hdbaset	hdbaset または hdbaset1
SDI1	sdi1	sdi1 または sdi
SDI2	sdi2	sdi2
SDI3	sdi3	sdi3
SDI4	sdi4	sdi4
SLOT	slot	slot または slot1

### ● status コマンド

レスポンス	本機の状態
error:temp	温度エラー
error:fan	ファン異常
error:light	光源異常
error:lens	レンズ異常
error:system	システム異常



# バックグラウンドロゴを変更する (Virtual Remote Tool)

Virtual Remote Tool を使用すると、コンピューターの画面に Virtual Remote 画面（リモコンウィンドウまたはツールバー）を表示し、LAN を経由してプロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの操作ができます。

また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

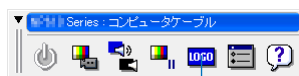
## 【Virtual Remote 画面】



リモコンウィンドウ

## ●主な制御機能

- ・電源の入/切
  - ・入力信号切替
  - ・映像のミュート
  - ・投写中の動画を静止する
  - ・プロジェクターへロゴ画像を送信する
- その他、コンピューターの画面上でのリモコン操作



ツールバー

バックグラウンドロゴを登録するときは、このボタンを使います。

Virtual Remote Tool は、当社のホームページからダウンロードしてください。  
<https://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

## 注意

- リモコンウィンドウを表示しているときは、ロゴを登録することができません。Virtual Remote 画面の表示をツールバーに切り替えてください。表示の切り替え方法については、Virtual Remote Tool のヘルプをご覧ください。
- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ（画像）には以下の条件があります。
  - \* ファイルサイズ：512 キロバイト以内
  - \* 画像サイズ：本機の解像度以内
  - \* ファイル形式：PNG（フルカラー）
- Virtual Remote Tool で送信したロゴデータ（画像）は中央に表示され、周囲の色は黒色になります。
- バックグラウンドロゴを工場出荷時の画面（NEC ロゴ）に戻すには、添付の NEC Projector CD-ROM に収録している画像ファイルを使用して、もう一度バックグラウンドロゴの登録をしておいてください。

¥Logo¥NEC\_logo2018\_3840x2160.png

## 参考

- Virtual Remote Tool は、シリアル接続での制御も可能です。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

## 現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	34
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	180
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	52
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマー、オートパワーオフ、またはプログラムタイマーを「オン（時間を選択）」にしていますか。	142 127
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体またはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	39
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	149
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	103
	オンスクリーンメニューのパワーオンシャッターが「閉」に設定されていませんか。	124
	(SHUTTER) (レンズシャッター) または (AV-MUTE) (映像消去) ボタンが押されていませんか。	54
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、176 ページをご覧ください。	—
	HDMI 1/2 入力端子および DisplayPort 1/2 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。お使いのコンピューターに内蔵されているビデオカードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、ビデオカードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバーや最新 OS のインストールは、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—

映像が出ない	HDBaseT 対応伝送機器によっては信号が対応していない場合があります。また IR、RS232C が対応できない場合があります。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	89
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってください。	144
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	65
映像が歪む	正しく設置されていますか。	42
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	61, 113
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	45
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	42
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	157
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか。	160
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。	59
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	30
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	29
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	30
	リモコンの有効範囲を超えていませんか。	30
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	131
インジケーターが点滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	178
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	52

## コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

### ●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をコンピューターケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。

特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

#### 参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。  
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピューターから外部出力信号が出力されていません。(▶ 145 ページ)

### ●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

#### 参考

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

<b>[Fn]</b> + <b>[F3]</b>	NEC
<b>[Fn]</b> + <b>[F8]</b>	DELL

※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

### ●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

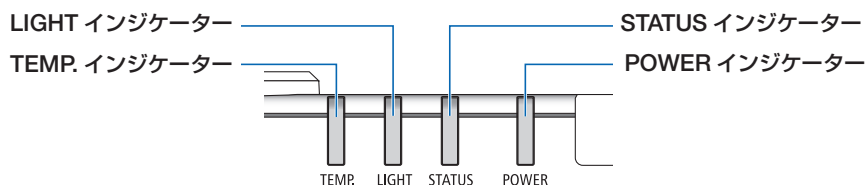
● **Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合**  
Mac 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● **MacBook と本機を同時に表示させる場合**  
MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を本機の表示解像度に設定できないことがあります。

● **Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合**  
Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。









# インジケータ表示一覧

本体操作部の4つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の状態を表しています。



## ●通常のインジケータ表示

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態
消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	主電源が切れている
オレンジ色 (点滅 <sup>*1</sup> )	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」で、ネットワークが待機状態) (141 ページ)
オレンジ色 (長い間隔の点滅 <sup>*2</sup> )	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」で、ネットワークが無効状態) (141 ページ)
オレンジ色 (点灯)	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」で、ネットワークが有効状態) (141 ページ)
オレンジ色 (長い点滅 <sup>*3</sup> )	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	プログラムタイマー オン時刻有効状態 (スタンバイ状態)
緑色 (点灯)	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	スリープ状態
緑色(長い点滅 <sup>*3</sup> )	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	消灯 (消灯)	プログラムタイマー オン時刻有効状態 (スリープ状態)
青色 (点灯)	消灯 (消灯)	緑色 (点灯)	消灯 (消灯)	電源オン状態 (基準ライトモードが「ノーマル」または「エコ1」)
青色 (点灯)	消灯 (消灯)	緑色 (長い点滅 <sup>*3</sup> )	消灯 (消灯)	電源オン状態 (基準ライトモードが「エコ2」)
(各状態)	オレンジ色 (2回周期 点滅 <sup>*4</sup> )	(各状態)	消灯 (消灯)	レンズキャリブレーション実行要求 (画面にレンズキャリブレーション実行要求のメッセージを表示)

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態
 青色(点灯)	 緑色(2回周期点滅 <sup>*4</sup> )	(各状態)	 (消灯)	レンズキャリブレーション中
 青色(点灯)	(各状態)	 (消灯)	 (消灯)	レンズシャッターが「閉」の状態(光源が消灯)
 青色(長い点滅 <sup>*3</sup> )	 (消灯)	(各状態)	 (消灯)	オフタイマー有効状態、プログラムタイマー オフ時刻有効状態(電源オン状態)
 青色(短い点滅 <sup>*5</sup> )	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	電源オン準備中

\*1 1.5秒点灯/1.5秒消灯のくり返し

\*2 1.5秒点灯/7.5秒消灯のくり返し

\*3 2.5秒点灯/0.5秒消灯のくり返し



\*4 0.5秒点灯/0.5秒消灯/0.5秒点灯/2.5秒消灯のくり返し

\*5 0.5秒点灯/0.5秒消灯のくり返し

## ●異常時のインジケータ表示

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態	行ってください
 青色(点灯)	 オレンジ色(点灯)	(各状態)	 (消灯)	本体キーロック中にボタンを押したとき プロジェクターのID番号とリモコンのID番号が一致しないとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。 <a href="#">(130 ページ)</a> コントロールIDを確認してください。 <a href="#">(131 ページ)</a>
 青色(点灯)	 (消灯)	 オレンジ色(点灯)	 オレンジ色(点灯)	周囲高温(強制エコモード中)	周囲の温度が高くなっています。室温を下げてください。
 赤色 (短い点滅 <sup>*6</sup> )	 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	温度エラー	室温が、本機の動作温度(5~40℃)を超えています。適切な室温に調節してください。また、排気口がふさがれていないか、吸気口の近くに他のプロジェクターの排気口がないか確認してください。
 赤色 (短い点滅 <sup>*6</sup> )	 赤色(点灯)	 赤色(点灯)	 (消灯)	レンズ未装着	レンズが正しく取り付けられているかを確認してください。 <a href="#">(146 ページ)</a>

次ページに続く

POWER	STATUS	LIGHT	TEMP.	本機の状態	行ってください
 赤色 (点灯)	(各状態)	(各状態)	 (消灯)	修理が必要な異常発生中	NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。その際に、インジケータの点灯状態をお知らせください。

\*3 2.5 秒点灯 /0.5 秒消灯 のくり返し

\*5 0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯 のくり返し

## ●温度プロテクターが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、電源インジケータが赤色で短く点滅します。その後、本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。このようなときは、以下のことを行ってください。

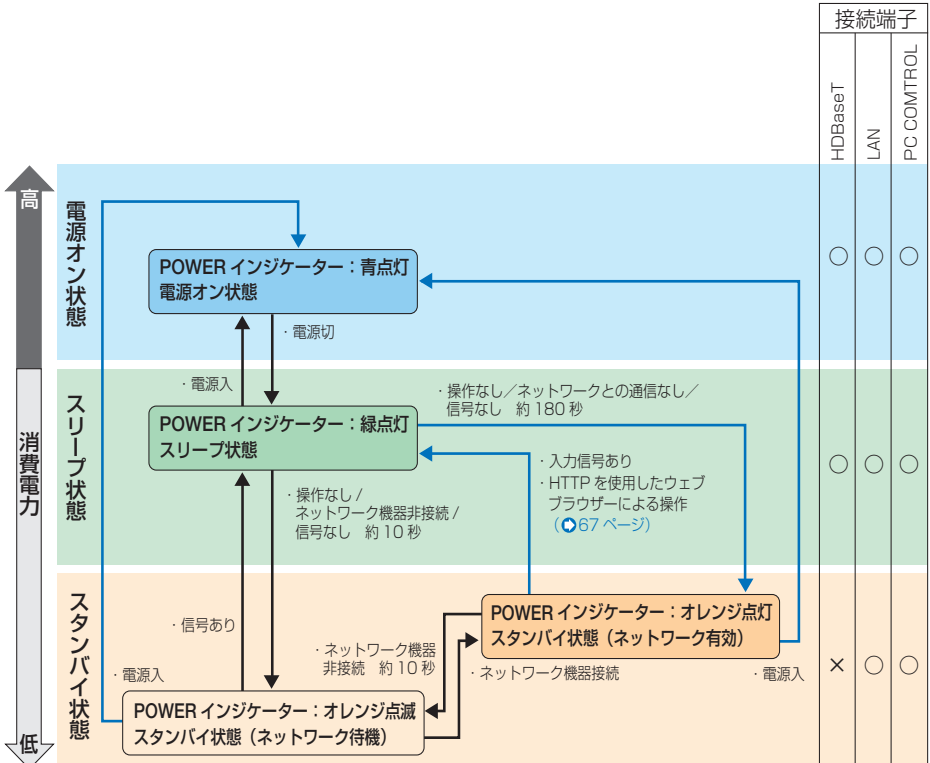
- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。(🔗 156 ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。



# ● スタンバイモードが「ノーマル」のときの電源インジケータ表示とスタンバイ状態について

## ネットワーク有効設定時

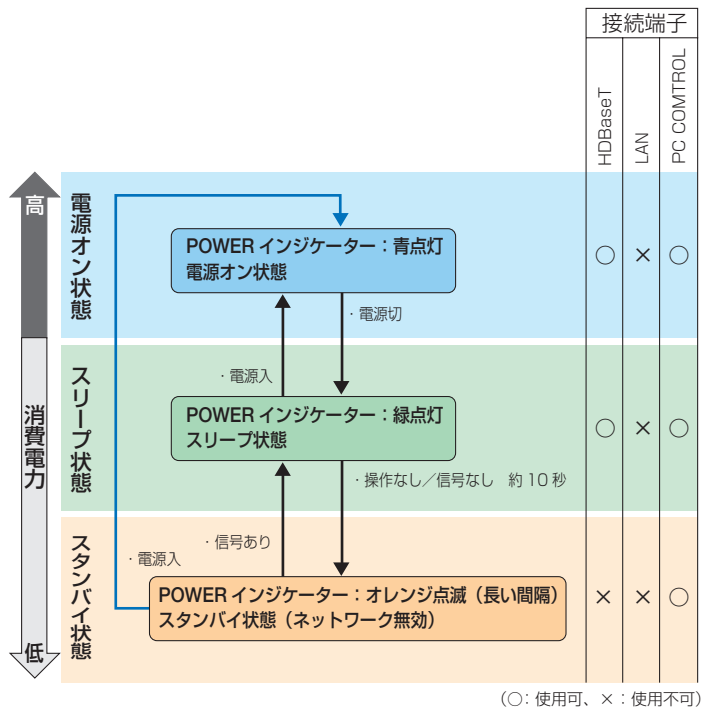
有線 LAN のプロファイルを「プロファイル 1」または「プロファイル 2」に設定しているとき (134 ページ) は、接続機器の状態などによって、本機のスタンバイ状態が下図のように変わります。



(○: 使用可, ×: 使用不可)

## ネットワーク無効設定時

有線 LAN のプロファイルを「無効」に設定しているとき (134 ページ) は、下図のように動作します。



# トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。 ※ このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度  常時  時々(  回中  回)  その他(  )

## 電源関係

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。<br><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。<br><input type="checkbox"/> ④ ボタンを押しても電源が入らない。<br><input type="checkbox"/> 主電源スイッチは「入 (I)」側になっている | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。<br><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。<br><input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。<br><input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。 |
|--|---|

## 映像・音声関係

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> コンピューターの画面が投写されない。<br><input type="checkbox"/> コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。<br><input type="checkbox"/> ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。<br><p>Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(コンピューターによって異なります)。</p> <input type="checkbox"/> 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。<br><input type="checkbox"/> (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。<br><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<br><input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。<br><input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。<br><p>( <input type="checkbox"/> )</p> <input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。<br><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。<br><input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。 | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。<br><input type="checkbox"/> 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。<br><input type="checkbox"/> 映像が切れる。<br><input type="checkbox"/> (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。<br><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<br><input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。<br><input type="checkbox"/> コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。<br><input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。<br><input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。<br><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。   | <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。<br><input type="checkbox"/> (AUTO ADJ.) ボタンを押してもなおらない。<br><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<br><input type="checkbox"/> コンピューター映像入力力で文字がちらついたり、色がずれている。<br><input type="checkbox"/> ファンモードを「高速」から「自動」にしてもなおらない。  |
| <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。   |  |

## その他

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。<br><input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。<br><input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。<br><input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。 | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。<br>本体キーロック設定のある機種において<br><input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。<br><input type="checkbox"/> 本体の (EXIT) ボタンを10秒以上押ししてもなおらない。 |
|--|---|

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

**プロジェクター**  
 型名:  NP-PX1005QL-BJD  
 製造番号:  
 購入時期:  
 ライト使用時間:  
 エコモード:  オフ  オン

入力信号情報:  
 水平同期周波数 [kHz]  
 垂直同期周波数 [Hz]  
 同期極性 H  (+)  (-)  
 V  (+)  (-)  
 同期形態  セパレート  ミックス  
 Gシンク

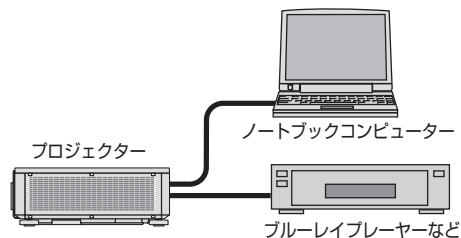
ステータスインジケータの状態  
 点灯 (オレンジ・緑)  
 点滅 ( 回周期)

**設置環境**  
 スクリーンサイズ: 型  
 タイプ:  ホワイトマット  ビーズ  偏光  
 広視野角  ハイコントラスト

投写距離: m  
 投写方法:  天吊り  床置き

電源コンセントは?  
 壁からのコンセントを直接利用している。  
 電源用テーブルタップを利用している。  
 (他、接続機器の数: 台)  
 電源ドラム (ロール式) を利用している。  
 (他、接続機器の数: 台)

**コンピューター**  
 メーカー:  
 型名:  
 ノートブックコンピューター・デスクトップ一体型  
 解像度:  
 リフレッシュレート:  
 ビデオボード:  
 その他:



**信号ケーブル**  
 純正・その他 (型名: 長さ: m)  
 分配器 型名:  
 スイッチャー 型名:  
 アダプター 型名:

**接続機器**  
 ビデオ・ブルーレイプレーヤー・カメラ・ゲーム・その他  
 メーカー:  
 型名:

## 別売品／商標について

## ●別売品

	商 品 名	型 名
レンズユニット	固定焦点レンズ	NP16FL-4K
	ズームレンズ	NP17ZL-4K
	ズームレンズ	NP18ZL-4K
	ズームレンズ	NP19ZL-4K
	ズームレンズ	NP20ZL-4K
	ズームレンズ	NP21ZL-4K
	ズームレンズ	NP31ZL-4K
	固定焦点レンズ	NP39ML-4K
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP15CM
HD/SD-SDI ボード		NP-01HC
3G/HD/SD-SDI ボード		SB-04HC

その他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

[次ページに続く](#)

## ●商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、AccuBlend、スイートビジョン、Cinema Quality Picture ロゴ、NaViSet、Virtual Remote は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- ・ Apple、Mac、MacBook は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



- ・ DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。



- ・ HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。



- ・ DLP®、DLP ロゴおよび BrilliantColor は、Texas Instruments の登録商標です。
- ・ PJLink および PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ CRESTRON、CRESTRON ROOMVIEW は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国における登録商標または商標です。
- ・ Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ Extron および XTP は RGB Systems, Inc. (RGB システムズ社)の米国における登録商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・ Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。

## 保証と修理サービス（必ずお読みください）

### 保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

### ●保証期間

保証書をご覧ください。（ただし、定期交換部品、消耗品、添付品は除く）

### 補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（☎裏表紙）にお願いいたします。

### 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（☎174 ページ）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（☎183, 184 ページ）で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

### ●修理形態

保証書をご覧ください。

### ●保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

### ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター	
型名	NP-PX1005QL-BJD	
お買い上げ日	年	月 日
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所		
お名前	法人名、ご担当者名	
電話番号		

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎ ( ) -
-----------	-------------	---------

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの  
トータルサポート窓口

## NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフが受け  
いたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）  
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <https://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

NECディスプレイソリューションズ株式会社